

第1編 衆議院議員総選挙及び
最高裁判所裁判官国民審査

第1章 衆議院議員総選挙

その1 小選挙区選出議員選挙

1 選挙長及び同職務代理者

選挙区	選 挙 長		選挙長職務代理者	
	住 所	氏 名	住 所	氏 名
福岡県 第1区	福岡市中央区今川 1丁目2番34号	田辺 俊明	福岡市早良区東入部 1丁目11番3号	松石 美栄
福岡県 第2区	福岡市中央区今川 1丁目2番34号	田辺 俊明	福岡市早良区東入部 1丁目11番3号	松石 美栄
福岡県 第3区	遠賀郡芦屋町山鹿 20番14号	濱中 茂足	福岡市南区長住5丁目 5番29号	中原 潤一郎
福岡県 第4区	遠賀郡芦屋町山鹿 20番14号	濱中 茂足	福岡市南区長住5丁目 5番29号	中原 潤一郎
福岡県 第5区	遠賀郡芦屋町山鹿 20番14号	濱中 茂足	福岡市南区長住5丁目 5番29号	中原 潤一郎
福岡県 第6区	北九州市八幡西区引野 1丁目25番12号	向坊 ソメ	宗像市大谷35番地14	中村 仁彦
福岡県 第7区	北九州市八幡西区引野 1丁目25番12号	向坊 ソメ	宗像市大谷35番地14	中村 仁彦
福岡県 第8区	北九州市八幡西区引野 1丁目25番12号	向坊 ソメ	宗像市大谷35番地14	中村 仁彦
福岡県 第9区	宗像市日の里7丁目 3番地3	井上 透	福岡市南区若久5丁目 11番5号	三笠 昭隆
福岡県 第10区	宗像市日の里7丁目 3番地3	井上 透	福岡市南区若久5丁目 11番5号	三笠 昭隆
福岡県 第11区	宗像市日の里7丁目 3番地3	井上 透	福岡市南区若久5丁目 11番5号	三笠 昭隆

2 立候補者に関する調

第1区

届出 順位	届 出 年月日	候補者届出 政党の名称	候 補 者					
			氏 名	性別	本 籍	住 所	生年月日	職 業
1	平成12年 6月13日	民 主 党	まつもと 松 本 りゆう	男	福岡県福岡市東区 馬出1丁目1番	福岡県福岡市東区 馬出1丁目3番3号	昭和26年 5月17日 (満49歳)	政党役員
2	平成12年 6月13日	政党自由連合	いしだ みか 石 田 美 香	女	福岡県行橋市行事7 丁目1127番地5	福岡県福岡市博多 区吉塚1丁目42番 11-204号	昭和41年 1月 2日 (満34歳)	自由連合福岡第一 選挙区総支部長
3	平成12年 6月13日	自由民主党	にしだ 西 田 とうじ	男	福岡県福岡市東区 大岳1丁目249番地 の129	福岡県福岡市東区 西戸崎6丁目8番32 号	昭和26年 8月20日 (満48歳)	選挙区支部長
4	平成12年 6月13日	日本共産党	おおが 大 賀 さわ子	女	福岡県福岡市城南 区田島4丁目93番地	福岡県福岡市城南 区田島4丁目2番28 号	昭和19年 4月13日 (満56歳)	看護婦

第2区

届出 順位	届 出 年月日	候補者届出 政党の名称	候 補 者					
			氏 名	性別	本 籍	住 所	生年月日	職 業
1	平成12年 6月13日	日本共産党	しみず 清 水 とし子	女	長崎県南高来郡 千々石町丙1550番 地	福岡県福岡市南区 井尻3丁目20番2- 406号	昭和24年11月12日 (満50歳)	政党役員
2	平成12年 6月13日	自由民主党	やまさき たく 山 崎 拓	男	福岡県福岡市南区 高宮3丁目22番	福岡県福岡市南区 高宮3丁目22番3号	昭和11年12月11日 (満63歳)	政党役員
3	平成12年 6月13日	民 主 党	いわた 岩 本 つかさ	男	福岡県福岡市城南 区友丘4丁目3番	福岡県福岡市南区 長住5丁目16番1- 201号	昭和39年 7月21日 (満35歳)	政党役員
4	平成12年 6月13日	政党自由連合	じょうの 城 野 みよ子	女	福岡県田川郡赤池 町大字上野1134番 地	福岡県春日市須玖 南1丁目149番地(ア ール春日407号)	昭和27年 1月12日 (満48歳)	医療法人徳洲会 九州地区担当看護 部長

第3区

届出 順位	届 出 年月日	候補者届出 政党の名称	候 補 者					
			氏 名	性別	本 籍	住 所	生年月日	職 業
1	平成12年 6月13日	日本共産党	くまがい 熊 谷 あつ子	女	熊本県阿蘇郡高森 町大字津留706番地	福岡県福岡市西区 石丸3丁目28番20号	昭和27年 6月22日 (満48歳)	なし
2	平成12年 6月13日	政党自由連合	くぼかわ かずえ 数 枝	女	東京都文京区白山1 丁目8番地	神奈川県横浜市栄 区庄戸5丁目9番2号	昭和11年 1月 9日 (満64歳)	大和徳洲会病院 看 護 部 長
3	平成12年 6月13日	自由民主党	おおた せい 太 田 誠 一	男	福岡県福岡市早良 区城西1丁目72番地	福岡県福岡市早良 区城西1丁目5番11 号	昭和20年10月30日 (満54歳)	政党支部長
4	平成12年 6月13日	民 主 党	ふじた かずえ 藤 田 一 枝	女	福岡県福岡市南区 横手南町70番地の 28	福岡県福岡市早良 区室見2丁目15番1 号	昭和24年 7月20日 (満50歳)	政党役員

第4区

届出 順位	届 出 年月日	候補者届出 政党の名称	候 補 者					
			氏 名	性別	本 籍	住 所	生年月日	職 業
1	平成12年 6月13日	自由民主党	わたなべ 渡 辺 ともし	男	福岡県糟屋郡須恵 町大字旅石694番地	福岡県古賀市日吉2 丁目10番1-1207号	昭和16年 4月 7日 (満59歳)	団体役員
2	平成12年 6月13日	日本共産党	まつお とらひこ 松 尾 寅 彦	男	福岡県宗像郡福岡 町大字津丸824番地	福岡県宗像郡福岡 町若木台1丁目8番 地の3	昭和17年 2月 1日 (満58歳)	会社員
3	平成12年 6月13日	民 主 党	ぎき きん弥 なら崎	男	福岡県福岡市博多 区中呉服町79番地 の2	福岡県糟屋郡粕屋 町大字仲原385番地 6アールズコート701号	昭和18年 8月19日 (満56歳)	政党役員

第5区

届出 順位	届 出 年月日	候補者届出 政党の名称	候 補 者					
			氏 名	性別	本 籍	住 所	生年月日	職 業
1	平成12年 6月13日	政党自由連合	さとう こうぞう 佐 藤 こうぞう	男	福岡県北九州市八 幡西区千代ヶ崎1丁 目15番	福岡県春日市須玖 北2丁目54番地	昭和11年 2月 2日 (満64歳)	福岡徳洲会病院 名 誉 院 長
2	平成12年 6月13日	日本共産党	もり やま こ子 森 山 あき子	女	福岡県大野城市白 木原5丁目33番地	福岡県太宰府市都 府楼南5丁目17番7 号	昭和20年 5月14日 (満55歳)	会社員
3	平成12年 6月13日	民 主 党	まつもと ゆい子 松 本 ゆい子	女	福岡県行橋市大橋3 丁目2889番地	福岡県大野城市曙 町3丁目2番1-203号 (レスピーサ'II)	昭和11年10月 1日 (満63歳)	政党役員
4	平成12年 6月13日	自由民主党	はらだ よしあき 原 田 よしあき	男	福岡県太宰府市通 古賀6丁目5番	福岡県太宰府市通 古賀6丁目5番18号	昭和19年10月 1日 (満55歳)	政党役員

第6区

届出 順位	届 出 年月日	候補者届出 政党の名称	候 補 者					
			氏 名	性別	本 籍	住 所	生年月日	職 業
1	平成12年 6月13日	日本共産党	まるばやし ひでひこ 丸 林 秀 彦	男	福岡県八女市大字 本町264番地	福岡県久留米市青 峰3丁目13番2211号	昭和16年11月 7日 (満58歳)	政党役員
2	平成12年 6月13日	民 主 党	こ が いっせい 古 賀 一 成	男	福岡県柳川市大字 坂本町11番地の10	福岡県久留米市櫛 原町99番地の11サン グレート櫛原1307号	昭和22年 7月30日 (満52歳)	党副幹事長
3	平成12年 6月13日	自由民主党	こ が まさひろ 古 賀 まさひろ	男	福岡県久留米市櫛 原町39番地の5	福岡県久留米市櫛 原町39番の5	昭和 9年 8月 5日 (満65歳)	選挙区支部長
4	平成12年 6月13日	政党自由連合	はら たけお夫 原 武 夫	男	東京都町田市山崎 町1380番地	東京都町田市山崎 町1380シーアイハイツG- 1002	昭和13年 5月20日 (満62歳)	作家

第7区

届出 順位	届 出 年月日	候補者届出 政党の名称	候 補 者					
			氏 名	性別	本 籍	住 所	生年月日	職 業
1	平成12年 6月13日	民 主 党	ほそや はるなち 治 通	男	福岡県大牟田市大 字吉野680番地1	福岡県大牟田市本 町5丁目3番地1コモ ビル駅南701号	昭和14年 6月19日 (満61歳)	無職
2	平成12年 6月13日	日本共産党	やまだ しんいちろう 山 田 眞一郎	男	長崎県佐世保市宮 地町43番地	福岡県大牟田市大 字今山1349番地5	昭和23年12月 7日 (満51歳)	医師
3	平成12年 6月13日	自由民主党	こ が まこと 古 賀 誠	男	福岡県山門郡瀬高 町大字上庄26番地	福岡県大牟田市浜 町1番地11ローレルハイ ツ405号	昭和15年 8月 5日 (満59歳)	団体役員
4	平成12年 6月13日	政党自由連合	やまもと よしお 良 夫	男	宮崎県宮崎市和知 川原2丁目94番	宮崎県宮崎市江南4 丁目5番17号	昭和17年10月18日 (満57歳)	有限会社ニックス 代表取締役

第8区

届出 順位	届 出 年月日	候補者届出 政党の名称	候 補 者					
			氏 名	性別	本 籍	住 所	生年月日	職 業
1	平成12年 6月13日	日本共産党	か ね まさ子 坂 元	女	福岡県中間市土手ノ 内2丁目97番地の2	福岡県遠賀郡水巻 町中央8番14号	昭和16年 7月15日 (満58歳)	無職
2	平成12年 6月13日	自由民主党	あそう た ろう 太 郎	男	福岡県飯塚市大字 柏の森214番地	福岡県飯塚市大字 柏の森214番地	昭和15年 9月20日 (満59歳)	会社役員
3	平成12年 6月13日	政党自由連合	やまもと 山 元 みえこ	女	北海道札幌市清田 区平岡一条2丁目11 番	北海道札幌市清田 区平岡一条2丁目11 番3号	昭和22年 1月 1日 (満53歳)	徳洲会栄養管理 部 長
4	平成12年 6月13日	民 主 党	いわた じゅんすけ 順 介	男	福岡県嘉徳郡徳波 町大字小正421番地	福岡県嘉徳郡徳波 町大字小正422番地 3	昭和12年 7月28日 (満62歳)	政党役員
5	平成12年 6月13日	社会民主党	おおつか かずひろ 和 弘	男	福岡県嘉徳郡潁田 町大字勢田898番地	福岡県嘉徳郡潁田 町大字勢田898番地	昭和12年12月25日 (満62歳)	無職

第9区

届出 順位	届 出 年月日	候補者届出 政党の名称	候 補 者					
			氏 名	性別	本 籍	住 所	生年月日	職 業
1	平成12年 6月13日	日本共産党	おざわ かずあき 小 沢 和 秋	男	東京都国立市東4丁 目25番地の13	福岡県北九州市八 幡東区尾倉3丁目1 番24号	昭和 6年 9月15日 (満68歳)	政党役員
2	平成12年 6月13日	民 主 党	きたはし けんじ 健 治	男	福岡県北九州市八 幡西区泉ヶ浦1丁目 12番	福岡県北九州市八 幡西区泉ヶ浦1丁目 12番20号	昭和28年 3月19日 (満47歳)	政党役員
3	平成12年 6月13日	自由民主党	み はら あさひこ 三 原 朝 彦	男	福岡県遠賀郡遠賀 町大字鬼津3605番 地	福岡県北九州市八 幡西区大浦1丁目4 番17号	昭和22年 5月23日 (満53歳)	選挙区支部長
4	平成12年 6月13日	政党自由連合	わたなべ 渡 辺 のぶゆき	男	愛知県東海市名和 町蛇骨山1番地の 161	沖縄県沖縄市照屋3 丁目21番12号コーポ あき305号	昭和38年10月27日 (満36歳)	中部徳洲会病院伊 良部島診療所院長

第10区

届出 順位	届 出 年月日	候補者届出 政党の名称	候 補 者					
			氏 名	性別	本 籍	住 所	生年月日	職 業
1	平成12年 6月13日	社会民主党	もりもと ゆ み 森 本 由 美	女	福岡県北九州市戸 畑区沖台2丁目15番	福岡県北九州市小 倉南区湯川5丁目6 番13-403号	昭和40年11月25日 (満34歳)	無職
2	平成12年 6月13日	民 主 党	しまづ なおずみ し まづ 尚 純	男	福岡県久留米市本 町320番地	福岡県北九州市小 倉北区緑ヶ丘3丁目 4番18-302号	昭和20年 1月 1日 (満55歳)	政党役員
3	平成12年 6月13日	政党自由連合	おち あい けい こ 落 合 恵 子	女	宮崎県宮崎市福島 町下ノ町7194番地	東京都江戸川区西 葛西7丁目10番6- 301号ア-リーハート	昭和37年 2月 3日 (満38歳)	通訳
4	平成12年 6月13日	自由民主党	じ み しゅうざぶろう 庄 三 郎	男	大分県中津市大字 東浜647番地	福岡県北九州市小 倉北区常盤町5番8 号	昭和20年11月 5日 (満54歳)	医師
5	平成12年 6月13日	日本共産党	に ひ そうへい 仁 比 そうへい	男	福岡県福岡市東区 御島崎2丁目2番	福岡県宗像郡福間 町光陽台1丁目18番 地の3	昭和38年10月16日 (満36歳)	弁護士

第11区

届出 順位	届 出 年月日	候補者届出 政党の名称	候 補 者					
			氏 名	性別	本 籍	住 所	生年月日	職 業
1	平成12年 6月13日	社会民主党	なか にし すけ 中 西 せき介	男	福岡県田川郡香春 町大字採銅所3283 番地	福岡県田川郡香春 町大字採銅所3283 番地	大正15年 2月 6日 (満74歳)	無職
2	平成12年 6月13日	日本共産党	やなたけ ふく代 柳 武 ぶく代	女	福岡県田川市大字 猪国1558番地	福岡県田川市大字 猪国1533番地	昭和13年 1月 1日 (満62歳)	政党役員
3	平成12年 6月13日	政党自由連合	い と う こうき 伊 藤 こうき	男	北海道札幌市中央 区双子山1丁目503 番地	北海道札幌市東区 北17条9丁目2番30- 402号	昭和18年10月 5日 (満56歳)	政党役員
4	平成12年 6月13日	(本人届出)	やまもと こうぞう 山 本 幸 三	男	福岡県行橋市行事5 丁目437番地10	福岡県行橋市西宮 市5丁目2番3-801号	昭和23年 8月 8日 (満51歳)	政党役員
5	平成12年 6月13日	自由民主党	たけだ りょうた た けだ 良 太	男	福岡県田川郡赤池 町大字赤池259番地	福岡県田川郡赤池 町大字赤池259番地	昭和43年 4月 1日 (満32歳)	政党支部支部長

3 当選人に関する調

選挙区	当選年月 日	当選告示 年月日	当選証書 附与年月 日	得票数	氏 名	候補者届出 政党の名称	住所	職業	生年月日
福岡県 第1区	平成12年 6月28日	平成12年 6月28日	平成12年 6月28日	82,241	松 本 龍	民 主 党	福岡県福岡市東区馬出1 丁目3番3号	政党役員	昭和26年 5月17日 (満49歳)
福岡県 第2区	平成12年 6月28日	平成12年 6月28日	平成12年 6月28日	93,234	山 崎 拓	自由民主党	福岡県福岡市南区高宮3 丁目22番3号	政党役員	昭和11年12月11日 (満63歳)
福岡県 第3区	平成12年 6月28日	平成12年 6月28日	平成12年 6月28日	104,346	太 田 誠 一	自由民主党	福岡県福岡市早良区城西 1丁目5番11号	政党支部長	昭和20年10月30日 (満54歳)
福岡県 第4区	平成12年 6月28日	平成12年 6月28日	平成12年 6月28日	87,327	渡 邊 具 能	自由民主党	福岡県古賀市日吉2丁目 10番1-1207号	団体役員	昭和16年 4月 7日 (満59歳)
福岡県 第5区	平成12年 6月28日	平成12年 6月28日	平成12年 6月28日	93,343	原 田 義 昭	自由民主党	福岡県太宰府市通古賀6 丁目5番18号	政党役員	昭和19年10月 1日 (満55歳)
福岡県 第6区	平成12年 6月28日	平成12年 6月28日	平成12年 6月28日	105,423.147	古 賀 正 浩	自由民主党	福岡県久留米市櫛原町39 番の5	選挙区支部長	昭和 9年 8月 5日 (満65歳)
福岡県 第7区	平成12年 6月28日	平成12年 6月28日	平成12年 6月28日	124,024	古 賀 誠	自由民主党	福岡県大牟田市浜町1番 地11ローレルハイツ405号	団体役員	昭和15年 8月 5日 (満59歳)
福岡県 第8区	平成12年 6月28日	平成12年 6月28日	平成12年 6月28日	120,178	麻 生 太 郎	自由民主党	福岡県飯塚市大字柏の森 214番地	会社役員	昭和15年 9月20日 (満59歳)
福岡県 第9区	平成12年 6月28日	平成12年 6月28日	平成12年 6月28日	102,016	北 橋 健 治	民 主 党	福岡県北九州市八幡西区 泉ヶ浦1丁目12番20号	政党役員	昭和28年 3月19日 (満47歳)
福岡県 第10区	平成12年 6月28日	平成12年 6月28日	平成12年 6月28日	88,446	自 見 庄三郎	自由民主党	福岡県北九州市小倉北区 常盤町5番8号	医師	昭和20年11月 5日 (満54歳)
福岡県 第11区	平成12年 6月28日	平成12年 6月28日	平成12年 6月28日	68,440	山 本 幸 三	(本人届出)	福岡県行橋市西宮市5丁 目2番3-801号	政党役員	昭和23年 8月 8日 (満51歳)

平成12年6月25日執行

衆議院小選挙区選出
議員選挙
(福岡県第1区)

選挙公報

投票日 6月25日

福岡県選挙管理委員会

「自・公」にかわる新しい政治は



日本共産党が伸びてこそ



衆議院議員候補者・日本共産党公認

大賀さわ子

(56歳)

リストラ、失業、倒産、介護、年金、子育て、国・地方の借金六千四百五十兆円―自民党政権のゆきづまりは深刻です。「自・公」にかわる新しい政治へ、一歩一歩、国民合意で改革をすすめる日本共産党、大賀さわ子にその仕事をさせてください。

逆立ち「公共事業五十兆円、社会保障二十兆円」
社会保障 くらしを予算の主役に

日本の予算は、むだな空港やダムなど公共事業が主役で、国と地方の借金は増えつづき、ついに六四五兆円に。
その一方で介護の予算は大幅カット、中小企業の予算はすずめの涙、年金、医療も負担増加がズラリ。公共事業に五十兆円、社会保障はその半分の二十兆円という、欧米と比べると逆立ちしている税金の使い方を改めれば、介護保険や年金などの心配がなくなり、消費税増税など国民にツケを回さず財政再建にふみだせます。

くらし・権利・命を守るルールを

野放しの残業、過労死、環境破壊―日本には国民を守るルールがありません。世界から「ルールなき資本主義」といわれるほどです。ヨーロッパでは当たり前の国民を守るルールをきちんと確立すれば、くらし・権利、命を大切にできる社会をつくることができ、日本経済の健全な発展も保障されます。

憲法のいきる
平和なアジアと日本をめざす

紛争の平和解決優先、自主独立の外交へ転換をすすめ、福岡空港、博多港の軍事利用をやめさせます。

私のお約束

- 利用料・国保料を減免し安心できる介護を
- 政府の責任で利用負担を軽減する対策をとる
- サービス不足解消へ具体的な目標を定め全力をあげる
- 生活実態が反映できるよう規定制度を改善する
- 身勝手な解雇を法律で規制、労働時間短縮で雇用を増やす
- 女性が働きつづける環境づくり
- 大型店の無秩序な進出、下請けいじめ、貧しきから中小企業を守るルールづくり
- 消費税の増税に反対し、引き下げに全力
- 人工島などむだな大型開発やめ、社会保障の充実と財政再建を
- 三十人学級の実現
- 水害対策など防災対策の強化

消費税増税を許さず財政再建
すすめ、引き下げへ道ひらく

比例代表は
日本共産党へ

●プロフィール 市医師会看護専門学校卒業後、千鳥橋病院や城浜診療所で30年、看護婦として訪問看護や地域医療に取り組む。保育所・学童保育父母の会会長、新婚人活動。現在、党福岡1区医療・福祉対策部長

あなたがいるから



自由民主党公認 福岡1区
衆議院議員候補
西田とうじ

私は、やります。

決意

小淵前首相の燃え尽きるまでの執念によって、日本の経済は、かつてない苦境から這い上がる兆しを見せ始めました。

この光明を、もう消すことは出来ません。

誰もが待ち望んだ、この新たな進歩への足取りを止めれば、この国と国民生活は甚大なダメージを被り、再生さえ危ぶまれます。

今回の選挙は、今日迄の責任ある政権の手で、私たちの国民経済の活力を、確実なものにするか、それともその可能性を放棄するかを皆さまに問いつけています。

今度こそ、私、西田とうじを地元の皆さまの手で、国政の舞台に押し上げていただき、力強く、温かい国づくり、地元づくりに邁進させて下さい。

私は、皆さまのお力だけを頼りに、全身を投げうって頑張ります。

実現。お約束します。

景気の元気を本物にし、未来に前進する新しい産業構造をつくらせます。

高齢者に仕事と社会活動の舞台を創り、生き生きとした養老社会を実現します。

子どもの自主性や個性を活かす教育制度に転換し、親と社会の協力で、明るく開通した世界に羽ばたく人材づくりに努めます。

環境の保全や省エネルギー対策に大膽な社会コストを投入し、東区・博多区を誇りある環境先進地域にします。

社会に参加する女性の子育て支援機能を拡充して、誰もが安心して子供を生み育てられるゆとりある社会をへります。

ボランティアやNPO活動の支援を強化して市民・国民が誇りをもち、上質の社会活動に取り組める世の中をします。

平成12年6月25日執行

衆議院小選挙区選出
議員選挙
(福岡県第1区)

選挙公報

投票日 6月25日

福岡県選挙管理委員会

あなたと
次世代のために

政治改革の一票を！



衆議院議員候補者
自由連合公認

石田 美香
(34歳)

既成政党の病んだ政治に
大きなメスを入れよう！

21世紀、超高齢社会になる日本。将来の生活を
支える日本の福祉、医療、年金の対策は非常に
遅れています。保身と権力争いに明けくれているこ
のままの政治が続く限り、沈みゆく日本を救うこと
ができません。政党・自由連合は生命の平等を
基本にした、誰もが安心して暮らせる福祉社会を実現
してまいります。

石田美香 重点政策

景気回復

徹底的な行財政改革と、生活基盤重視の政策で、
個人消費を活性化し、産業振興、雇用拡大をはか
り、景気を回復します。

福祉充実

豊かな人生設計ができる年金、介護福祉、医療の
社会保障制度を確立し、世界に誇れる福祉先進国
を創造します。

教育改革

学力偏重の管理教育を、知・徳・体の全人教育に
改め、家庭、学校、地域の役割分担で、視野の広
い、思いやりのある人材を育成します。

石田美香 プロフィール

一九六六年、福岡県生まれ。
東京筑短大卒業。
会社員、英会話講師。
現在、自由連合福岡第一選挙区総支部長。

比例区は

政党

自由連合

人権 政治票としてで
けなく、父親と
して、人間として
一番大切にしたいテーマ。たとえば
永住外国人の選挙権の法制化や、
自然災害での生活保護などの充実を
すすめてい。また先に決まった住民
基本台帳法はプライバシーの侵害に
あたると考えるので、廃止を訴えていく。

教育 30人以下学
校や複数担任
制、小
学校の専科制導入、政策の視野に
あるのは、家庭だけでなく、地域
で子育てをする社会に変えてい
きたいという思い、それぞれの小学
校の特色は、子どもの個性を育て、
地域を愛する力になると信じている。

憲法 9条はこれか
ら大切にし
たい。しかし
国際環境や時代性を考えて、調
査・研究したり、話し合うことは
急務がある。議論の前提には、「こ
の国のかたち」を見直し、平和
主義、基本的権利、国民主権を
根幹において話し合うことが大切。

年金 今回の年金制度
改革には抜本的
な見直しを求めて
いく。サラリーマンの厚生年金が平均
で2割減る上に、支給開始が65歳に
引き上げられた。与党が国民に約束し
た国の負担額の引き上げもまだ実現さ
れていない。その場しのぎの議論が若
い人たちの不安となっているのが問題。

介護 家族、それも女性
に負担がかかっ
ている介護を、社会
全体で支えていきたい。そのためにス
タートした介護保険の認定の方法や現場
での諸問題を、利用する人の視点で見
直すことが必要。また質をふくむ充分な
情報公開を行い、より質の高い、適正
なサービスが提供される環境づくりを行う。



松本 りゅう
(37歳)

大きなことを言うよりも、 小さなことを積み重ねたい。

**財政
再建** いま国と地方の
借金総額は約645兆
円。その体質から
抜け出すためには、
ムダな公共事業
の見直しと徹底
した支出の効率化と、高齢化や情報
通信など新しい基礎整備への投資
をしなければ、首相や大臣が変わるた
びに180度方向転換するものではなく、
10年程度の中長期計画が必要。

**行政
改革** 国や自治体に
会計制度を取り
入れ、パラン
シートを公表
する。そしてそ
の評価を予算
に反映させるといふしくみをつくって
いきたい。国民にチェックの機会を
考えることで、特権法人や天下りの
徹底的見直しが行われ、行政のス
リム化は飛躍的にすすむと考える。

**地方
分権** 地方自治体の
自立をすすめる
には、今の国と
地方が2:1の
負担比率を大
幅に変えていく
必要がある。お金と権限を大胆にう
つし、それぞれがアイデアを出し合
って個性を出していく。魅力あ
るまちには人も企業も集まってくる。
それが活性化につながるのだから。

**雇用
創出** 前国会で企業
の過剰設備を
廃棄するための
融資が検討さ
れたことがある。
過剰な設備投資
は、それこそ企業のミス。そんな
ことを繰り返すくらいなら、中小企
業をはじめ、ベンチャーを含めたモ
ノづくりや、情報化通信など新しい
産業を伸ばすことを優先させたい。

**女性
支援** 産休条件
の改善や育
児休業制
度の充実な
ど、こまやか
な支援をす
めていく。産後のある人の心
理的ケアも必要。女性対象の特
別融資制度をつくらせ、窓口
を問いたりというアイデアを金
融機関に提案し、実現したい。

最近立案した政策も、あなたの声から生まれました。

世の中は、 公平じゃない 人権 永住外国人に自治体議員および 首長の選挙権を付与する法案	きれいな 政治家なんて、 いないんじゃない？ 政治倫理 地位利用取戻処罰法	自分たちの まちのことは 自分たちで 決めたい!! まちづくり 住民投票法	警察の不祥事は、 許せない 行政改革 警察法改正案	商店街に 空き店舗が目立つ ようになって... 景気回復 中心市街地活性化法案	新しい事業を 起こしたい 雇用創出 ベンチャー支援策
---	--	---	---	--	--

衆議院議員候補・民主党
福岡第1区(東区・博多区)

プロフィール
●1963年(昭和38年)5月17日生まれ。49才
●出身が学生、高卒の学生、福岡大学から中央大学へ進学、
政治学専攻
●1990年 福岡県議員、松本第一の結成として、民進の結成へ
●1995年 福岡県議員に再選
●1999年 衆議院議員に再選
●1999年 衆議院議員に再選
政治資金パーティーにおいて、人権や地方分権等を議題にした
テーマで地方の活性化を訴える

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものです。)

平成12年6月25日執行

衆議院小選挙区選出
議員選挙
(福岡県第2区)

選挙公報

投票日 6月25日

福岡県選挙管理委員会

「自・公」にかわる新しい政治は



日本共産党が伸びてこそ

ゆきづまった自民党政治をかえるとき

私のおやくそく

- 人工島など新たな大型開発やめ、社会福祉の充実、財政再建を
- 身勝手な解雇を法律で規制、サイ
- 大企業の進出や下請けいじめから
- 中小企業を守るルールをつくる
- 保育制度の改善、母性保護の強化
- 子どもたちが安心して育ち、子育て

- 子どもたちの健やかな成長
- 30人以下学級の実現、受験中心の
- 3つの分野での国民的取り組みを
- 子どもたち成長と発達を中心にす
- 政治腐敗をなくすなど社会の全体
- テレビや雑誌での暴力・過激を野

消費税増税を許さず財政再建
すすめ、引き下げへ道ひらく

比例代表は
日本共産党へ

リスト、失業、倒産、介護、年金、子育て、国・地方の借金六千四百五十兆円。自民党政治のゆきづまりは深刻です。「自・公」にかわる新しい政治へ、一歩一歩、国民合意で改革をすすめる日本共産党、清水とし子にその仕事をさせてください。

逆立ち「公共事業五十兆円、社会保障二十兆円」

日本の予算は、むだな空港やダムなど公共事業が主役で、国と地方の借金は増えつづき、ついに六千四百五十兆円に。

その一方で介護の予算は大幅カット、中小企業の予算はすくなく、年金、医療も負担増加がズバリ。公共事業に五十兆円、社会保障はその半分の二十兆円という、欧米と比べると逆立ちしている税金の使い方を改めれば、介護保険や年金などの心配がなくなり、消費税増税など国民にツケを回さず財政再建にふみだせます。

●プロフィール 福岡第一法律事務所事務局長、新婦人県本部副会長を歴任。消費税廃止、核兵器廃絶、人工島反対、博多港・福岡空港の軍事利用反対、政治腐敗を許さない女性の運動に取り組む。現在、党県女性・児童部長。



衆議院議員候補者・日本共産党公認

清水とし子

(50歳)

このままでいいのですか。よかとですか。



衆議院議員候補者 民主党公認

岩本つかさ

福岡県第二区(中央区・城南区・南区)

国会議員は国民の皆さんの代弁者として、行政・財政等すべての書類に目を通すことが出来ます。今まで見て見ぬふりをしてきたグレーゾーンに踏み込んでいく所存でございます。

税金のムダ使いを総チェックします！

無駄な公共事業の見直し！

現在、港湾、道路、住宅、公園などといった部門ごとに分けられた16本の長期計画を本化し、さらに個別の公共事業について国会の承認事項とする「公共事業コントロール法」の制定を目指します。これにより公共事業にかかる既得権益化の防止、整合性のとれた社会資本整備の確立を目指します。

住宅減税の大幅実施！

住宅減税の大幅実施で、マイホーム建設が容易になります。更に高齢者同居の場合、毎年3%ずつを補助します。老人ホームを建てる経費よりも安くすく、4月からスタートした介護保険制度とサイドさせることにより、来る21世紀の少子高齢化社会に対応します。家・土地が売ればそれに関連する耐久消費財が売れ、新しい雇用が生まれます。株価も上昇し、IT革命と同様、景気回復に大きな貢献をするのを確信しております。

子ども達の未来のために個性が伸ばせる教育環境づくり

- 大人から子ども達の手本になれるように変わるための大人に対する罰則強化
- 子ども達が心を開き心の中を自由に語れる機会拡大
- テレレーム等に出る人を傷つけるシーン等に対する規制の強化
- 少人数学級と体験学習の充実により、人の痛みがわかる教育の実現

総理大臣公選制！

当選回数や派閥の力による「いつのまにか総理」を無くし、国民一人ひとりの判断より能力ある真の総理を導く制度の実現で、日本国内はもとより世界からの信頼を回復します。

国会議員パッチ廃止！

国会議員パッチを利用し、利権をあさる部の国会議員が様を正し、国民の皆様の目標に契り、信頼を回復し、政治への不信感を取り除くための第一歩。



福岡の新しいエネルギー!!
今、若さが変わる! 政治が変わる!

世代交代!

信念・熱意・勇気を持ち、国政に尽くします!!

PROFILE

- 昭和39年7月21日、福岡市に生まれる。
- 福岡市立長尾小学校、友泉中学校、私立聖望高等学校、日本大学生産工学部卒業。
- 英国留学、サラリーマンを経て(旧)日本新党就職。
- (旧)日本新党本部財務部課長。
- 元内閣府大臣細川護国(旧)日本新党代表付。
- 前東京都渋谷区議会議員(会派幹事長)。

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものです。)

平成12年6月25日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙 (福岡県第2区)

選挙公報

投票日 6月25日

福岡県選挙管理委員会

ある。

可能性
信念
実績
具体策

可能性 昨年の自民党総裁選挙に立候補を果
てた。日本のリーダーへと名乗りを
挙げた。二十一世紀初頭の日本の政治を担う幸
相への可能性にかけて着実に歩を進めてまいり
ます。

信念 日本国憲法を論議することは、日本
のあるべき姿を論議することであり
ます。『品格ある国家』『活力ある経済』『安心できる
社会』の三つのキーワードで日本の今後の針路を描
き、二十一世紀にふさわしい国民のための憲法の制
定をめざします。

実績 衆議院議員として九期二十七年、国
会、内閣、自民党それぞれの責任あ
る立場で国政の諸問題に取り組んで参りました。平
成十年には、政治集団・近未来政治研究会(山崎派)
を結成し会長に就任しました。昨年の自民党総裁選
挙では、政策提言書「二〇一〇年日本実現」を発表
し、政策論争をたたかわせました。

具体策 国政の担い手として
経済再生 民需主導の本格的な景気回復の実現を図
るため、個人消費を伸ばし資産デフレを解消する施
策を講じます。社会・経済・産業構造改革を推進し
豊かな未来を確実にする科学技術創造立国と高度情
報通信社会をめざします。

教育改革 わが国が、よき文化と伝統を保持・継承
しながら、世界の繁栄に貢献できる国であり続ける
ためのあらゆる社会システムの基盤となる教育の大
改革を推進します。



衆議院議員候補者・自由民主党公認

山崎拓

(63歳)

社会保障 年金、医療、介護など社会保障制度に
ついて、真に必要な給付を確実に確保する一方、
将来にわたる負担を過重なるものとならないよう
にします。特に、実際に費用を負担し、サービス
を受ける国民の立場から、総合的な視点に立つて、
安定的で効率的な社会保障制度の構築を図ります。
地方分権 地方の自立を強力に推進し、介護保険
制度や清掃事業など一定の人口規模を要する施策
の円滑な遂行のため、行政単位の大・再編を断
行するとともに、天災に対する備え、犯罪の防止
危機管理体制の強化を図ります。

郷土福岡・発展のために

都市防災 福岡都市圏の弱点である水問題では、
五ヶ山ダムと海水淡水化事業を促進します。御笠
川で起きた洪水災害に学び、河川整備と都市防災
に万全を期します。

交通問題 福岡市西南部の交通渋滞を緩和するた
めに、外環状道路、地下鉄3号線の早期開通に向
けて努力します。限界を迎える福岡空港の将来を
にらんで、新たな国際空港の整備に取り組みます。

都市環境 介護保険制度の円滑な運営に取り組む
とともに、高齢者が暮らしやすいバリアフリーの
都市づくりを行います。また、都市緑化をすすめ
環境先進都市をめざします。

国際都市 九州の中心都市として、またアジアの
拠点都市として、政治・経済・文化の発展に取り
組むとともに、九州・沖縄サミットの成功に尽力
します。

山崎拓の略歴

昭和11年11月1日生まれ
昭和34年 早稲田大学商学部卒業
昭和47年 衆議院選挙に初当選
昭和60年 衆議院社会労働常任委員長
平成元年 国務大臣防衛庁長官
平成3年 建設大臣
平成7年 自民党国会対策委員長
平成7年 自民党政治調査会長(二期)
平成10年 近未来政治研究会を結成し会長就任
平成11年 自民党総裁選挙に立候補

あなたと
次世代のために

政治改革の一票を！



衆議院議員候補者
自由連合公認

城野みよ子

(48歳)

既成政党の病んだ政治に
大きなメスを入れよう！

21世紀、超高齢社会になる日本。将来の生活を
支える日本の福祉、医療、年金の対策は非常に
遅れています。保身と権力争いに明けくれているこ
のままの政治が続く限り、沈みゆく日本を救うこと
ができません。政党・自由連合は生命の平等を
基本にした、誰もが安心して暮らせる福祉社会を実現
してまいります。

城野みよ子 重点政策

景気回復

徹底的な行政改革と、生活基盤重視の政策で、
個人消費を活性化し、産業振興、雇用拡大をはか
り、景気を回復します。

福祉充実

豊かな人生設計ができる年金、介護福祉、医療の
社会保障制度を確立し、世界に誇れる福祉先進国
を創造します。

教育改革

学力偏重の管理教育を、知・徳・体の全人教育に
改め、家庭、学校、地域の役割分担で、視野の広
い、思いやりのある人材を育成します。

城野みよ子 プロフィール

一九五二年、福岡県生まれ。
社会保険小倉記念病院看護部勤務を経て、
一九八五年医療法人徳洲会に入職。
一九九九年同法人看護部長となり現在にいたる。
出合いが大好き！社交ダンスはプロ並み
体力気力は十分！登山、バレエボールで心身爽快
を求めている。前、前、前に。

比例区は

政党

自由連合

平成12年6月25日執行

衆議院小選挙区選出
議員選挙
(福岡県第3区)

選挙公報

投票日 6月25日

福岡県選挙管理委員会

「自・公」にかわる新しい政治は



日本共産党が伸びてこそ



衆議院議員候補者・日本共産党公認

くまがい

熊谷あつ子

(48歳)

リストラ、失業、倒産、介護、年金、子育て、国・地方の借金六百四十五兆円―自民党政権のゆきづまりは深刻です。「自・公」にかわる新しい政治へ、一歩一歩、国民合意で改革をすすめる日本共産党 熊谷あつ子にその仕事をさせてください。

逆立ち！「公共事業五十兆円、社会保障二十兆円」

社会保障、くらしを予算の主役に

日本の予算は、むだな空港やダムなど公共事業が主役で、国と地方の借金は増えつづけて、ついに六百四十五兆円に。

その一方で介護の予算は大幅カット、中小企業の予算はすずめの涙、年金、医療も負担増加がズバリ。公共事業に五十兆円、社会保障はその半分以上の二十兆円という、欧米と比べると逆立ちしている税金の使い方を改めれば、介護保険や年金などの心配がなくなり、消費税増税など国民にツケを回さず財政再建にふみだせます。

くらし・権利・命を守るルールを

野放しの残業、過労死、環境破壊―日本には国民を守るルールがありません。世界から「ルールなき資本主義」といわれるほどです。ヨーロッパでは当たり前の国民を守るルールをきちんと確立すれば、くらし・権利、命を大切に社会をつくることができ、日本経済の健全な発展も保障されます。

憲法のいきる
平和なアジアと日本をめざす

紛争の平和解決優先、自主独立の外交へ転換をすすめ、福岡空港、博多港の軍事利用をやめさせます。

私のお約束

利用料・保険料を減免し安心して
できる介護を

①政府の責任で利用料負担を軽減する
対策をとる
②サービス不足解消へ具体的な目標
を定める努力をあげる
③生活実態が反映できるよう認定制
度を改善する

- 身勝手な解雇を規制、サービス残業なくし雇用を増やす
- 大型店の無秩序な進出、下請けいじめ、貸し渋りから中小企業を守るルールをつくる
- 人工島などむだな大型開発や、社会保障の充実、財政再建を三十人学級の実現
- 食糧自給率をたかめ、日本農業をまもる

消費税増税を許さず財政再建
すすめ、引き下げへ道ひらく

比例代表は
日本共産党へ

●プロフィール 日本共産党福岡3区国政対策委員長、新婦人福岡西支部副支部長。●福岡女子大学卒業、高校英語教師。●生協、子ども会、PTA、子ども劇場などに参加。夫と二男一女。

この国のかたちを変革します



衆議院議員候補者
自由民主党公認 農政連推薦

おおたせい

太田誠一

54才

この国は国民のものである、という大原則のもとに、わたしは国民が選ぶことのできる政治家が、国会の場で国民の意思をかたちにし、政治主導で国を動かしていくという行政（内閣制度）改革の突破口を開きました。

わたしは、脆弱なこの国のかたちを変え、健康で強靱なこの国のかたちをつくり上げるために、その先導的な役割を果たす一人であり続けたいと思います。

かけがえのない国土と環境を守るために

わが国の国土とその環境を将来にわたって、荒廃や破壊、汚染から守り抜くという、国としての決意を内外に鮮明にします。同時に、その原則に基づいて環境政策においても国際社会に範を示し、併せて、WTO農業交渉や周辺国との漁業交渉に信念をもって臨みます。

若い世代との合意に向けて

世代を超えて、この国を支えていくという責任感の共有をめざします。そのため法律に定められた少年や児童の年齢上限を引き下げ、義務教育が終了した段階で成年に達する責任が生じ、十八歳になれば選挙権も含めて、成人として遇するようにしたいと考えています。

成人自身が己を厳しく律し、若い世代とともに、なをもちて尊い生き方であるのかという、共通の基準（コンセンサス）をつくり上げたいと考えます。

高齢化社会の経済の健全性とその活力を実現するための、あらゆる試みに積極的に取り組めます。

高齢化社会と経済の活性化

今後、高齢者の仲間入りをする世代は、より年長の世代とともに、経済的にも政治的にも、必ずしも弱者、庇護される立場と規定することはできません。自らに鞭を打つても、その時代と社会を支えていかなければならないかも知れないからです。

財政赤字削減プログラムの策定

景気の回復を確実なものにするまでは、その経済政策の手綱は緩めませんが、近い将来、巨額に膨張した国と地方の財政赤字を削減するための、健全化プログラムを策定します。これは大きな痛みを伴うものになることが避けられませんが、わたしたち政治に携わるものと国家公務員が、まずその痛みを分かちあうことからスタートする決意です。

平成12年6月25日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙 (福岡県第3区)

選挙公報

投票日 6月25日

福岡県選挙管理委員会

プロフィール

- 1949年7月生まれ。1972年、明治大学法学部中退。
- 1987年4月、早良区から福岡県議選立候補。以来三期連続当選。
- 1998年6月、参議院選立候補。
- カンボジア、アメリカ、北欧などを訪問。「明日のカンボジアを考える会」「ハビタット福岡NGOフォーラム」「ワーキング・ウイメンズ・ボイス（旧変えよう均等法in福岡）」などのNGO活動に積極的に取り組む。
- 「21世紀の日本をつくる福岡三区会議」を設立。代表を務める。
- 現在、民主党福岡県第3区総支部代表。民主党中小企業支援対策チーム事務局次長。
- 著書 「とどいてますか、政治」（葦書房）



The Democratic Party of Japan

民主党

「政治を変える」

そのチャンスがやっと訪れました。

「旧い政治」の役割は終わりました。

今度こそ思い切って変えることによって、

市民参加の新しい政治をスタートさせようではありませんか。



衆議院議員候補者
藤田一枝
民主党公認

思い切って変える！

- 男女共同参画**
男女が共同で参画する平等社会が基本です。多様性を認め合い、女性も男性も共に生きまともに暮らせる社会、人間の尊厳が保障された社会をつくりまします。
雇用の安定は国の責務です。新たな労働市場の開拓と、セカンドチャンスのある社会の実現に努めます。
- 雇用**
雇用の安定は国の責務です。新たな労働市場の開拓と、セカンドチャンスのある社会の実現に努めます。
- 食と農**
農業の重要性は、ますます大きくなります。食糧自給率を高め、安全な食の供給と、安心の生産環境を整えます。
21世紀は環境の世紀です。生産、消費、廃棄までの一体的な取り組みにより、環境保全型社会の形成を目指します。
- 環境**
生産、消費、廃棄までの一体的な取り組みにより、環境保全型社会の形成を目指します。
- 教育**
教育は未来への投資です。だれもが社会の大切なひとりと認めてられ、自己実現と自己決定の力をつける教育環境整備に努めます。安心できる福祉社会が切望されています。安心と信頼の福祉社会、誰もが生き生きと暮らせる社会を目指します。
- 福祉**
日本とアジアと世界の平和を守ることが必要です。憲法の平和主義と国連憲章の定めにそって、人口、貧困問題、人権環境、軍縮等の分野で積極的役割を果たします。
- 平和**
日本とアジアと世界の平和を守ることが必要です。憲法の平和主義と国連憲章の定めにそって、人口、貧困問題、人権環境、軍縮等の分野で積極的役割を果たします。

藤田一枝さんを応援します。

民主党福岡県総支部連合会代表
前衆議院議員 松本 龍
連合福岡会長 盛貞 人士
福岡女子大学名誉教授 秋枝 蕭子

あなたと次世代のために

政治改革の一票を！



衆議院議員候補者
自由連合公認
くぼかずえ

くぼかずえ

既成政党の病んだ政治に
大きなメスを入れよう！

21世紀、超高齢社会になる日本。将来の生活を支える日本の福祉、医療、年金の対策は非常に遅れています。保身と権力争いに明けくれるこのままの政治が続く限り、沈みゆく日本を救うことができません。政党・自由連合は生命の平等を基本にした、誰もが安心して暮らせる福祉社会を実現してまいります。

① 医療と福祉に全力投球

「介護保険問題の早急は正」「生命だけは平等」をモットーに、高齢社会の医療福祉行政を実践します。

② 景気回復への積極的取り組み

「消費税一時凍結による消費の拡大」全ての人が働く場を確保できるような、活力ある社会を財政・金融・産業構造改革等の総合的施策を実践します。

③ 政府の無駄遣いを是正し、「小さな政府」をつくる

国民の負担を軽減するためのスリムで機能的な政府を実現するため、政府の無駄遣いを排除します。

くぼかずえプロフィール

大分県生まれ。
東豊高校卒業。
別府病院看護学校卒業。
国立相模原病院、久里浜病院、多摩全生園などに勤務。
現在、大和徳洲会病院看護部長。

比例区は

政党

自由連合

平成12年6月25日執行

衆議院小選挙区選出
議員選挙
(福岡県第4区)

選挙公報

投票日 6月25日

福岡県選挙管理委員会

「自・公」にかわる新しい政治は

日本共産党が伸びてこそ



衆議院議員候補者・日本共産党公認
まつ おとら ひこ

松尾寅彦

(58歳)

リストラ、介護、年金、子育て―「生活に不安を感じている」人が六・一四％（総理府世論調査）と過去最高です。ゆきづまった自・公の悪政にきっぱりノーの審判を下そうではありませんか。

介護・年金・医療の充実

社会保障、くらしを予算の主役に

日本の予算は、むだな空港や人工島など公共事業が主役で、国と地方の借金は増えつづけ、ついに645兆円に。その一方で、介護の予算は二千五百億円もカット、年金・医療も負担増です。公共事業に毎年五十兆円、社会保障は半分以上の二十兆円という、欧米とくらべ逆立ちした税金の使い方を改め、むだと浪費をなくせば、増税なしに介護や医療、年金など福祉も充実でき、景気回復や財政再建にも道が開かれます。

リストラ・解雇・大型店の進出規制

くらし・権利・環境を守るルールを

失業率は過去最悪、福岡県の求人倍率も過去最低の水準、大型店の野放しで酒屋・薬局などから悲鳴があがっています。大企業の解雇・リストラを規制するなど、欧米ではあたり前の、国民をまもるルールをつくり、くらし、権利、雇用を大切にします。サービス残業をやめるだけで、全国で九十万、福岡県でも三万人以上の雇用が増えます。

憲法のいきる

平和なアジアと日本をめざす

紛争の平和解決優先、自主独立の外交への転換をすすめ、福岡空港の軍事利用をやめさせます。

みなさんと力をあわせて わたしのお約束

- 介護保険に低所得者の利用料の減免制度をつくる
- 大型店の進出や下請けいじめから中小企業をまもるルールをつくる
- 消費税の増税に反対し、引き下げに全力
- 保育制度の改善、母性保護の強化など女性が安心して働き、子育てできる環境整備
- 農業を国の基幹産業にし、食糧自給率を引き上げる
- ゴミ問題は、製造者責任を法制化、ダイオキシンなど有害物質の対策強化

消費税増税を許さず財政再建
すすめ、引き下げへ道ひらく

比例代表は
日本共産党へ

【松尾寅彦の略歴】●1942年生まれ●県立農業経営伝習農場卒●ニビシ醤油勤務、同労組委員長、福岡東部地区労働組合事務局長など歴任●現在、党宗像粕屋地区常任委員、4区国政対策委員長

私は変えたい

日本の大切な心を見失いつつある政治。
これで良いのだろうか。変えることはむずかしい。
しかし、変えようとしなければならぬに変わらない。

今、
私は起ちます。

そして、変えるのは「あなた」です。

若い人たちに夢を。
婦人に暮らしの
豊かさを。
年老いた人たちに
安らぎを。
そして
世界に和らぎを。

私の決意

「過去を学んで現在を知り、
そして未来を創造する」
これが私の決意の原点です。

昭和五十二年九月、父、弥之助の社会党離党という事態に直面し、組織がなくなった父を守るため、サラリーマンを辞めて政治の世界にとびこみました。爾来、政治家としての父の生きざまをつぶさにみてまいると同時に、私も秘書として研鑽に励んできました。

こん日、官民主導型政治が日本をおかしくしてしまつたことは、周知の事実です。

私は「労働者」「生活者」「納税者」の立場から、市民が主役の政治をめざして精一杯がんばります。そして、閉そく状態にある政治状況、社会状況を何とか変えたい、変えようと思われまふ皆さんと一緒に、私たちの未来をつくってゆきたいと思ひます。

どうか、皆さんの力強いご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

略歴

昭和18年6月19日 福岡県宗像市生まれ
昭和31年3月 宗像市立第一中学校卒業
昭和37年3月 宗像市立第一高等学校卒業
昭和41年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和43年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和44年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和45年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和46年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和47年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和48年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和49年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和50年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和51年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和52年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和53年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和54年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和55年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和56年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和57年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和58年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和59年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和60年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和61年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和62年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和63年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和64年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和65年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和66年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和67年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和68年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和69年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和70年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和71年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和72年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和73年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和74年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和75年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和76年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和77年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和78年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和79年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和80年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和81年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和82年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和83年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和84年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和85年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和86年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和87年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和88年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和89年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和90年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和91年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和92年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和93年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和94年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和95年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和96年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和97年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和98年3月 福岡県立第一高等学校卒業
昭和99年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成元年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成2年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成3年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成4年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成5年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成6年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成7年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成8年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成9年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成10年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成11年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成12年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成13年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成14年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成15年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成16年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成17年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成18年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成19年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成20年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成21年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成22年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成23年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成24年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成25年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成26年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成27年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成28年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成29年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成30年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成31年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成32年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成33年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成34年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成35年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成36年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成37年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成38年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成39年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成40年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成41年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成42年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成43年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成44年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成45年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成46年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成47年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成48年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成49年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成50年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成51年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成52年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成53年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成54年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成55年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成56年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成57年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成58年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成59年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成60年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成61年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成62年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成63年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成64年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成65年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成66年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成67年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成68年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成69年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成70年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成71年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成72年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成73年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成74年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成75年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成76年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成77年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成78年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成79年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成80年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成81年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成82年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成83年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成84年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成85年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成86年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成87年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成88年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成89年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成90年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成91年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成92年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成93年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成94年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成95年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成96年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成97年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成98年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成99年3月 福岡県立第一高等学校卒業
平成100年3月 福岡県立第一高等学校卒業



衆議院議員候補者
民主党公認
なら まさき

ならまさき

(56歳)

父、弥之助の志を継ぎます。

私の政治信条

力をつくします

- 一、少子・高齢化対策に力をつくします。
児童虐待の解消、介護保険制度欠陥の見直し、高齢者への負担を少なくする医療改革、国民年金国庫負担率の引き上げ、六五才までの停年延長引き上げに力をつくします。
- 一、景気対策に力をつくします。
何よりも地場企業が元気になることが、地元景気浮揚の大きな足がかりとなります。地場企業発展のために、発注システムの改革に力をつくします。
- 一、財政再建に力をつくします。
財源を含んだ地方分権を促すと同時に、天下りの弊害をなくす特殊法人の改革など、スリムな行政機構をつくる、徹底した行政改革に力をつくします。
- 一、人権の21世紀をめざします。
部落解放基本法制定に向けて努力すると同時に、すべての差別に反対し、日本と世界の平和に力をつくします。
- 一、教育制度の改革に力をつくします。
次代をになう子供たちの、個性や自主を重視する教育制度の確立に力をつくします。
- 一、農業、漁業の発展に力をつくします。
営農、営漁体制の近代化の強化をはかると共に、後継者が育つ環境整備に力をつくします。
- 一、森・自然環境の保全と、「神の国」発言の遺憾性を徹底的に糾弾します。

平成12年6月25日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙
(福岡県第4区)

選挙公報

投票日 6月25日

福岡県選挙管理委員会

いつもまじめ。いつもひたむき。



衆議院議員候補
自民党公認
農政連推薦

渡辺ともよし

(59歳)

はじめに

政治の役割とは、私たち国民の願いや幸せを実現することであり、その願いや幸せとは安全で安心でき、生きがいを持って暮らすことであると思います。そして、も一つ大切なことは、私たちが日本の文化や歴史に誇りを持ち、品物ある国づくりを目指すことでもあります。

『よい子・よい町・よい国づくり』をモットーに

【よい子】
国への愛は、人づくりであり、まさによい子を育てることであります。今、そのために最も大切なことは、子どもや幼児の頃の心の教育やしつけであると考えます。

【よい町】
子どもは家のなかから、そして地域のなかから、国のためにつくります。よい子はよい町に育ちます。よい子が育つ美しい生活環境や利便の向上に取り組めます。

【よい国づくり】
活力ある、品物ある国づくりを基本とし、汗を流し一所懸命に頑張る人々が報われる社会、また自助努力をしてもなおかつ恵まれない人が救われる日本型競争社会の実現を目指します。

そのための具体的対策

●経済対策

本来、日本経済は2%程度の成長を維持できる資本力、技術力等潜在力を持っています。それを顕在化させるには、規制緩和や金融の構造改革等の改革が必要ですが、言うまでもありませんが、その中で新しいアイデアや技術の創造による新しい産業分野の開拓や研究開発による新しいタイプの社会性の必要性が重要であります。最も当面は、雇用の確保や中小企業の活性化及びベンチャービジネスの育成による意気発揚等は必ずやなければならないこととあります。

●教育問題

老人を大切にすることは、先生や先輩を敬う心、悲しい話を聞いたなら悲しむ心、美しいものに感動する心、不思議な発見した時に驚き胸をときめかせる心、或いは、正しいと思えば立ち上がる勇気、さういふ人間として社会において身につけなければいけないことを子供や幼児の頃から、家庭・学校と地域が一緒にならなければならないことが何より大切であると思います。テレビゲームの頃から子供を広場やお祭りにつけたり出したり、そしてたとえ他人の子供でもよい時節は助け、悪い時は叱責をもつてしるべき必要はないでしょうか。特に今年から21世紀の日本に必要とされる人材を育てるため、親子で一緒に育つことが必要です。

●社会福祉政策

高齢化社会が進展する中、年金・医療・介護等の制度の再編とその関係が重要で、国の財政をゆがすことのないよう、国庫コソコソな状況に陥らないよう、高齢者の生活の質を向上させることが必要です。今がとけられなければならないというところまで進めなければならぬ。21世紀の日本に必要とされる人材を育てるため、親子で一緒に育つことが必要です。また、高齢者の生きがいや命の拡大や経済成長を維持し、国庫コソコソな状況に陥らないよう、高齢者の生活の質を向上させることが必要です。また、高齢者の生きがいや命の拡大や経済成長を維持し、国庫コソコソな状況に陥らないよう、高齢者の生活の質を向上させることが必要です。

●環境問題

再増は地球規模の問題であり、地域に密着した問題であり、さらに大切なことは将来の世代にも残る問題であります。国民の環境の負担やゴミを減らし、リサイクルに責任をもつて努力することは当然であります。そのためには原則として、資源の有効利用や環境問題のビジネスの普及やリサイクル社会への推進を計るべきだと思います。また、地域社会においても、環境問題の解決を目指す。住民に対して理解をえるべく説明責任の重要性を再認識した上で、対話を繰り返して、国民的なコンセンサスを醸成していくことが急務であると思います。

●地域の未来

小選挙区で選ばれる衆議院議員は、船舶・宗像地区の代表でもあります。したがってこの地域の発展のことを責任をもって考えることも国会議員として大事な役割であります。ふもとをのぞくため長年つちかっ行政経験をフルに生かし、自分自身でつくったことに引き継ぎ具体的に推進していきたいと考えています。(具体的には、古賀・二日市間門松交差の渋滞解消のための立体交差化、高遠道の須恵インターチェンジの新設、西鉄地蔵の地下鉄相互乗り入れと地蔵の建設、JR香取エリベーターを設置する等のパブリック化の実現、多々良川や約川の河川改修、農地や漁場の整備等農林水産業の育成のための施策づくり。)

以上のような政策を実行するため、精力を充て、心を懸念し、そして私心を捨て、21世紀の日本の国づくりを断つてゆきたいと思ひます。まじめに、ひたむきにがんばります。

投票日は6月25日です

投票用紙は 小選挙区選出議員選挙・・・桃色の紙に 黒刷り
比例代表選出議員選挙・・・クリーム色の紙に 赤刷り です

あしたへの ねがいをこめて この一票

平成12年6月25日執行

衆議院小選挙区選出
議員選挙
(福岡県第5区)

選挙公報

投票日 6月25日

福岡県選挙管理委員会



いま、未来を創る。

あなたが動けば、日本が変わります。

(私たちは未来に責任を持ちます)

あなたは、なれあいの自民党中心の政権に未来を託すことができますか。
あなたは、利権に走り、自身の保身にのみ勢力を注ぐ自民党中心の政権に満足できますか。

奪る。

環境 循環型社会を創る背景には、大量生産・大量消費・大量廃棄の行き詰まりがあります。私たちの暮らし方を、省資源・適量消費・最少廃棄の生活に変えて行かなければなりません。私は資源循環・廃棄物管理法を創ります。

福祉 人の権利としての移動の自由と安全を保障するためには、政府策でとりのこされた大多数の既存の駅などへの対策と、当事者である市民の目で街づくりが整備されるような内容が不可欠です。私はそういう交通バリアー法を創ります。

このままを続けるのか、これからを変えるのか。

(男女共同参画によって「福祉」と「労働」の仕組みをつくり直します。)
(子どもや孫たちのために「環境破壊」を許しません。)
(男女の家庭と職業の両立を支援します。)



福岡県第5区衆議院議員候補
民主党公認
まつもと
松本ゆい子

あなたと
次世代のために

政治改革の一票を！



衆議院議員候補者
自由連合公認
さと
佐藤こうぞう

佐藤こうぞう

(64歳)

先行きに不安のない日本の実現

二十一世紀。世界一の超高齢社会を迎える日本。豊かで成熟した国になるはずが、政治も経済も低迷し、さまざまな不安が社会を覆っています。

政策不況が長期化し、倒産、リストラの不幸が重ねられ、最悪の失業率も解消されません。多発する少年犯罪は、国民の心を暗くするばかりです。

この国の金みを直すためには、官主導の既得権優先政治と訣別し、高齢社会に対応する福祉優先の政治・社会システムを構築しなければなりません。

私は、医療の現場から、多くの市民の悩み、喜び、悲しみを聞き、この国の姿に思いをめぐらせ、今こそ立ち上がらなければいけないと決意をしました。

私たちと、次の世代のために、先行きに不安のない日本を、皆様の「自由な一票」で実現されるよう、心から訴えます。

佐藤こうぞう重点政策

景気回復

徹底的な行財政改革と、生活基盤重視の政策で、個人消費を活性化し、産業振興、雇用拡大をはかり、景気を回復します。

福祉充実

豊かな人生設計ができる年金、介護福祉、医療の社会保障制度を確立し、世界に誇れる福祉先進国を創造します。

教育改革

学力偏重の管理教育を、知・徳・体の全人教育に改め、家庭、学校、地域の役割分担で、視野の広い、思いやりのある人材を育成します。

佐藤こうぞうプロフィール

福岡県生まれ。
東京高校・京都大学医学部卒。
大阪赤十字病院、小倉記念病院などに勤務。
現在、福岡徳洲会病院名誉院長。
ベンチャー会(NGO)理事。
著書「福祉先進国の創造」

比例区は
自由連合

平成12年6月25日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙

(福岡県第5区)

選挙公報

投票日 6月25日

福岡県選挙管理委員会

福岡から21世紀・日本のリーダーを！

九州・沖縄サミットを成功させよう！ みんなでつくろう九州国立博物館！



衆議院議員候補者
自由民主党公認

原田 よしあき

(55歳)

前衆議院議員 元厚生政務次官

21世紀の幕開け、今度の選挙は、まさに国の命運をかけた大事な選挙となります。私は、この選挙にあたり、十五年に及ぶ行政経験と衆議院議員二期八年の経験と実績を踏まえ、次のことを力強く訴え、その実現に向けて努力いたします。日本、そして愛する郷土福岡のために「大切なあなたの一票とお力」を私にお与えください。

原田よしあき

【経済再生】

抜本的な構造改革によって「公需」から「民需」への動きを活発化し、情報技術(I・T)、社会福祉、教育など近未来の発展産業への重点的な施策の実行が必要です。わが国の得意分野であるI・T産業の国際競争力を強化し、新産業と雇用をつくり出します。

【教育改革】

資源、エネルギーなどのほとんどを外国に頼らざるを得ないわが国にとって、人材こそ最大の「資源」その教育システムの思い切った見直しが必要で、悪平等を排し、選択できる仕組み、柔軟性、オープンな心の教育環境を整備します。

【農林政策】

新農業基本法の施行にあたり、食料自給率50%の達成を目指し、豊かな農村づくりに努めます。また山林を育成し、国土の保全を重視した林業の振興を図ります。

原田よしあき 経歴

昭和19年 福岡県生まれ、下山田小学校
昭和22年 福岡県立中学校を経て
昭和24年 修徳高等学校入学
昭和28年 東京・小山台高校卒業
昭和33年 東京大学法学部卒業
昭和35年 司法試験合格
昭和45年 逓信省入省
昭和48年 郵政省郵政局長
昭和50年 中小企業庁長官
平成2年・8年 衆議院議員(2期)
平成9年 厚生政務次官等を歴任
◇家族 妻と娘3人
◇趣味 乗馬、ゴルフ、テニス
カラオケ、オートバイ等

【社会保障】

一、国民に良質な医療サービスを提供するため、医療改革を進めます。
二、介護対象者の定期的見直しにより、介護を必要とする人々を見逃すことのないように努めます。

【女性の時代】

「男女雇用均等法」を進め、仕事と子育ての両立できる雇用環境を整備し、拡充します。

御推薦いただいた主な団体・組織名

- ・農政連
 - ・商工政治連盟
 - ・医師会
 - ・歯科医師会
 - ・薬剤師会
- 他多数

～あなたのお声を～ ☎ (092) 919-6868
ホームページ <http://www.y-harada.com/> Eメールアドレス yoshiaki@y-harada.com

比例代表も 自由民主党へ

「自・公」にかわる新しい政治は



日本共産党が伸びてこそ

みなさんと力をあわせて
わたしのお約束

- 介護保険に低所得者の利用料の減免制度を
- 保育制度の改善、30人以下学級の実現
- 身勝手な解雇を法律で規制、サービス残業をなくし、労働時間短縮などで雇用を増やす
- 大型店の進出や下請けいじめから中小企業を守るルールを
- 消費税の増税に反対し、引き下げに全力
- 産業処分場規制、ダイオキシン対策など環境を守るルールを
- 食糧自給率を引き上げ、農業を国の基幹産業に

憲法のいきる
平和なアジアと日本をめざす
紛争の平和解決優先、自主独立の外交への転換をすすめる、福岡空港の軍事利用をやめさせます。

くらし・権利・環境を守るルールを
失業率は過去最悪、福岡県の求人倍率も過去最低の水準、大型店の野放しで酒屋・薬局などから悲鳴があがっています。
大企業の解雇・リストラや、自由勝手な参入を規制するなど、欧米ではあたり前の、国民を守るルールをつくり、くらし・権利、雇用を大切にします。サービス残業をやめるだけで、全国で九十万人、福岡県でも三万人以上の雇用が増えます。

消費税増税を許さず財政再建
すすめ、引き下げへ道ひらく

比例代表は
日本共産党へ



衆議院議員候補者・日本共産党公認

森山あき子

(55歳)

リストラ、介護、年金、子育て「老後に不安を感じている」人が八二%（経企庁世論調査）と過去最高です。ゆきつまった自・公の悪政にきつぱりノーの審判を下そうではありませんか。

介護・年金・医療の充実

社会保障、くらしを予算の主役に
日本の予算は、むだな空港や人工島など公共事業が主役で、国と地方の借金は増えつづけ、ついに645兆円に。その一方で、介護の予算は二千五百億円もカット、年金・医療も負担増です。公共事業に毎年五十兆円、社会保障は半分以上の二十兆円という、欧米とくらべ逆立ちした税金の使い方を改め、むだと浪費をなくせば、増税なしに介護や医療、年金など福祉も充実でき、景気回復や財政再建にも道が開かれます。

リストラ・解雇・大型店の進出規制

くらし・権利・環境を守るルールを
失業率は過去最悪、福岡県の求人倍率も過去最低の水準、大型店の野放しで酒屋・薬局などから悲鳴があがっています。
大企業の解雇・リストラや、自由勝手な参入を規制するなど、欧米ではあたり前の、国民を守るルールをつくり、くらし・権利、雇用を大切にします。サービス残業をやめるだけで、全国で九十万人、福岡県でも三万人以上の雇用が増えます。

【森山あき子の略歴】●1945年佐賀県生まれ●福岡市立福岡商業高校卒●三井物産入社、女性の結婚退職の廃止など女性の地位向上などで活動●党5区国政対策委員長、新婦人県本部副会長

平成12年6月25日執行

衆議院小選挙区選出
議員選挙
(福岡県第6区)

選挙公報

投票日 6月25日

福岡県選挙管理委員会

あなたと
次世代のために

政治改革の一票を！



衆議院議員候補者
自由連合公認

原 武夫
(62歳)

既成政党の病んだ政治に
大きなメスを入れよう！

21世紀、超高齢社会になる日本。将来の生活を支える日本の福祉、医療、年金の対策は非常に遅れています。保身と権力争いに明けくれているままの政治が続く限り、沈みゆく日本を救うことができません。政党・自由連合は生命の平等を基本にした、誰もが安心して暮らせる福祉社会を実現してまいります。

① 医療と福祉に全力投球

「生命だけは平等」をモットーに、高齢社会の医療福祉行政を実践します。

② 景気回復への積極的取り組み

「消費税一時凍結による消費の拡大」
全ての人が働く場を確保できるような、活力ある社会を財政・金融・産業構造改革等の総合的施策を実践します。

③ 政府の無責任を是正し、「小さな政府」をつくる

国民の負担を軽減するためのスリムで機能的な政府を実現するため、政府の無責任を排除します。

④ 教育大改革の実行

「知・徳・体育」の少人数教育の実践
次世代を担う人材の健全な育成を目指します。また新しい技術を得るため、生涯にわたる教育サービスを受けられるシステムを作ります。

⑤ 安定した暮らしとみどりの確保

地域農業の発展とみどりの保護を推進します。

原 武夫
プロフィール
上智大学法学部卒業。
元郵政大臣小宮山重四郎秘書。
衆議院議員秘書歴二十五年。
日本退職公務員連盟会長特別秘書。
全国中小企業団体中央会会長特別秘書。
作家（花登篋門下生）。

比例区は
政党

自由連合

「自・公・保」に
かわる新しい
政治は

日本共産党が伸びてこそ



衆議院議員候補者・日本共産党公認
まる ばやし ひで ひこ

丸林秀彦
(58歳)

「日本は神の国」などという憲法違反の考えをもつ首相をかついだ自公保政権のもとで、ゆきづまった政治が続いています。日本共産党は日本改革の提言をおこない、国民いじめの政治をたたき、国民のみなさんと心のかような新しい政治をつくりまします。ご支持をお願いします。

ゆきづまりをただし希望の明日をつくる 日本共産党の日本改革の提案

◆ 社会保障と暮らしを予算の主役に

自公保政権を受け継いだ森政権は、介護の予算を二千五百億円カットし、年金、医療などでの負担を大幅に増やしました。他方では、公共事業に五十兆円も使い、大銀行に七十兆円もそそいでいます。

暮らし、福祉、教育をまもり、地元の中小企業と産業を育成するための予算に思い切って切り変えます。

◆ 国民を大切に作るルールもった国に

リストラ、サービス残業が野放しにされ、職場では、いつ解雇されるかわからない不安な状態が続いています。解雇規制法の制定など、欧米では当たり前の、国民をまもるルールをきちんとつくり、暮らし、権利、雇用を大切にします。

◆ 憲法第九条をいかし、平和なアジア外交をめざす

アジアに生きる国として、また、憲法第九条をもっている国として、軍事優先でなく平和優先の外交、アジア重視の外交、アメリカ追従でなく独立・自主の外交への転換をすすめます。

みなが力をあわせまします

- 1、安心して受けられる介護保険に改善します
- 2、規制緩和を見直し、地元中小企業をまもります
- 3、水源地保護の立場から乱開発を規制します
- 4、食糧自給率を引き上げ、農業を日本の基幹産業に
- 5、消費税の増税に反対し、引き下げに全力をつくします

消費税増税を許さず財政再建
すすめ、引き下げへ道ひらく

比例代表は
日本共産党へ

〈丸林秀彦略歴〉

- 1941年生まれ●久留米センター合唱団書記長、
- 現在、青峰校区自治会連絡協議会副会長、党筑後地区常任委員、党福岡6区国政対策委員長

筑後川の「暮らし」に活力とうるおいを！

「筑後川生活文化圏」



衆議院議員候補者
自由民主党公認 農政連推薦

古賀 まさひろ

(65歲)

古賀まさひろは、**やります!**

21世紀へ、私たちの先達は、いくつかの大きな変革の節目を乗り越えてきました。その伝統を受け継ぐ私たちは、誇りを持つて、「英知と努力」でこの、日本の経済再生をめざし、地域にあつてはこころ豊かなふるさと、美しい筑後川生活文化圏を創っていきましょう。

「古賀まさひろのお約束」

豊かな筑紫次郎の恵みの授ける農業園を、日本農業のショーウィンドウにするための環境づくりに努めます。

ち

環境にすくね、快適で活動的なまちをめざし、
元気の出る情報交流をすすめ、だれもが住ん
でみたい品格のあるまちづくりに努力します。

福祉

長寿者が安心して豊かに暮らせる福祉政策の推進。豊かな日本を作ったご苦労に応えます。

教育

2005年から始まりそうな、人口減少に歯止めをかけ、感性ゆたかな子どもを育てる教育の環境づくりに努めます。

交通

九州の四つ角であるわが北筑後のアクセス整備は地域発展の基礎です。道路整備、九州新幹線の開業の促進、久大線の活性化などで筑後川文化交流圏の形成を急ぎます。

古賀まさひろは：

大陸で戦死。戦中、戦後の困難の時代を母の手ひとつで、周辺の人々々の好意に恵まれて育ちました。

地元の間響高校を経て苦学して東大法學部を卒業。人の命と文化の根源である食料農業問題への取り組みを目指し農林省に入省。正義感に燃え、弱者の立場に入つての信念は、その歩みを通じて形成されました。

古賀まさひろの歩み

[illegible]

あなたの一声を国政へ！



民主黨公認・民主黨副幹事長
衆議院議員候補

古賀一成

(52歳)

私は、このたび民主党公認候補として、福岡六区から四期目に挑戦しています。皆様のお力で三期にわたって当選させていただいたこの十年間、誰にも負けない行政経験を活かし、旧習にとらわれず（常に前へ）の気風を持ちつづけて国政に貢献してきたと自負しています。「海のものや世界が怖い」という老害、安易な順社会に戻って、明治新ができたでしょうか。過激派のまじった「政治家が今のまま適当さ」を、今後の積極的役を破り、「時代の聲」に挑戦することが必要だと思います。

拔本的地方分權が日本を救う

今、国と地方の長期債務は六四十五兆円。今のやり方だと一年間に五兆円、週間に一兆円、一日に二億円の長期債務を供給しなければならない。改革のビジョンとして、借金に替えて、資金によるバロキ型の景気対策は、もしくは境界で感嘆と云へべきです。族閥とバラキを存立基として、政治は、与党でありつづけるための政策」を優先します。そこには予知の私物化とともに、問題の先送りに対症療法の政治があるのみです。だから財政赤字だけが増えいくのです。

系に「道州・国庫・地方財源・生活・分庁事業」として、道州制導入と地方財源確保」という抜本的な地方分権がその目印に附け、新路線を開いていくこととなる。道州制導入と市町村合併による、十五兆円とも試算される総務的経費の節約と地方財源増強確保により、地方の自立と地域の創意を引き出し、個性的で活力みなぎる地域、ひいては豊かに豊かな日本を作り出します。

私の郷土発展プロジェクト

地方の時代を代表するものは、各地域が自ら将来の姿をデザインすることが必要である。今後の国際化医療・福祉社会を実現するため、食糧・繊維・絹織物の高まりなど、豊かな自然、アジアに近い地理的条件を持つ九州や筑後・新田などには、さまざまな可能性を提供します。これを具体化する。地域行政・建設行政の専門家の経験を活用。地域連携。

- まず、国連特命総長をはじめ未整備な福祉施設と不安定な環境条件の改善を行います。
- 筑後地方の豊かな自然の中に、新緑・教育施設が連なる「グリーン・ホスピタリティゾーン構想」の推進を図ります。
- 有明海にアジアへ開く「九州国際ハブ空港」の建設を目指します。
- 減反政策の撤廃と食糧安全保障のための「国際米備蓄基地構想」の実現を目指します。

私教育改革のゆくえ

今の教育は、偏差値というひとつの物差しに頼る単線路線。背丈だけで人間の価値を決められないように教育の価値基準を多様化し、多様な個性を育む、複線の世界に子供を解放することが今必要です。

○幼児期における情操教育の重視

○人權教育の拡大、教師の海外研修制度の拡充等教育の大改革をめざします。

光を集め 風を集め 正そう政治

これは国民不在の政治が続いても、有権者の熱心によって、今の政治が続いたら、いつの日か子供を孫に、あの時なぜ政治を愛でてくれなかったのと責められるのではないだろうか。主催者のひとり一人が一声を発し、自分の過去の七かみではなく、二十一世紀の子供達に対する未来への責任として、次の政治を選択する。それが今度の選挙です。

暖かい光を集め、燃え盛る火が起こるように

ひとり一人の参加が 政治を正すのです

— 19 —

平成12年6月25日執行
衆議院小選挙区選出議員選挙
(福岡県第7区)

選挙公報

投票日 6月25日

福岡県選挙管理委員会

「自・公・保」に
かわる新しい
政治は

日本共産党が伸びてこそ



衆議院議員候補者・日本共産党公認

やま だ しい ち ろう

山田 眞一郎

(51歳)

「日本は神の国」などという憲法違反の考えをもつ首相をかついだ自公保政権のもとで、ゆきづまった政治が続いています。日本共産党は日本改革の提言をおこない、国民いじめの政治をただし、国民のみなさんと心のかような新しい政治をつくりまします。ご支持をお願いします。

ゆきづまりをただし希望のもてる明日をつくる

日本共産党の日本改革の提案

●社会保険と暮らしを予算の土俵に
自公保連立の森政権は、介護の予算を二千五百億円減らし、年金、医療などでの負担を大幅に増やしました。一方で、公共事業に五十兆円も使い、大銀行に七十兆円もそいでいます。暮らし、福祉、教育をまもり、地元の中小企業と産業を育成するための予算に思い切って切り変えます。

●国民を大切にしよう
リストラ、解雇、サービス残業が野放しにされ、職場では、いつ解雇されるかわからない不安な状態が続いています。

解雇規制法を制定させるなど、欧米では当たり前の、国民をまもるルールをきちんとつくり、暮らし、権利、雇用を守ります。

みなさんと力をあわせまします

- 介護保険を安心してうけられる制度に改善します。
- 雇用確保のため、労働時間短縮をすすめ、サービス残業を禁止し、解雇・リストラ規制法を制定します。
- 三十人学級を実現し、どの子も伸ばす教育をすすめます。
- 中小企業予算を大幅に増額し、地場産業の育成をはかります。
- 消費税の増税に反対し、引下げに力をつくします。
- 国家を国の基幹産業とし、食糧自給率の向上をはかります。
- 憲法をまもり、平和的解決を最優先にする外交をすすめます。
- ゴミなど廃棄物処理については、環境や安全に十分考慮してすすめます。

世直しドクター

山田さんを
推薦します

九州大学 名譽教授 安東 毅
医療法人 徳仁会理事長 高口 憲章
福岡佐賀 県医連会長 福田 紀彦
井 護 士 永尾 廣久
県会議員 下川 忠範

消費税増税を許さず財政再建
すすめ、引き下げへ道ひらく

比例代表は
日本共産党へ

〈山田眞一郎の略歴〉

●長崎県五島に生まれる ●久留米大学医学部卒 ●
民医連親仁会で内科医師として地域医療にたずさ
わる ●現在、大牟田市米の山病院総院長

投票日は6月25日です

投票用紙は

小選挙区選出議員選挙・・桃色の紙に

黒刷り

比例代表選出議員選挙・・クリーム色の紙に

赤刷り

です

あしたへのねがいをこめて この一票

平成12年6月25日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙

(福岡県第8区)

選挙公報

投票日 6月25日

福岡県選挙管理委員会

郷土への思い限りなく熱く!!

夢、感動、そして喜びを

意欲と相乗効果の実現

平成13年度の石炭六法失効を前に、地域社会に大きな影響を与えないようとするため意欲と相乗効果の増進を強く要求。その結果、産炭地域振興対策や就労対策、被害対策などが引き継ぎ実施されることになりました。

産炭地域の活性化と発展

福岡、北九州、筑豊を結ぶラインの強化は、郷土発展のためには不可欠です。平成13年度中には電車が走り出す。

道路網の整備

今年9月、開通する国道200号バイパス(直方市下郷～北九州市八幡西区篠山)、平成19年度開通予定の国道201号バイパス、国道3号線の福岡や今吉交差点の立体交差等、着実に進捗しています。

遠征川筋下水道の整備

より快適な生活環境を作るため中郷、水巻、遠征、坂手、1市3町、直方・宮田・若宮・小竹1市3町の下水道整備事業を推進、早期完了をめざしています。

教育の振興・充実

九州工業大学並びに同附属工科大学の顕微鏡を地域発展に生かすため、研究施設の充実や産官学連携を促進する対策、さらに小・中学校へのパソコン導入等を図ります。

農業の振興・発展

農業の振興、発展のために新農業基本法を制定、今後とも自給率の向上や担い手育成事業の展開等、地域農業の発展に努力します。

課題を見えて

環境対策や福祉政策の充実を図るとともに、過疎地域の振興対策の確保や平成17年度開港の新北九州空港、福岡ダムの建設促進、基地周辺対策関係等にも一層努力いたします。

21世紀に伝えたい

●アジア・太平洋地域の平和と安定をより確かにするために必要な機関を設立すると同時に、有事、平時を問わず、日本の安全に必要な法律を速やかに整備します。

●経済再生とその発展を期するため、経済成長率や物価、賃金、雇用、株価等の経済的数値に目標を設定し、この達成のための施策を強力に推進してまいります。

●少子・高齢化社会の到来により社会保障制度の抜本的見直しが進められており、介護保険制度の充実とともに年金、医療、社会福祉対策等については、国民の理解と納得のいく新たな仕組み、制度を策定し、長生きして良かったと思われる社会の創出をめざします。

●地球環境を守るため様々な課題に取り組みとともに、環境科学技術の開発促進や日本型循環経済体制の確立を進めます。

郷土と国の未来を見つめて
いま、確かな政治力!!

西暦二〇〇〇年から二十一世紀へ。私達の郷土、そして日本が新しい時代を迎えます。

我が国は国家の繁栄を経済力によって競った時代から脱却し、立派な独立国家として一層の繁栄を維持していくために、今、何を守り何を愛するのかが、真剣に考えなければなりません。私達の郷土においても様々な課題をひとつひとつ解決しながら、新しい時代へ着実に歩みを進めて行かなければなりません。二十一世紀に生きる政治家として、歴史の評価に耐えられる決断と実行に全力を挙げ、郷土の皆様のご期待に応えるべく、更に努力してまいります。

郷土と国の未来を見つめて
いま、確かな政治力!!



自由民主党公認・農政連推薦

あそ たらう 太郎 (59歳)

あそ たらう 太郎 昭和16年9月20日生	
昭和18年	学習院大学政経学部中退(スタフォード、ロンドン) 平成2年 自由民主党 文部次官
昭和19年	大学教員 平成3年 農林省 石炭対策特別委員会 平成4年 農林省 農政連推薦
昭和20年	農林省 農政連推薦 平成5年 自由民主党 農政連推薦
昭和21年	農林省 農政連推薦 平成6年 自由民主党 農政連推薦
昭和22年	農林省 農政連推薦 平成7年 自由民主党 農政連推薦
昭和23年	農林省 農政連推薦 平成8年 自由民主党 農政連推薦
昭和24年	農林省 農政連推薦 平成9年 自由民主党 農政連推薦
昭和25年	農林省 農政連推薦 平成10年 自由民主党 農政連推薦
昭和26年	農林省 農政連推薦 平成11年 自由民主党 農政連推薦



いわた順介プロフィール

- 1937(S.12)年7月28日 嘉穂郡穂波町小正に生まれる。5人兄弟の長男。62歳。実家は農家。若菜小学校、新飯塚中学校出身。
- 1956(S.31)年3月 飯塚商業高校を卒業。
- 1960(S.35)年10月 福岡県庁職員に採用。
- 1963(S.38)年3月 働きながら学んだ西日本短大を卒業。この頃、県庁職員組合に参画。労働運動を通じ、人権・平和・環境問題、民主主義など社会正義を学ぶ。
- 1982(S.57)年11月 福岡県庁を退職し、自治労本部専従の執行委員長になる。
- 1990(H.2)年2月 多賀谷真穂先生の後継者として衆議院初当選。
- 1993(H.5)年7月 衆議院2期目当選。
- 1996(H.8)年9月 民主党結成に参画。
- 1996(H.8)年10月 衆議院3期目当選。

- 公務
1998年8月 衆議院労働委員長就任。
1999年11月 衆議院「内閣委員会」理事。
衆議院「通信委員会」委員。
衆議院「石炭対策特別委員会」理事。
- 党務
1997年9月 民主党国会対策委員長就任。
1999年11月 民主党筆頭副幹事長就任。(国対担当)。
「緊急失業・雇用対策本部」副本部長。
「部落解放推進委員会」事務局長。
「じん肺問題議員懇談会」会長。
「公害健康政策議員懇談会」副会長。
- その他
「社会保障制度調査会」「税制調査会」「森林環境政策議員懇談会」「高齢者・障害者の交通アクセスに関するプロジェクトチーム」「少子化対策議員連盟」

無責任政治と決別し、安心の未来を創るために。

国と地方合わせて645兆円もの借金の山。国債という借金の利子を返すために赤字国債を発行してまた借金。まさに日本は「債務地獄」の状態です。

自民党政府が進めてきた、税金の無駄遣いや、バラマキが日本の景気と財政を悪化させ、国民生活を不安におとしめています。

私と民主党は、「スリムで限定された中央政府」と「効率的で身近な地方政府」が対等に並ぶ、新しい仕組みの「分権連邦型国家」をめざすことで、21世紀の日本が住民自治に立脚した国のかたちに変革でき、財政再建を成功させ、安心の日本、「最良の国・日本」を創ることができるものと考えます。

いわた順介 基本政策

1. 官僚主導・中央集権国家から民主主義を実現する「分権連邦型国家」道州制への転換を図ります。
2. 政治への信頼を確立し、21世紀に責任ある政治をつくります。
3. 平和と民主主義を守り、憲法の理念を活かした外交・安全保障に努めます。
4. 人権確立、男女共同参画社会の実現、働く者の生活と権利を守り、ゆとり・豊かさ・社会的公平を実現します。
5. 筑豊・産炭地対策をはじめ、魅力と活力ある郷土をつくります。
6. 家庭・地域・社会における子育て支援、個性と人間性を育む教育改革に努めます。
7. 誰もが安心できる福祉社会の構築、質が高く効率的な医療制度の確立に努めます。
8. 大量生産―大量消費―大量廃棄社会から地球環境・資源保護にむけた循環型社会をつくります。
9. 21世紀を展望する活力ある農業・農村の確立、資源再生型水産業の確立に努めます。
10. NPO・市民グループなど広範な国民との連携を強めます。



いわた じゅんすけ 順介 (62歳)

衆議院議員候補者
民主党公認

平成12年6月25日執行

衆議院小選挙区選出
議員選挙
(福岡県第8区)

選挙公報

投票日 6月25日

福岡県選挙管理委員会

今度は、おおつか和弘に



衆議院議員候補
社会民主党公認

おおつか和弘

かずひろ

(62歳)

「生活の場」から「人間の生命と自立」をテーマに社会を見るのが、おおつか和弘の政治姿勢です。地域を回り、九つの政策を訴えながら皆さんの声をじかに受け止め、今ここに次の五つの約束をいたします。社会民主党おおつか和弘は、人権・平和の憲法を守り、時代の変化を見極めながら約束の実現をはかります。そのため皆さんとを合わせて、政府や与党と堂々と渡り合える政治家になることをめざします。

五つの約束

- 一、「新ガイドライン」によって、基地があるから逆に地域の平和が必要となつていきます。平和と人権・主権在民の憲法を守り、戦前体制につながる「有事法制」に反対します。
- 二、ひとが人間として尊重され、お年寄りや子ども達が目撃、差別のない豊かな社会をつくりたい。
- 三、国・地方あわせて「六五〇兆円」にのぼる借金がいかに使われたかが政治に問われていま。不安定経済など、仕事を奪われた人たちの働く場を保障するため、「公共事業」を確保します。
- 四、「自由化」や「規制緩和」に対しては、「価格破壊」から地元の小売業者や農業者の経営と、そして働く人たちの生活を守ります。
- 五、情報の提供と教育の充実をはかり、この地域で蓄積された技術を活かして新しい産業を創り出し、若者たちにとって魅力あるアジアに開かれた通商川流域の二十一世紀をつくりたい。

九つの政策

- 1 お年寄りや障害のある人たちが、希望と生きがいを感じる豊かな福祉社会の実現。
- 2 大企業優先を見直し、労働者に働きがいがある社会システムと、筑豊・通商川流域の雇用創出実現。
- 3 部落解放基本法の制定。あらゆる差別を無くし、男女平等の明るい社会の実現。
- 4 自然環境の保全・修復をすすめる。若い人たちが未来に希望を持てる社会の実現。
- 5 教育基本法の改訂をすすめる。安心して子どもを生み、育てることに夢が持てる教育の実現。
- 6 農林・漁業の活性化で、夢を持つ後継者の育成と、多面的機能の発揮。食料自給率向上の実現。
- 7 住民自治と、地方自治体間の連携を柱とした地方分権の推進。元氣な地域社会の実現。
- 8 小選挙区制度を見直し、小さな声も政治に届く選挙制度の実現。
- 9 通商川流域の豊かな文化や技術を活かした地域経済の振興と、通商川流域の国際的発展をめざして、アジア交流の拠点化の実現。

おおつか和弘の略歴

一九三二年十二月筑豊生まれ。大学卒業後、教育畑を中心に、常に若者の立場に立つて、地域や日本の教育文化づくりに取り組んできました。現在は、社会民主党福岡県連合副代表、教育文化活動全国ネットワークセンター所長として活躍中。

「自・公」にかわる新しい政治は



日本共産党が伸びてこそ

みなさんと力をあわせて
わたしのお約束

- 消費増税の増税に反対し、引き下げに全力
- 保育制度の改善。三十人以下学級の実現
- 産廃処分場規制。ダイオキシン対策など環境を守るルールを
- 食糧自給率を引き上げ、農業を国の基幹産業に
- 新たな産業地帯創出策。一泊二泊と滞在をすすめる自治体

平和なアジアと日本をめざす
紛争の平和解決優先、自主独立の外交への転換をすすめる、福岡空港の軍事利用をやめさせます。

憲法のいきる
失業率は過去最悪、福岡県の求人倍率も過去最低の水準、大企業の野放しで酒屋・薬局などから悲鳴があがっています。大企業の解雇・リストラや、自由勝手な参入を規制するなど、欧米ではあたり前の、国民をまもるルールをつくり、くらし、権利、雇用を大切にします。サービス残業をやめるだけで、全国で九十万人、福岡県でも三万人以上の雇用が増えます。

リストラ・解雇・大型店の進出規制

くらし・権利・環境を守るルールを
失業者は過去最悪、福岡県の求人倍率も過去最低の水準、大企業の野放しで酒屋・薬局などから悲鳴があがっています。大企業の解雇・リストラや、自由勝手な参入を規制するなど、欧米ではあたり前の、国民をまもるルールをつくり、くらし、権利、雇用を大切にします。サービス残業をやめるだけで、全国で九十万人、福岡県でも三万人以上の雇用が増えます。

社会保障、くらしを予算の主役に

日本の予算は、ムダな空港や人工島など公共事業が主役で、国と地方の借金は増えつづけ、ついに64.5兆円に。その一方で、介護の予算は二千五百億円もカット、年金・医療も負担増です。公共事業に毎年五十兆円、社会保障は半分以上の二十兆円という、欧米とくらべ逆立ちした税金の使い方を改め、むだと浪費をなくせば、増税なしに介護や医療、年金など福祉も充実でき、景気回復や財政再建にも道が開かれます。



衆議院議員候補者・日本共産党公認

さかもと

坂元まさ子

(58歳)

消費税増税を許さず財政再建
すすめ、引き下げへ道ひらく

比例代表は
日本共産党へ

プロフィール

【坂元まさ子】●1941年7月・高知市生まれ●63年、八幡製鉄病院高等看護学院卒業●63年、北九州市立病院看護科に就職、北九州市職員労働組合・病院評議会副議長、同八幡病院分會長など歴任●83年、同病院退職●趣味・登山・パズル・手芸●家族・夫・二男・母

平成12年6月25日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙
(福岡県第8区)

選挙公報

投票日 6月25日

福岡県選挙管理委員会

あなたと
次世代のために

政治改革の一票を！



衆議院議員候補者
自由連合公認
やまもと

山元みえこ

(53歳)

既成政党の病んだ政治に
大きなメスを入れよう！

21世紀、超高齢社会になる日本。将来の生活を支える日本の福祉、医療、年金の対策は非常に遅れています。保身と権力争いに明けくれているこのままの政治が続く限り、沈みゆく日本を救うことができません。政党・自由連合は生命の平等を基本にした、誰もが安心して暮らせる福祉社会を実現してまいります。

山元みえこ 重点政策

景気回復

徹底的な行財政改革と、生活基盤重視の政策で、個人消費を活性化し、産業振興、雇用拡大をはかり、景気を回復します。

福祉充実

豊かな人生設計ができる年金、介護福祉、医療の社会保障制度を確立し、世界に誇れる福祉先進国を創造します。

教育改革

学力偏重の管理教育を、知・徳・体の全人教育に改め、家庭、学校、地域の役割分担で、視野の広い、思いやりのある人材を育成します。

山元みえこ プロフィール

光塩学園女子短期大学卒業。
クッキングスクール校長。
医療法人徳洲会栄養管理室長。
自由連合福岡県第八区総支部長。

比例区は

政党

自由連合

投票日は6月25日です

投票用紙は

小選挙区選出議員選挙・・・桃色の紙に

黒刷り

比例代表選出議員選挙・・・クリーム色の紙に

赤刷り

です

あしたへの ねがいをこめて この一票

平成12年6月25日執行

衆議院小選挙区選出
議員選挙
(福岡県第9区)

選挙公報

投票日 6月25日

福岡県選挙管理委員会

政治の安定、暮らしの安心

●ふるさと北九州の再活性化

バイオ・IT関連の新産業育成により雇用を拡大し、景気回復を図ります。

●安心して歳を重ねられる社会へ

高齢者とその家族が安心できる介護保険、年金制度を整備します。

●子育て世代を財政面でバックアップ

子どもと向き合い、地域と交流する時間のゆとりをつくります。

●公正な社会システム

年齢・性別にかかわらず、すべての人が能力を発揮するチャンスのある社会をつくります。

三原朝彦のプロフィール

昭和22年5月 福岡県遠賀郡に生まれる
昭和41年3月 福岡県立東筑高等学校卒業
昭和47年3月 一橋大学法学部卒業
(在学中柔道部主将)
昭和47年～ 米田ダグハマー・アソシエーツ大学留学
昭和48年 (その間欧州・アフリカ研修)
昭和53年 総務府総務長官(国務大臣)秘書官
昭和61年7月 衆議院選挙初当選 衆議院議員
平成2年2月 衆議院議員 二期目当選
平成4年12月 防衛政務次官就任
平成5年7月 衆議院議員 三期目当選
平成7年1月 衆議院外務委員長
平成9年1月 自由民主党福岡県第9区支部長

三原朝彦の政治的経歴

あと半年で二十一世紀、日本はこれからどんな国になるのでしょうか。国民の皆さんの努力による繁栄をこれからも続けていくためには、多くの課題があります。産業構造の転換による経済の再活性化、少子高齢化の下での福祉国家建設、財政健全化、教育改革と公正な社会づくり、すべて重要かつ難問です。

三年八ヶ月のブランクの間、私は今一度ひとりの市民として物事を観る眼を磨いてきました。勝利の暁には、この経験が必ず国家のため、国民の皆さんのために役立てたいと思います。足はしっかりとふるさとを踏みしめ、眼は世界を望む政治を行います。再起を期す私にこそ支援下さい。



衆議院議員候補者
自由民主党公認・農政連推薦

三原朝彦

(53歳)

老後と雇用の安心を取り戻す

プロフィール

昭和二十八年生まれ、四十七歳 東大法学部卒
昭和五十二年(民主)民主党本部に入り、政策委員会所属。商工・行政改革等を担当。
昭和六十二年、初当選。
平成二年の総選挙で涙ののりだが、平成五年に返り咲く。
細川政権時代から、党の税制問題を担当。羽田内閣で大蔵政務次官に就任。
衆議院選連戦・大蔵委員会委員長、環境委員長、党大蔵部員、党選挙対策委員長

私の公約

- 日本が再び世界のトップとなる政治・経済をめざします。
- 景気回復をはかるため、老後・雇用の不安を解消する政策を優先します。
- 年金・介護・医療など将来の安心が確保される「総合福祉ビジョン」を策定・実行します。
- 中央集権の脱却・地方分権を推進し、地方分権社会を実現します。
- ゼロ歳児24時間保育の整備や学童保育の増設と助成を強化し女性の社会進出、子育て支援を強化します。
- 北九州の開発を期して、アジアにおける物流の拠点化、環境リサイクルトップランナー、学術研究都市づくりに資源をこえて全力投入します。

☆約束します「安心回復」

強力な雇用対策、年金再修正など介護・老人医療を含めた総合福祉ビジョンの早期確立で、未来の安心を取り戻すことによって景気回復を実現させます。

一方で、大きな経済効果が期待されるIT革命を加速するため、インターネット料金を水道料金などに引き下げるなど、ばらまき事業に代わる確かな経済対策を推進します。

☆実現します「子育て支援」と「教育改革」

小児化問題は、日本民族の崩壊につながるかねない国民的課題です。安心して子供を産み育てられるよう、ゼロ歳児保育・24時間保育の確立と学童保育施設の整備、これら負担の軽減、育児・介護休業取得が保障される会社の建設など、仕事と家庭の両立を支援し、男女共同参画社会を実現します。

また、教育改革のため、25人学級の実現、地域・学校・父兄の一層の連携、学歴社会の弊害除去、少年法を改正します。

☆断行します「財政健全化改革」

税金の無駄遣いをやめさせ、財政健全化改革「財政健全化プラン」の策定・実施によって財政の健全化を実現します。

その柱は、分権連邦国家であり、中央集権・政治家による膨大な無駄の一端です。地方の権限を高めることによって、自己決定と自己責任が明確な社会を実現し、行政サービスの向上・効率化をめざします。



衆議院議員候補者・民主党公認

きたはし健治

けんじ

日本をタイタニックにさせない、未来に責任を負う政治をめざしたい。

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのま印刷したものです。)

平成12年6月25日執行

衆議院小選挙区選出
議員選挙
(福岡県第9区)

選挙公報

投票日 6月25日

福岡県選挙管理委員会

あなたと
次世代のために

政治改革の一票を！



衆議院議員候補者
自由連合公認

わたなべ

渡辺のぶゆき

(36歳)

既成政党の病んだ政治に
大きなメスを入れよう！

21世紀、超高齢社会になる日本。将来の生活を支える日本の福祉、医療、年金の対策は非常に遅れています。保身と権力争いに明けくれるこのままの政治が続く限り、沈みゆく日本を救うことができません。政党・自由連合は生命の平等を基本にした、誰もが安心して暮らせる福祉社会を実現してまいります。

渡辺のぶゆき 重点政策

景気回復

徹底的な行財政改革と、生活基盤重視の政策で、個人消費を活性化し、産業振興、雇用拡大をはかり、景気を回復します。

福祉充実

豊かな人生設計ができる年金、介護福祉、医療の社会保障制度を確立し、世界に誇れる福祉先進国を創造します。

教育改革

学力偏重の管理教育を、知・徳・体の全人教育に改め、家庭、学校、地域の役割分担で、視野の広い、思いやりのある人材を育成します。

渡辺のぶゆき プロフィール

一九六四年生まれ。
名古屋大学医学部卒業。
中部徳洲会病院勤務。
沖永良部徳洲会病院勤務。
豊内病院勤務。
中部徳洲会病院伊良部診療所院長。
自由連合福岡県第九区総支部長。

比例区は

自由連合 政党

「自・公」にかわる新しい政治は

日本共産党が伸びてこそ



衆議院議員候補者・日本共産党公認

おざわ かずあき

小沢和秋

(68歳)

1 税金の使い道をくらし、福祉中心に きりかえます

「自公保」の政治が将来の展望を示せないなか、ほんとうに国民と心の通う新しい政治をつくるために、いま全力をあげています。

日本の公共事業費は、イギリス、イタリア、ドイツ、フランス、アメリカ、カナダの六カ国の合計よりも多いことをご存じですか。他の国は、公共事業の三〜四倍の社会保障費を使っていますが、日本は逆に、社会保障費の二・五倍を公共事業につぎ込んでいくからで。

この異常をせめて欧米なりに正せば国民のくらし、福祉・社会保障はうんと充実できます。
・介護保険は当面、低所得者の在宅介護利用料は三割に、高齢者にたいする十月からの保険料徴収はさらに延期するよう求めます。
・年金、医療を改善します。
・消費税率の引き上げに断固反対し、引き下げに力をつくします。

2 生活と営業を守るルールをつくりま

欧米ではあたりまえの解雇規制法、サービス残業禁止、労働時間短縮など必要なルールをしっかりとつくり、雇用を守ります。大企業の身勝手なリストラを許しません。

・中小企業予算を抜本的にふやし、実態にあった融資や技術援助、販路の拡大など支援体制をつくりま。

3 憲法を守り、平和な日本をめざします

憲法の平和・民主・人権の原則をたいせつに守り、「新しい日本」への改革を進めます。
安保条約をなくして、核も基地もない平和な日本をめざします。

・安保条約の廃棄前にも、超低空飛行訓練など、米軍の横暴をなくすために全力をあげます。

4 三十人学級の実現を

三十人学級の実現、受験第一の教育の是正など、ゆきとどいた教育、いじめ・非行の根絶につとめます。

消費税増税を許さず財政再建
すすめ、引き下げへ道ひらく

比例代表は
日本共産党へ

小沢和秋の略歴

▼1931年生まれ。東京大学法学部卒業▼八幡製鉄(当時)入社後、労組の青年部長、本部執行委員5期▼福岡県議3期、衆議院議員3期

平成12年6月25日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙

(福岡県第10区)

選挙公報

投票日 6月25日

福岡県選挙管理委員会

スキツと辛口

自民党の利権・官僚政治の甘口文句が
日本をだめにしました。
日本の再生、北九州の発展のために
しまづ尚純は辛口で官僚支配を打ち崩し、
本当の地方分権、生活者主導を実現します！



衆議院議員候補
民主党公認
しまづ尚純

な お ず み

(55歳)

- 1 新しい産業を育成する。いかに豊かな景気・雇用対策です。
リストラ、不景気の長期化で働く場をどのように作っていくかが北九州の街にとって一番の問題です。これまでの公共投資を続けても景気回復、雇用拡大にはつながりません。北九州のモノ作りの技術者を活かしながら、本当に生活に役立つ産業、21世紀に世界で競争できる新しい産業の育成が早急の課題です。
- 2 高齢化・子育て支援等の生活産業育成が住みやすい街作りの第二歩。
介護保険もスタートしました。子育てや教育の悩みも他人事ではありません。私たちの生活に本当に役立つ高年齢化時代の介護・福祉産業や子育て支援サービス産業などへ投資していくことが北九州を本当に住みやすい街にしていけることとなります。
- 3 北九州の技術が活かせる新エネルギー・環境産業を重点育成します。
通信やコンピューターなどのIT産業に加えて、エコタウンにふさわしい燃料電池、天然ガス、マイクログ発電等の新エネルギー・環境産業の開発を進めます。エネルギー・環境産業はすそのが広く、雇用拡大効果が大きく、北九州の技術蓄積が本当に活かされてきます。衆議院商工委員会エネルギー、中小企業問題を専門とした私の経験を活かして世界に誇れる北九州の産業発展に努めます。
- 4 地方分権こそ官僚政治から生活者主導に変える鍵です。
北九州で雇用の問題、教育や高齢化の問題に取り組もうとしても中央官僚に権限がある限り本当の改革を進めることはできません。財政再建を進行するために中央政府は小さくし、政策の決定権、財源の委譲を含めて本当の地方分権を実現します。
- 5 私たちの次の世代のためにあえて、辛口の政策を。
官僚機構や無駄な公共投資に大胆にメスを入れることが必要です。また環境税や、課税最低限の見直しなども推進すべきです。改革の道筋をつけるためには辛口の政策断行が必要だと信じます。もちろん機会の平等を原則とした教育措置は忘れません！

原点に愛を持ち、強い意志で
日本の社会構造改革に取り組みます。

北九州が本当に元気になるために働きます！



一般の政治家とちがう

あなたの想いを託してください



衆議院議員候補
社会民主党公認
もりもと

森本由美

34歳

比例区は「社民党」に投票してください

森本由美のあゆみ

大分県宇佐市生まれ 小倉南区在住

学歴	1984年 大分県立大分雄城台高等学校卒業
1988年 日本大学文理学部哲学科卒業	
1996年 ニューヨーク市立大学大学院 政治学部卒業（政治学修士）	
職歴等	1988年 YMCAアジア青少年センター職員
1995年 国際連合ニューヨーク事務局インターン	
1996年 シェア＝国際保健協力市民の会 東京事務局職員	
1997年 財団法人アジア女性交流・研究フォーラム 調査研究専門員（1999年12月退職）	



わたしの好きなこと
演劇、ボランティア、占い
カラオケ、読書

●ホームページアドレス
<http://www.5a.biglobe.ne.jp/~sdpkita/>

○わたしの決意
●女性、お年寄り、若い人、子ども、在日外国人、障害をもった人など、全ての人が差別や排除されることがなく暮らし、違いが個性として尊重される社会をめざします。
●弱肉強食の競争社会に歯止めをかけ、福祉・環境・教育分野に予算をかけ、私たちが安心してくらせる社会をめざします。
●国会での決定過程が外に開かれよう。情報公開法を、今の制度よりも見直し、市民が政治に参画しやすくなります。
●女性の政治進出に女性の声を政策に反映させ、男性と女性が対等な権利を享受する社会を実現します。

○森本由美は約束します
●男女共同参画社会の実現をめざします。
●開かれた議会と多様性を認め合う社会へ。
●平和憲法を守り、人にやさしい福祉社会の創造。
●働く人の権利を守り、新たな雇用の確立。

You 平和・共生の21世紀へ

元気な女性たちが政治をかえます

平成12年6月25日執行

衆議院小選挙区選出
議員選挙
(福岡県第10区)

選挙公報

投票日 6月25日

福岡県選挙管理委員会

あなたと
次世代のために

政治改革の一票を！



衆議院議員候補者
自由連合公認

おちあい
落合恵子
けいこ

(38歳)

既成政党の病んだ政治に
大きなメスを入れよう！

21世紀、超高齢社会になる日本。将来の生活を支える日本の福祉、医療、年金の対策は非常に遅れています。保身と権力争いに明けくれているままの政治が続く限り、沈みゆく日本を救うことができません。政党・自由連合は生命の平等を基本にした、誰もが安心できる福祉社会を実現してまいります。

落合恵子 重点政策

景気回復

徹底的な行財政改革と、生活基盤重視の政策で、個人消費を活性化し、産業振興、雇用拡大をはかり、景気を回復します。

福祉充実

豊かな人生設計ができる年金、介護福祉、医療の社会保障制度を確立し、世界に誇れる福祉先進国を創造します。

教育改革

学力偏重の管理教育を、知・徳・体の全人教育に改め、家庭・学校・地域の役割分担で、視野の広い、思いやりのある人材を育成します。

落合恵子 プロフィール

一九六二年、宮崎県生まれ。
宮崎南高等学校卒業。
野村証券ニューヨーク支店、
日本長期信用銀行ニューヨーク支店などに勤務。
自由連合福岡県十区総支部長。

比例区は

政党

自由連合

「自・公」に変わる新しい政治は

「日本改革」
の提案

日本共産党が伸びてこそ



衆議院議員候補者
日本共産党公認

に
仁比さとし
い

(36歳)

過去最悪の失業率、倒産、空前の財政危機、くらしも経済もたいへんです。さらに、政治腐敗、警察の不祥事、少年犯罪など、政治も社会も大きくゆがんでいます。ゆきつづいた自民党政権を切り替え、二十世紀に向け新しい政治をしましょう。

国民を大切にするルールをもった国に

サービス残業、リストラの野放しでは、日本経済・社会の将来は真っ暗です。財界の中からも、大企業が無制限な利益追求では、企業経営もなりたないとの声があがっています。

日本共産党は、リストラ、解雇規制法の制定とサービス残業の掃による雇用を増やす提案をしています。欧米では当たり前になっている、ルールづくりに全力をあげます。

第2回閣内閣計画など、ゼネコン本位の公共事業ではなく、くらし・福祉優先の予算にきりかえます

自公政権を受け継ぐ森政権は、介護の予算を二千五百億円削り、年金、医療など国民負担を大幅に増やしました。他方では、ムダな港湾・空港など公共事業に、毎年五十兆円も使い、大銀行に七十兆円もつぎ込んでいます。日本共産党は、第二回閣内閣計画など、ゼネコン本位の公共事業ではなく、介護、医療、年金など、くらし・福祉優先の予算にきりかえます。

憲法をまもって、政治・社会のゆがみをたします

森首相の「神の国」発言は、主権在民を否定するものです。いま、憲法の改悪をめざす動きがつよまっています。「憲法は国の宝」。私たちは、この憲法の平和・民主・人権の原則をしっかり守って「新しい日本」への改革をすすめます。

安心して受けられる介護保険に改善します

三十人学級の実現で、どの子も伸びる教育をすすめます

規制緩和を見おし、地元中小企業を守るルールをつくります

サービス残業をなくし、労働時間短縮などで雇用を増やします

消費税増税を許さず財政再建
をすすめ、引き下げ道をひらく

比例代表は
日本共産党へ

プロフィール

○小倉高等学校 京都大学法学部卒
○1994年弁護士登録
○北九州第一法律事務所所属
○市民オンブズマン北九州前事務局長
○家族：妻、一女

平成12年6月25日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙
(福岡県第10区)

選挙公報

投票日 6月25日

福岡県選挙管理委員会



やります!! 景気回復



衆議院議員候補者
自由民主党公認
農政連推薦

じみ庄三郎
(54歳)

二十一世紀のあるべきわが国の姿を「品格ある国家」「活力ある経済」「安心できる社会」とし、それに向かって果敢に行動します。それには世界の安全、平和、繁栄に貢献し、あすの利害でなく、中、長期的な視野に立って進取の精神を忘れない国づくりをします。当面、次の四つを実行します。

実現します

景気回復・経済新生

あらゆる政策を総動員し、金融システムの安定、景気の浮揚を図ってきました。衆議院予算委員会理事として成立させた景気刺激型の平成十二年度予算など、公需から民間投資、個人消費の拡大につなぎ、景気を本格的回復軌道に乗せます。景気の回復をみて財政再建に乗り出します。新しい世紀は情報通信などを中心とする新しい産業を育て、経済を構造改革、雇用を創出、拡大します。

充実します

医療・福祉・年金・介護

数少ない医師出身の国会議員としてがんばってきましたが、今後も社会保障の専門知識と医療現場の経験をいかした温かみがあり、みんなが安心できる政策づくりを目指します。今後、少子高齢化が進み、私の役割が大きくなると確信しています。

改革します

学校教育

相次ぐ少年の凶悪事件の原因の一つは教育の混乱にあります。知識詰め込みの教育を是正し、わが国の伝統・文化を正しく理解し、知識、徳育、体育のバランスがとれ、豊かな人間性と高い道徳観を育む心の教育を重視します。社会の変化に適應した中高一貫教育、コンピュータを活用した情報活用能力の向上、さらに大学改革を断行、世界に通用する人材を育成します。

推進します

北九州市の活性化

北九州市でただ一人の政権与党の衆議院議員としてルネサンス構想の大きな柱である新北九州空港、東九州自動車道の建設を進めてきました。今後それらを促進、さらに第二関門橋の建設、門司労災病院の存続などにも力を入れます。高度情報通信都市づくりに意欲を燃やし、情報通信のメッカ(あこがれの地)にします。

略歴

小倉北区生まれ、三歳で父と死別、九大医学部大学院修了、医学博士、米国ハーバード大学研究員、九大、産業医大、東筑紫郡大等講師、国土政務次官二期、通産政務次官、郵政大臣、自民党医療衛生問題調査会副会長、衆議院予算委員会理事(二期)、五期連続当選。

投票日は6月25日です

投票用紙は 小選挙区選出議員選挙・・桃色の紙に 黒刷り
比例代表選出議員選挙・・クリーム色の紙に 赤刷り です

あしたへのねがいをこめて この一票

衆議院小選挙区選出議員選挙

(福岡県第11区)

選挙公報

投票日 6月25日

福岡県選挙管理委員会

がんこに平和、げんきに福祉、ゆたかに教育



元国務大臣・総務庁長官
社民党・衆議院議員候補

中西せき子

みなさんとともに

暮らしを、地域を、もっと元気に！

みなさまの暖かいご支援のおかげで、これまで総務庁長官をはじめ国政の場で、清潔ひとすじに活動できました。

森首相の「神の国」など憲法を無視した一連の発言に見られるように、危険な方向に走っている現政権にストップをかけて、生活者の声を国政に反映させ、京築・田川の振興発展に全力をつくす決意です。

ご支援の程心からお願いいたします。

21世紀への新たな決意

お約束します！

- 一、「戦争放棄」の平和憲法を守りぬき、憲法を旨に活かす政策実現につとめます。
- 二、安心できる介護保険、年金、医療の充実につとめ、あらゆる差別をなくし、男女平等社会づくり、障害者の完全参加をすすめます。
- 三、景気・雇用対策を強め、商店街、中小企業、農林漁業の自立振興対策につとめます。
- 四、ゴミ減量、リサイクル促進、自然エネルギー開発、普及など環境対策につとめます。
- 五、30人以下学級など豊かな個性と創造力を育む教育条件の整備、安心して子育てができる環境づくりにつとめます。
- 六、国道バイパスなど交通網の整備をすすめる、旧産地地域への支援対策、県立大学の拡充など、京築・田川の未来をひらく発展盛衰へんに全力をつくします。

みなさんのおかげで
実現しました！

- 一、元国務大臣として、介護保険制度を利用者本位に、高齢者、女性参画の進め、新ゴールドプランの達成を支援、福祉の充実につとめた。
- 二、商店街の振興、活性化に有効な補助金や融資制度の充実化など改善につとめた。
- 三、農林水産省員として、食糧自給率50%目標・生産調整補助の改善、団体の要求を上回る目標整備につとめた。
- 四、地方分権推進とともに、差別をなくし、人権を守る人権擁護政策推進法制定、「人権教育」国内行動計画の策定につとめた。
- 五、義務教育国庫負担制度を守り、教育増進、学校施設整備増進、私学助成の充実、いじめ、不登校問題対策や子育て支援につとめた。
- 六、国道の早期整備促進や産地地域振興対策など、京築・田川の課題を真剣にとりくんだ。

私も推薦します
元衆議院議員
土井 隆
元内閣総理大臣
村山 富市
田川市長
滝井 義高
連合福岡会長
盛貞 人土

●高校教諭●衆議院議員8期
●文教委員会理事●石炭対策特別委員会理事●農林水産委員長●建設委員会理事●国務大臣総務庁長官●社民党副党首

2番目の投票 比例区は 社民党を

「自・公」にかわる新しい政治は



日本共産党が伸びてこそ

みなさんと力をあわせて
わたしのお約束

- 介護保険に低所得者の利用料の減免制度を
- 身障手帳を法律で規制、サービス残業をなくし、労働時間短縮などで雇用を増やす
- 保育制度の改善、母性保護の強化
- 受胎中心の競争教育を改め、暴力や過激文化から子どもを守り、人間尊重の社会を
- ゴミ処分場建設規制やリサイクル促進、ダイオキシン対策など環境をまもるルールを
- 食糧自給率を引き上げ、農業を国の基幹産業に
- 新たな産地地域振興対策、「激変緩和措置」をすすめての自治体に

平和なアジアと日本をめざす
紛争の平和解決優先、自主独立の外交への転換をすすめる、福岡空港の軍事利用をやめさせます。

憲法のいきる
失業率は過去最悪、福岡県の求人倍率も過去最低の水準、大型店の野放しで酒屋・薬局などから悲鳴があがっています。大企業の解雇・リストラや、自由勝手な参入を規制するなど、欧米ではあたり前の、国民をまもるルールをつくり、くらし、権利、雇用を大切にします。サービス残業をやめるだけで、全国で九十万人、福岡県でも三万人以上の雇用が増えます。

くらし・権利・環境を守るルールを

リストラ・解雇・大型店の進出規制

社会保障、くらしを予算の主役に

日本の予算は、むだな空港や人工島など公共事業が主役で、国と地方の借金は増えつづけ、ついに64.5兆円に。その一方で、介護の予算は二千五百億円もカット、年金・医療も負担増です。公共事業に毎年五十兆円、社会保障は半分以下の二十兆円という、欧米とくらべ逆立ちした税金の使い方を改め、むだと消費をなくせば、増税なしに介護や医療、年金など福祉も充実でき、景気回復や財政再建にも道が開かれます。



衆議院議員候補者・日本共産党公認

やな たく

柳武ふく代

(62歳)

消費税増税を許さず財政再建
すすめ、引き下げ道ひらく

比例代表は
日本共産党へ

【柳武ふく代】●1938年田川市生まれ●福岡県立西田川高校卒●電電公社（現NTT）に入社。通信産業労組・筑豊分会長や新婦人田川支部委員、田川市職など歴任●現在、党田川地区副委員長

平成12年6月25日執行

衆議院小選挙区選出
議員選挙
(福岡県第11区)

選挙公報

投票日 6月25日

福岡県選挙管理委員会

あなたと
次世代のために

政治改革の一票を！



衆議院議員候補者
自由連合公認

伊藤こうき

(56歳)

既成政党の病んだ政治に
大きなメスを入れよう！

21世紀、超高齢社会になる日本。将来の生活を支える日本の福祉、医療、年金の対策は非常に遅れています。保身と権力争いに明けくれるこのままの政治が続く限り、沈みゆく日本を救うことができません。政党・自由連合は生命の平等を基本にした、誰もが安心できる福祉社会を実現してまいります。

伊藤こうき 重点政策

景気回復

徹底的な行財政改革と、生活基盤重視の政策で、個人消費を活性化し、産業振興、雇用拡大をはかり、景気を回復します。

福祉充実

豊かな人生設計ができる年金、介護福祉、医療の社会保障制度を確立し、世界に誇れる福祉先進国を創造します。

教育改革

学力偏重の管理教育を、知・徳・体の全人教育に改め、家庭、学校、地域の役割分担で、視野の広い、思いやりのある人材を育成します。

伊藤こうき プロフィール

神奈川県立大学法学部卒業。
北海タイムス論説委員長。
北海タイムス社専務取締役編集局長。
自由連合福岡県第十一区総支部長。

比例区は

政党

自由連合

投票日は6月25日です

投票用紙は

小選挙区選出議員選挙・・・桃色の紙に

黒刷り

比例代表選出議員選挙・・・クリーム色の紙に

赤刷り

です

あしたへの ねがいをこめて この一票

5 政見放送の実施計画及び放送に関する調

1 政見放送の実施放送局及び回数について

候補者届出政党が政見放送を行うことができる放送局及びその放送局で行うことができる政見放送の回数は次のとおりです。

区 分	放送局名	届 出 候 補 者 数			
		1 ～ 2	3 ～ 5	6 ～ 8	9 ～ 11
テレビ	NHK	1	2	4	6
	FBS	1	1	2	3
	RKB		1	2	3
ラジオ	NHK	1	1	2	3
	KBC	1	1	2	3
合 計		4	6	12	18

(注) NHK＝日本放送協会、FBS＝福岡放送、RKB＝アール・ケー・ビー毎日放送、KBC＝九州朝日放送

2 政見放送の実施時間について

政見放送を行う時間は、候補者届出政党1団体について1回につき9分以内です。

なお、日本放送協会において、テレビ及びラジオによる単独の経歴放送が候補者1人につき1回について30秒以内で、ラジオ放送によりおおむね10回、テレビジョン放送により1回行われます。

3 政見放送の申込みについて

(1) 政見放送の申込みは、候補者届出政党の代表者又はその選任する政見放送担当責任者若しくは当該政見放送担当責任者の代理人(4(2)で述べる録音、録画の日時、場所を選択できる人でなければなりません。)が、次の申込み受付場所に出向いて行わなければなりません。

① 選挙の期日の公示日に申込みをする場合

次に掲げる申込み受付時間内に行ってください。

放 送 局	申込み受付場所及び受付時間
NHK	福岡市博多区東公園7-7 8:30～11:00 福岡県庁3階講堂 11:00～17:00 県選挙管理委員会室
FBS	
RKB	
KBC	

② 選挙の期日の公示の前に申込みをする場合

供託したことを証する書面（供託証明書）を提示して、次に掲げる申込み受付時間内に行ってください。

放 送 局	申 込 み 受 付 場 所	申込み受付時間
NH K	福岡市中央区六本松 1－1－10 NH K福岡放送局 1 階ロビー	月～金 10時～16時 土 10時～12時 日・祝日は行いません
F B S	福岡市中央区渡辺通 1－1－1 福岡放送報道部	月～金 10時～16時 土・日・祝日は行いません
R K B	福岡市早良区百道浜 2－3－8 R K B 毎日放送報道部	
K B C	福岡市中央区長浜 1－1－1 九州朝日放送報道部	

(2) 政見放送の申込みをする際は、必ず、申込者の印鑑（政見放送担当責任者又は当該政見放送担当責任者の代理人が申込みをする際は、申込者の印鑑に加え当該政見放送担当責任者の印鑑）を持参してください。

(3) 政見放送の申込みを行わない候補者届出政党については、政見放送を行わないことになりますので注意してください。

(4) 候補者届出政党等の政見の録音又は録画に出席する者で次の①、②に該当する人は、政見の録音又は録画を行う場合において、あらかじめ提出された録音用原稿について実施放送局が録音した物（以下「録音物」という。）を使用することができます。

① 身体障害者福祉法（昭和 24 年法律第 283 号）第 4 条に規定する身体障害者で、同法第 15 条第 4 項の規定により交付を受けた身体障害者手帳に、音声機能若しくは言語機能の障害（以下「音声機能等の障害」という。）の程度が 3 級若しくは 4 級である者として記載されているもの又は音声機能等の障害の程度がこれらの障害の程度に該当することにつき身体障害者福祉法施行令（昭和 25 年政令第 78 号）第 3 項に規定する身体障害者手帳交付台帳を備える都道府県知事若しくは指定都市若しくは中核市の長が書面により証明したもの

② 戦傷病者特別援護法（昭和 38 年法律第 168 号）第 2 条第 1 項に規定する戦傷病者で、同法第 4 条の規定により交付を受けた戦傷病者手帳に、音声機能等の障害の程度が恩給法（大正 12 年法律第 48 号）別表第 1 号表ノ 2 の第 2 項症から第 4 項症までである者として記載されているもの又は音声機能等の障害の程度がこれらの障害の程度に該当することにつき戦傷病者特別援護法施行令（昭和 38 年政令第 358 号）第 5 条に規定する戦傷病者手帳交付台帳を備える都道府県知事が書面により証明したもの

(5) 録音物を使用しようとする場合には、政見放送の申込みと同時に、候補者届出政党の政見の録音又は録画に出席する者本人が録音物使用申請書、録音用原稿及び出席証明書（それらの用紙は県選挙管理委員会にあります。）を実施放送局に提出してください。

なお、政見放送の録音及び録画を行わない実施放送局については、提出する必要はありません。

- (6) 録音用原稿は、2,500字以内で作成し、固有名詞等については、ふりがなをつけてください（ふりがなは、字数に含まれません。また、句読点及び中点、（ ）、「 」などの記号も字数には含まれません。）。

4 政見の録音又は録画について

(1) 録音又は録画の回数

政見の持込みを行わない場合に、候補者届出政党が放送局において行う録音又は録画の回数は、次のとおりです。

放送局	届出候補者数	録音・録画の回数		備 考
		録 音	録 画	
NHK	1人～8人まで	0回	1回	録音は、録画したものを使用して行われます。
	9人～11人まで	0回	2回	
FBS	1人～8人まで		1回	
	9人～11人まで		2回	
RKB	1人～8人まで		0回	放送は、FBSが録画したものを使用して行われます。
	9人～11人まで		0回	
KBC	1人～8人まで	0回		放送は、FBSが録画したものを使用して行われます。
	9人～11人まで	0回		

(2) 録音又は録画の日時及び場所について

録音又は録画を行う日時及び場所は、原則として政見放送の申込みの際、その受付順に、放送局があらかじめ定めた日時及び場所のうちから候補者届出政党等の代表者又はその選任する政見放送担当責任者若しくは当該政見放送担当責任者の代理人の選択により決定されます。候補者届出政党等が、正当な理由がなく、決定された録音又は録画の日時及び場所に出向かなかったときは、政見放送は行わないことになりますので注意してください。

(3) 録音、録画の方法

- ① 録音又は録画を行う時間は、打合せ、化粧及びリハーサル時間を含めて分以内です。
- ② 録音又は録画は、単独方式、対談方式又は複数方式のいずれか1の方式によって行われます。いずれの方式によるかは、候補者届出政党等において決定し、政見放送の申込みの際に録画（録音）方式届により届け出てください。
- ③ 録音又は録画を行う場合において、他人の名誉を傷つけたり、善良な風俗を害したり、又、特定の商品の広告その他営業に関する宣伝をする等いやしくも政見放送としての品位を損なう言動はしないようにしてください。

- ④ 録画を行う場合においては、次の点に注意して下さい。

ア 服 装

通常着用する服装とし、特別の意味のある文字その他の意匠の入ったものは着用できません。また、服装の色については、政見放送はカラーで行われるので、紺、茶、グレー系統のものが適当です。

イ 服飾品

たすき、はちまき、腕章は着用できません。また、造花、アクセサリ一等の服飾品で社会通念上相当と認められるもの以外は着用できません。

ウ 持込品

放送用原稿以外は認められません。放送用原稿の字数は、通常ニュースのアナウンスの場合は、9分で2,500字程度ですので参考にしてください。

エ 化 粧

放送局において原則としてテレビ用の化粧をします。放送局以外の者がする候補者（立候補予定者）の化粧については、大仰なメーキャップ、ふん装的なもの以外は差し支えありません。

- ⑤ 3(5)の録音物の使用方法等については、政見放送の録音又は録画を行う実施放送局にお尋ねください。

なお、録音物の使用は1回に限られ、2回以上に分けて使用すること等はできません。

- ⑥ 録音又は録画の本番に入ったときは、放送設備の事故その他特別の事情がある場合を除き、とりなおしは行われません。

- ⑦ 録音又は録画を行う場合において、政見放送の時間9分を超過したときは、その録音又は録画は遮断されますので注意してください。

- ⑧ 録音又は録画を終了した後においては、その内容を変更することはできません。

5 持込みに関する事項

- (1) 実施放送局における政見の録音又は録画を希望するか、持込みを希望するか、また、テレビ用の政見の録画を持ち込む場合には、ラジオ放送による政見放送について、ラジオ用の政見を持ち込むのか、テレビ用の政見の録画の音声そのまま使用するか、あるいは局録音をおこなうのかについては、候補者届出政党が選択し、政見放送申込書に明記してください。
- (2) 実施放送局に持ち込むことができる政見の種類は実施放送局における放送回数が1回であるときは1種類（正副2本）、放送回数が2回以上であるときは2種類（正副各2本計4本）です。実施放送局における放送回数が2回以上であって、2種類の政見を持ち込む場合には、その区別を明示して持ち込んでください。また、政見放送の日時を定めるくじの終了後、それぞれの放送時間にいずれの種類の政見を放送するのかを候補者届出政党が決定し、公示日の翌日までに放送日時の指定の通知書により実施放送局に通知してください。

- (3) 政見の持込みは申込み期日（公示の日）までに行なわれなければなりません。したがって、政見放送の申込みを行い、かつ政見の持込みを行わない候補者届出政党については、放送局における録音又は録画を行うこととなります。

また、政見の持込みはできるかぎり政見放送の申込みの時と同時（事前の申込みの場合は、その時と同時）に行ってください。

- (4) 候補者届出政党から政見が持込まれた際に、実施放送局は、当該政見が実施放送局の定める技術的基準を満たすものであるかどうかについて、技術的な審査を行います。当該政見が審査の結果実施放送局の技術的基準を満たすものとして認められない場合は、その旨当該候補者届出政党に通知するとともに、当該技術的基準を示して再提出をお願いすることとなります。申込期日までに技術的基準を満たす政見が提出されない場合には、その候補者届出政党については、実施放送局において録音又は録画を行います。

なお、実施放送局において定める技術的基準については、別紙のとおりです。

- (5) 候補者届出政党が持ち込む政見は、著作権法に定める権利その他の権利の処理が候補者届出政党において行われたものでなければなりません。

候補者届出政党においては、所定の権利処理を済ませた上での政見の持込みをお願いします。

- (6) 実施放送局は、公職選挙法第150条第1項により、持ち込まれた政見をそのまま放送しなければならず、放送のために必要な最小限の技術的作業の結果の画質・音質の変化については別格、それ以外の内容的な編集・変更は行いません。

なお、放送のために必要な最小限の技術的作業の結果の画質・音質の変化がありうることについて、候補者届出政党の同意をお願いします。また、その旨を政見提出の記載により確認させていただきます。

- (7) 持込み政見の放送の際には、実施放送局は、その直前又は直後に、当該政見が候補者届出政党から持ち込まれたものであって、実施放送局は、それをそのまま放送するものである旨の放送を行います。

6 各候補者届出政党の放送の日時

- (1) 各候補者届出政党の放送の日時は、選挙の期日の公示のあった日の午後6時からの小選挙区選挙の選挙公報掲載順序のくじに引き続き、福岡県選挙管理委員会が選挙管理委員会室でくじにより定めます。このくじには、候補者届出政党が立ち会うことができます。

- (2) 各候補者届出政党の放送の日時が決定した後、次の事由が生じた場合は、それにより影響を受ける全ての候補者届出政党の放送の日時が順次繰り上がることになりますので注意してください。

ア 候補者届出政党が候補者の届出を取り下げ、候補者届出政党の候補者の届出が却下され又は届出候補者が死亡し若しくは候補者届出政党の候補者の届出が取り下げられたものとみなされ、福岡県における当該候補者届出政党の届出候補者がすべてなくなった場合において、その旨の告示があつ

たとき。

イ 候補者届出政党が正当な理由がなく定められた録音又は録画の日時、場所に出向かなかったため、当該候補者届出政党の政見放送を行わないとき。

7 その他

- (1) 政見放送は、定められたところに従って行ってください。もし、その定め
に違反したときは、政見放送は行わないことがありますので注意してください。
- (2) 以上のほか、さらに細かい点については、県選挙管理委員会又は放送局に
お尋ねください。

政見放送日時

政党名	届出候補者数	総放送回数	くじ順序の結果
社会民主党	3人	6回	3
自由民主党	11人	18回	1
政党自由連合	10人	18回	5
日本共産党	11人	18回	4
民 主 党	10人	18回	2

日	曜	テレビ				ラジオ	
		NHK		FBS	RKB	NHK	KBC
15	木	7:30					
		7:50					
		1, 2					
16	金	7:30					
		8:00					
		5, 4, 2					
17	土					8:05	
						8:25	
						2, 1	
18	日						
19	月	7:30		5:05		8:05	13:00
		8:00		5:45		8:25	13:50
		1, 5, 4		4, 2, 5, 1		4, 5	5, 4, 3, 1, 2
20	火	7:30	14:05	10:30	5:20	8:05	13:00
		8:00	14:35	11:20	6:00	8:35	13:40
		1, 5, 2	1, 2, 4	1, 4, 2, 3, 5	4, 2, 1, 5	1, 2, 5	2, 5, 1, 4
21	水	7:30	14:05	10:25	5:20	8:05	13:00
		8:00	14:35	11:05	6:00	8:35	13:40
		4, 3, 5	5, 2, 4	5, 1, 2, 4	2, 1, 5, 4	4, 3, 5	2, 1, 5, 4
22	木	7:30	14:05		5:10	8:05	
		8:00	14:35		6:00	8:35	
		1, 4, 2	1, 5, 3		2, 1, 3, 5, 4	1, 4, 2	

※ 各政党のくじ順序の結果の番号に対応する番号の政見放送局の放送日時に、その政党の政見放送が、その番号の順序で行われる。例えば、NHKテレビの15日 7:30～ 7:50は、自民、民主の順で放送する。

6 投票結果に関する調査

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

市区町村名	当日有権者数（e'） （当日有権者見込（e））			投票者数 （f）			棄権者数 （g）			投票率 = $\frac{(f)}{(e)} \times 100$ （h）			不在者投票者数			投票 票 了 結 了 時 刻	投票 票 率 順 位
	男		女	男		女	男		女	男		女	男		女		
		計			計				計			計			計		
（第7区）																	
大牟田市	50,836	63,035	113,871	32,357	41,268	73,625	18,479	21,767	40,246	63.65	65.47	64.66	71	22:21	3,657	4,875	8,532
柳川市	15,467	17,979	33,446	10,252	12,319	22,571	5,215	5,660	10,875	66.28	68.52	67.48	53	21:49	1,033	1,364	2,397
八女市	14,134	16,487	30,621	9,475	11,171	20,646	4,659	5,316	9,975	67.04	67.76	67.42	55	21:33	790	1,039	1,829
筑後市	16,946	19,398	36,344	11,180	13,107	24,287	5,766	6,291	12,057	65.97	67.57	66.83	58	22:07	1,200	1,505	2,705
黒木町	5,565	6,552	12,117	4,145	4,674	8,819	1,420	1,878	3,298	74.48	71.34	72.78	18	21:27	267	291	578
上郷町	1,650	1,917	3,567	1,255	1,438	2,693	395	479	874	76.06	75.01	75.50	7	21:12	91	95	186
立花町	4,814	5,487	10,301	3,452	3,929	7,381	1,362	1,558	2,920	71.71	71.61	71.65	24	20:56	155	156	311
広川町	7,239	8,025	15,264	4,866	5,539	10,405	2,373	2,486	4,859	67.22	69.02	68.17	50	21:11	387	438	825
矢部村	756	859	1,615	599	693	1,292	157	166	323	79.23	80.68	80.00	1	20:48	51	67	118
星野村	1,447	1,685	3,132	1,145	1,303	2,448	302	382	684	79.13	77.33	78.16	4	21:19	95	72	167
* 八女郡 計	21,471	24,525	45,996	15,462	17,576	33,038	6,009	6,949	12,958	72.01	71.67	71.83	21	21:27	1,066	1,119	2,185
瀬高町	9,176	10,732	19,908	6,512	7,834	14,346	2,664	2,898	5,562	70.97	73.00	72.06	21	21:37	423	523	946
大和町	6,631	7,493	14,124	4,613	5,431	10,044	2,018	2,062	4,080	69.57	72.48	71.11	28	21:25	294	366	660
三橋町	6,607	7,619	14,226	4,429	5,159	9,588	2,178	2,460	4,638	67.03	67.71	67.40	56	22:22	339	453	842
山川町	2,189	2,507	4,696	1,627	1,865	3,492	562	642	1,204	74.33	74.39	74.36	11	21:12	113	117	230
* 山門郡 計	24,603	28,351	52,954	17,181	20,289	37,470	7,422	8,062	15,484	69.83	71.56	70.76	22	22:22	1,219	1,459	2,678
高田町	5,797	6,782	12,579	4,313	5,092	9,405	1,484	1,690	3,174	74.40	75.08	74.77	10	21:09	280	312	592
* 三池郡 計	5,797	6,782	12,579	4,313	5,092	9,405	1,484	1,690	3,174	74.40	75.08	74.77			280	312	592
* * 7 区市部 計	97,383	116,899	214,282	63,264	77,865	141,129	34,119	39,034	73,153	64.96	66.61	65.86			6,680	8,783	15,463
* * 7 区郡部 計	51,871	59,658	111,529	36,956	42,957	79,913	14,915	16,701	31,616	71.25	72.01	71.65			2,565	2,890	5,455
* * 7 区 計	149,254	176,557	325,811	100,220	120,822	221,042	49,034	55,735	104,769	67.15	68.43	67.84			9,245	11,673	20,918

市区町村名	当日有権者数 (e')			(f)			(g)			(h)			投票率順位	投票 結了 時刻	不在者投票者数		
	(当日有権者見込 (e))			投票者数			棄権者数			投票率 = $\frac{(h)}{(e)} \times \frac{(f)}{(g)}$					男	女	計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計					
(第8区)																	
直方市	22,365	26,432	48,797	14,526	17,572	32,098	7,839	8,860	16,699	64.95	66.48	65.78	62	01:00	1,606	2,181	3,787
飯塚市	29,929	34,117	64,046	19,064	22,863	41,927	10,865	11,254	22,119	63.70	67.01	65.46	65	22:01	2,152	2,549	4,701
山田市	4,366	5,531	9,897	2,956	4,065	7,021	1,410	1,466	2,876	67.70	73.49	70.94	30	20:40	476	763	1,239
中間市	18,376	21,452	39,828	11,157	13,517	24,674	7,219	7,935	15,154	60.72	63.01	61.95	87	21:22	845	1,090	1,935
戸屋町	6,143	6,490	12,633	4,138	4,473	8,611	2,005	2,017	4,022	67.36	68.92	68.16	51	21:24	525	365	890
水巻町	11,543	13,253	24,796	6,985	8,474	15,459	4,558	4,779	9,337	60.51	63.94	62.34	85	21:24	616	670	1,286
岡垣町	11,279	13,070	24,349	7,550	8,759	16,309	3,729	4,311	8,040	66.94	67.02	66.98	57	22:14	694	772	1,466
遠賀町	7,216	8,285	15,501	4,721	5,608	10,329	2,495	2,677	5,172	65.42	67.69	66.63	59	21:58	404	449	853
* 遠賀郡	36,181	41,098	77,279	23,394	27,314	50,708	12,787	13,784	26,571	64.66	66.46	65.62		22:14	2,239	2,256	4,495
小竹町	3,807	4,503	8,310	2,585	3,247	5,832	1,222	1,256	2,478	67.90	72.11	70.18	35	21:37	338	455	793
鞍手町	7,337	8,415	15,752	4,706	5,579	10,285	2,631	2,836	5,467	64.14	66.30	65.29	67	21:39	435	669	1,104
宮田町	7,918	9,472	17,390	5,080	6,450	11,530	2,838	3,022	5,860	64.16	68.10	66.30	60	22:08	706	1,062	1,768
若宮町	3,866	4,523	8,389	2,711	3,164	5,875	1,155	1,359	2,514	70.12	69.95	70.03	37	21:20	293	372	665
* 鞍手郡	22,928	26,913	49,841	15,082	18,440	33,522	7,846	8,473	16,319	65.78	68.52	67.26		22:08	1,772	2,558	4,330
桂川町	5,440	6,482	11,922	3,735	4,661	8,396	1,705	1,821	3,526	68.66	71.91	70.42	33	21:06	340	459	799
稲築町	7,184	8,832	16,016	4,717	6,102	10,819	2,467	2,730	5,197	65.66	69.09	67.55	52	21:13	595	979	1,574
雄井町	2,462	2,892	5,354	1,676	2,059	3,735	786	833	1,619	68.07	71.20	69.76	39	21:07	186	278	464
嘉穂町	3,820	4,610	8,430	2,802	3,435	6,237	1,018	1,175	2,193	73.35	74.51	73.99	13	21:40	367	527	894
筑穂町	4,269	4,976	9,245	2,979	3,556	6,535	1,290	1,420	2,710	69.78	71.46	70.69	32	21:08	312	381	693
穂波町	9,796	11,633	21,429	6,882	7,851	14,733	2,914	3,782	6,696	70.25	67.49	68.75	45	22:51	736	949	1,685
庄内町	4,055	4,595	8,650	2,724	3,344	6,068	1,331	1,251	2,582	67.18	72.77	70.15	36	21:23	314	428	742
額田町	2,671	3,149	5,820	1,932	2,344	4,276	739	805	1,544	72.33	74.44	73.47	15	21:27	293	387	680
* 嘉穂郡	39,697	47,169	86,866	27,447	33,352	60,799	12,250	13,817	26,067	69.14	70.71	69.99		22:51	3,143	4,388	7,531
* 8区市部	75,036	87,532	162,568	47,703	58,017	105,720	27,333	29,515	56,848	63.57	66.28	65.03		01:00	5,079	6,583	11,662
* 8区郡部	98,806	115,180	213,986	65,923	79,106	145,029	32,883	36,074	68,957	66.72	68.68	67.77		22:51	7,154	9,202	16,356
* 8区	173,842	202,712	376,554	113,626	137,123	250,749	60,216	65,589	125,805	65.36	67.64	66.59		01:00	12,233	15,785	28,018

[illegible]

[illegible]

市区町村名	当日有権者数(e') (当日有権者見込(e))			投票者数 (f)			棄権者数 (g)			投票率 = $\frac{(h)}{(e)} \times \frac{(f)}{(g)}$			投票率順位	投票 結果 時刻	不在者投票者数			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計						
(第11区)																		
行川市	19,595	24,236	43,831	13,695	17,507	31,202	5,900	6,729	12,629	69.89	72.24	71.19	27	21:26		1,551	2,004	3,555
行橋市	25,689	29,500	55,189	16,638	19,534	36,172	9,051	9,966	19,017	64.77	66.22	65.54	64	21:37		1,441	1,730	3,171
豊前市	11,059	12,952	24,011	7,856	9,376	17,232	3,203	3,576	6,779	71.04	72.39	71.77	23	22:09		824	954	1,778
香春町	5,039	6,027	11,066	3,498	4,365	7,863	1,541	1,662	3,203	69.42	72.42	71.06	29	21:32		486	667	1,153
添田町	4,993	5,992	10,985	3,627	4,491	8,118	1,366	1,501	2,867	72.64	74.95	73.90	14	21:06		515	625	1,140
金田町	3,047	3,585	6,632	2,074	2,562	4,636	973	1,023	1,996	68.07	71.46	69.90	38	20:44		407	655	1,062
糸田町	3,953	4,667	8,620	2,789	3,373	6,162	1,164	1,294	2,458	70.55	72.27	71.48	26	20:56		400	465	865
川崎町	7,696	9,332	17,028	5,157	6,596	11,753	2,539	2,736	5,275	67.01	70.68	69.02	43	20:49		715	965	1,680
赤池町	3,652	4,382	8,034	2,811	3,477	6,288	841	905	1,746	76.97	79.35	78.27	3	21:32		487	735	1,222
万城町	2,868	3,353	6,221	2,070	2,480	4,550	798	873	1,671	72.18	73.96	73.14	16	21:12		328	461	789
大任町	2,270	2,693	4,963	1,517	1,877	3,394	753	816	1,569	66.83	69.70	68.39	47	21:28		204	284	488
赤村	1,384	1,635	3,019	1,045	1,228	2,273	339	407	746	75.51	75.11	75.29	8	20:42		79	129	208
** 田川郡 計	34,902	41,666	76,568	24,588	30,449	55,037	10,314	11,217	21,531	70.45	73.08	71.88		21:32		3,621	4,986	8,607
菊田町	13,041	13,596	26,637	8,102	9,072	17,174	4,939	4,524	9,463	62.13	66.73	64.47	74	21:28		712	709	1,421
犀川町	3,026	3,514	6,540	2,253	2,653	4,906	773	861	1,634	74.45	75.50	75.02	9	21:09		232	301	533
勝山町	2,698	3,118	5,816	1,902	2,257	4,159	796	861	1,657	70.50	72.39	71.51	25	20:35		148	197	345
豊津町	3,350	3,899	7,249	2,348	2,789	5,137	1,002	1,110	2,112	70.09	71.53	70.86	31	21:06		241	311	552
** 京都郡 計	22,115	24,127	46,242	14,605	16,771	31,376	7,510	7,356	14,866	66.04	69.51	67.85		21:28		1,333	1,518	2,851
椎田町	4,814	5,275	10,089	3,463	3,808	7,271	1,351	1,467	2,818	71.94	72.19	72.07	20	20:52		582	541	1,123
吉富町	2,683	3,151	5,834	1,883	2,315	4,198	800	836	1,636	70.18	73.47	71.96	22	21:39		205	300	505
築城町	3,727	4,407	8,134	2,597	3,061	5,658	1,130	1,346	2,476	69.68	69.46	69.56	40	22:30		243	331	574
新吉富村	1,539	1,786	3,325	1,125	1,344	2,469	414	442	856	73.10	75.25	74.26	12	20:34		77	105	182
大平村	1,583	1,923	3,506	1,246	1,542	2,788	337	381	718	78.71	80.19	79.52	2	21:12		81	115	196
** 築上郡 計	14,346	16,542	30,888	10,314	12,070	22,384	4,032	4,472	8,504	71.89	72.97	72.47		22:30		1,188	1,392	2,580
** * 11区市郡計	56,343	66,688	123,031	38,189	46,417	84,606	18,154	20,271	38,425	67.78	69.60	68.77		22:09		3,816	4,688	8,504
** * 11区郡部計	71,363	82,335	153,698	49,507	59,290	108,797	21,856	23,045	44,901	69.37	72.01	70.79		22:30		6,142	7,896	14,038
** * 11区 計	127,706	149,023	276,729	87,696	105,707	193,403	40,010	43,316	83,326	68.67	70.93	69.89		22:30		9,958	12,584	22,542
県 計	1,834,099	2,083,022	3,917,121	1,100,338	1,296,028	2,396,366	733,761	786,994	1,520,755	59.99	62.22	61.18		01:00		103,994	130,404	234,398

2

來議院福岡県第1区

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

衆議院福岡県第7区				定 数 1 人													小 計	
市 区 町 村 名		開票率	民主党(政党届出)	2	3	4												
			ほそや 治通	山田 真一郎	古賀 誠	やまもと 良夫												
大牟田市		100.00	29,807	10,244	30,026	858										70,935		
柳川市		100.00	6,382	1,268	13,919	254										21,823		
八女市		100.00	6,226	1,208	12,077	305										19,816		
筑後市		100.00	7,687	1,440	13,764	322										23,213		
黒木町		100.00	1,604	238	6,691	72										8,605		
上陽町		100.00	387	80	2,128	31										2,626		
立花町		100.00	1,780	294	5,034	63										7,171		
広川町		100.00	2,542	663	6,708	162										10,075		
矢部村		100.00	145	11	1,100	3										1,259		
星野村		100.00	496	52	1,819	15										2,382		
*八女郡 計		100.00	6,954	1,338	23,480	346										32,118		
瀬高町		100.00	3,562	543	9,687	127										13,919		
大和町		100.00	2,407	353	6,886	65										9,711		
三橋町		100.00	2,572	443	6,124	132										9,271		
山川町		100.00	920	114	2,321	17										3,372		
*山門郡 計		100.00	9,461	1,453	25,018	341										36,273		
高田町		100.00	2,871	468	5,740	94										9,173		
*三池郡 計		100.00	2,871	468	5,740	94										9,173		
*7区市部 計		100.00	50,102	14,160	69,786	1,739										135,787		
*7区郡部 計		100.00	19,286	3,259	54,238	781										77,564		
*7区 計		100.00	69,388	17,419	124,024	2,520										213,351		

衆議院福岡県第8区		定数 1 人											
市区町村名	開票率	1 日本共産党(政 党届出)	2 自由民主党(政 党届出)	3 政党自由連合(政 党届出)	4 民主党(政 党届出)	5 社会民主党(政 党届出)							小計
直方市	100.00	坂元 まさ子 3,781	あそう 太郎 14,924	山元 みえこ 531	いわた 順介 8,051	おおつか 和弘 3,378							30,665
飯塚市	100.00	3,603	21,650	709	11,106	3,294							40,362
山田市	100.00	541	3,737	126	1,574	737							6,715
中間市	100.00	3,134	10,971	412	6,602	2,644							23,763
芦屋町	100.00	826	4,564	202	2,163	562							8,317
水巻町	100.00	3,167	6,053	344	3,504	1,509							14,577
岡垣町	100.00	2,309	7,126	317	4,134	1,830							15,716
遠賀町	100.00	1,087	5,230	219	2,585	863							9,984
* 遠賀郡 計	100.00	7,389	22,973	1,082	12,386	4,764							48,594
小竹町	100.00	719	2,921	78	1,192	676							5,586
鞍手町	100.00	1,216	5,001	144	2,435	1,013							9,809
宮田町	100.00	1,014	6,100	168	2,519	1,082							10,883
若宮町	100.00	393	3,426	57	1,253	587							5,716
* 鞍手郡 計	100.00	3,342	17,448	447	7,399	3,358							31,994
桂川町	100.00	753	3,769	106	2,588	914							8,130
稲築町	100.00	774	5,287	141	2,954	1,224							10,380
碓井町	100.00	219	1,557	51	1,260	499							3,586
嘉穂町	100.00	272	3,663	48	1,538	532							6,053
筑穂町	100.00	436	3,305	85	1,901	601							6,328
穂波町	100.00	1,280	5,909	171	5,544	1,281							14,185
庄内町	100.00	449	3,103	81	1,615	642							5,890
瀬田町	100.00	293	1,882	39	762	1,153							4,129
* 嘉穂郡 計	100.00	4,476	28,475	722	18,162	6,846							58,681
* 8 区市部 計	100.00	11,059	51,282	1,778	27,333	10,053							101,505
* 8 区郡部 計	100.00	15,207	68,896	2,251	37,947	14,968							139,269
* 8 区 計	100.00	26,266	120,178	4,029	65,280	25,021							240,774

[illegible]

[illegible]

衆議院福岡県第11区		定数 1 人												
市区町村名	開票率	1	2	3	4	5								小計
		社会民主党(政 党届出)	日本共産党(政 党届出)	政党自由連合(政 党届出)	無所属(本人届出)	自由民主党(政 党届出)								
		中西 せき介	柳武 ふく代	伊藤 こうき	山本 幸三	たけだ 良太								
田川市	100.00	8,383	3,082	339	8,192	10,569								30,565
行橋市	100.00	6,574	1,968	328	18,030	8,651								35,551
豊前市	100.00	3,228	713	157	7,437	5,371								16,906
香春町	100.00	2,594	476	57	1,670	2,778								7,575
添田町	100.00	1,692	479	47	2,128	3,517								7,863
金田町	100.00	1,339	204	24	1,310	1,657								4,534
糸田町	100.00	1,615	395	64	1,416	2,494								5,984
川崎町	100.00	2,668	705	68	3,116	4,805								11,362
赤池町	100.00	1,199	279	45	1,247	3,341								6,111
方城町	100.00	998	230	36	1,240	1,908								4,412
大任町	100.00	834	139	22	869	1,443								3,307
赤村	100.00	526	81	6	633	988								2,234
* 田川郡 計	100.00	13,465	2,988	369	13,629	22,931								53,382
苅田町	100.00	3,101	1,101	224	7,286	4,789								16,501
犀川町	100.00	725	212	23	1,981	1,865								4,806
勝山町	100.00	774	192	28	1,487	1,581								4,062
豊津町	100.00	916	299	36	2,062	1,707								5,020
* 京都郡 計	100.00	5,516	1,804	311	12,816	9,942								30,389
椎田町	100.00	1,204	334	74	2,862	2,659								7,133
吉富町	100.00	711	333	45	1,322	1,701								4,112
築城町	100.00	1,154	178	40	2,104	2,071								5,547
新吉富村	100.00	497	106	20	785	1,015								2,423
大平村	100.00	420	102	15	1,263	928								2,728
* 築上郡 計	100.00	3,986	1,053	194	8,336	8,374								21,943
* 1 1 区市部	100.00	18,185	5,763	824	33,659	24,591								83,022
* 1 1 区郡部	100.00	22,997	5,845	874	34,781	41,247								105,714
* 1 1 区 計	100.00	41,152	11,608	1,698	68,440	65,838								188,736

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

8 無効投票に関する調

区分	①所定の用紙を用いたもの	②候補者でない者または候補者となることができない者の氏名を記載したものの	③候補者で、党の提出事件に該当しないなかた政治団体の提出に際し、他の候補者の氏名、職名、その他を記載したものの	④2人以上の候補者の氏名を記載したものの	⑤被選挙権のない候補者の氏名を記載したものの	⑥候補者のほか氏名のほか他事を記載したものの	⑦候補者の氏名を自署しないものの	⑧候補者の何人かを記載したか確認し難いものの	⑨白紙投票	⑩単に雑事を記載したものの	⑪単に記号・符号を記載したものの	⑫名刺・紙片等をちよう付したものの	⑬印鑑を押さなかったものの	⑭その他	計
市区町村名															
福岡市															
東区				8		167		3	2,098	802	328				3,406
博多区		142		4		21		24	2,309	749					3,548
第1区合計	0	142	0	12	0	188	0	27	4,407	1,551	627	0	0	0	6,954
福岡市															
中央区		134				6		12	2,044	649	334				3,179
南区		6				17		196	3,635	1,004	496				5,354
城南区		126				3		15	1,630	171	552				2,497
第2区合計	0	266	0	0	0	26	0	223	7,309	1,824	1,382	0	0	0	11,030
福岡市															
早良区		134		2		13		24	1,819	452	312				2,756
西区	1	107		12		19		40	1,434	440	134				2,187
前原市		53				4		15	452	208	86				818
二丈町		13						4	78	68					163
志摩町		22		2		5		5	115	71	22				242
第3区合計	1	329	0	16	0	41	0	88	3,898	1,239	554	0	0	0	6,166
宗像市															
古賀市		56		5		7		2	721	256	140				1,187
宇美町		31		1		4		5	585	271	92				984
篠栗町		11				6		5	495	305					822
志免町		153		3		2		1	359	41	49				608
須恵町		18		1				6	435	184	57				677
新宮町		38		2		2		6	256	155					435
久山町		12				3		57	222	129	41				434
粕屋町		43				1		4	90	19	3				184
福岡町		35		1		1			383	177	68				676
津屋崎町		14				3	20	1	404	171	78				690
玄海町						50			154	50	24				266
大島村								5	72	11	6				139
第4区合計	0	411	0	13	0	79	20	81	4,178	1,771	559	0	0	0	7,112
甘木市															
筑紫野市		59		11		2	60	15	577	130	87				941
春日市		81		2		10		10	1,079	309	168			1	1,660
大野城市		80		11		12		10	1,365	322	159				1,959
太宰府市		67		2		235		11	1,190	164	145				1,814
那珂川町		35		12		6		15	771	223	88				1,150
那珂川町		44		5		1		10	624	193	77				944
杷木町		10						6	113	50	9				192
朝倉町		10				3		6	143	44	11				217
三輪町		77						5	159	23	17				281
夜須町									195	98	31				324
小石原村		1						8	11	10	1				23
宝珠山村		12		1		1		2	17	2					41
第5区合計	0	476	0	44	0	268	60	92	6,244	1,568	793	0	0	1	9,546

区分	①所定の用紙を用いないもの	②候補者でない者または候補者となることができない者の氏名を記載したもの	③候補者でない者の氏名を記載したもの	④2人以上の候補の氏名を記載したもの	⑤被選挙権のない候補者の氏名を記載したもの	⑥候補者の氏名のほか氏名を自署しないもの	⑦候補者の氏名を記載したか確認し難いもの	⑧白紙投票	⑨単に経号を記載したもの	⑩単に記号・符号を記載したもの	⑪名刺・紙片等をちよう付したもの	⑫印鑑を押したしたもの	⑬その他
市区町村名													
久留米市		269	4	15			20	2,366	1,100	329			4,103
大川市		52	2				1	407	320	1			783
小郡市		55					4	435	170	73			737
吉井町		31	1	5			1	151	98	10			297
浮羽郡	1	33					2	151	82	18			287
深羽町		56		8			3	187	181	38			473
北野町		34		4			4	141	43	18			244
三井郡							5	109	65	21			210
大刀洗町		10											
大井町		87	1	51			1	113	27	16			253
城島町		48		68									267
三瀬郡		59						126	95	19			299
大末町		734	8	151	0	0	41	4,294	2,181	543	0	0	7,953
第6区合計	1												
大宰田市		118	2	10			26	1,277	1,011	237			2,682
柳川市		216	5	3				395	61	68			748
八女市		46	4	8				422	282	68			830
筑後市		70		8			4	598	332	60			1,072
黒木町		11						65	137				213
上陽町		12		1			6	22	24	2			67
立花町		27		66				74	25	18			210
八女郡		20	2	3			4	164	105	32			330
広川町		4					12	9	8				33
矢部村		9		1				1	27	3			66
星野村		29		1			7	227	135	28			427
瀬高町		16		9			3	166	116	23			333
山門郡		20		2			4	159	117	15			317
三橋町		51	1	3			1	50	7	7			120
山川町		16					5	98	74	30			225
三池郡		665	16	115	0	0	73	3,753	2,459	591	0	0	7,673
高田町	0												
第7区合計													
直方市		62	2	235			10	904	111	105			1,429
飯塚市		72	1	8			18	886	421	154			1,560
山田市		15					1	157	108	19			301
中岡市			3	28			20	456	334	63			904
芦屋町		15					2	169	86	22			294
水巻町		54	7	8			5	431	279	96			880
遠賀郡		43		4			5	309	157	74			592
岡垣町		27					5	198	80	34			344
遠賀町		8	1				3	133	82	19			246
小竹町		14		2			15	279	124	42			476
鞍手町		161		6			10	366	103	103			646
若宮町		6	1				4	113	30	5			

区分	①所定の用紙を用いたもの	②候補者でない者または候補者となることができない者の氏名を記載したもの	③候補者届出政見の届出事件に該当していないかた政治団体の届出に添着候補者、除名、脱党その他候補者届出政見の事由により当該候補者届出政見に所属する者でなくなった旨の届出がされた候補者又は候補者届出政見が一の選挙区において重複して届け出た候補者の氏名を記載したもの	④2人以上の候補者の氏名を記載したもの	⑤被選挙権のない候補者の氏名を記載したもの	⑥候補者の氏名、ほか他事を記載したもの	⑦候補者の氏名を自署しないもの	⑧候補者の何人かを記載したか確認し難いもの	⑨白紙投票	⑩単に縦書きを記載したもの	⑪単に記号・符号を記載したもの	⑫名刺・紙片等をちぎって付したもの	⑬印鑑を押したつしたもの	⑭その他	計
市区町村名															
桂川町		11				3		7	141	77	26				265
稲葉町		7				1		12	258	135	25				438
榑井町		18							73	50	7				148
嘉穂町		15				5		3	82	64	15				184
寛永町		6				59		2	104	16	17				204
穂波町		16				143		1	287	100					547
庄内町								9	101	55	12				177
頼田町		3				1		10	66	57	8				146
第8区合計	0	553	0	16	0	504	0	142	5,513	2,366	846	0	0	0	9,940
若松区		80				7		19	592	368	104				1,170
北九州市	1	58		6		8		23	534	330	86				1,046
八幡西区		169		1		26		137	1,683	902	251				3,179
戸畑区		81				3		15	529	299	74				1,001
第9区合計	1	388	0	7	0	44	0	194	3,348	1,899	515	0	0	0	6,396
門司区		132				6		35	1,389	846	186				2,594
北九州市		140		1		18		9	1,690	981	303				3,142
小倉北区		123				13		43	2,243	1,020	313				3,755
小倉南区	0	395	0	1	0	37	0	87	5,322	2,847	802	0	0	0	9,491
第10区合計															
田川市		49		6		156		9	293	63	58				634
行橋市		26		1		5		4	361	211	13				621
豊前市		39				8			172	81	26				326
香春町		20		2		3		2	147	79	31				284
添田町		26				2		14	112	74	25				253
金田町		26		1				1	56	9	7				100
糸田町		12				6		8	77	65	10				178
川崎町		140				13		18	147	25	44				387
赤池町		10		2		3			98	49	15				177
方城町		25				2		4	54	39	14				138
大任町		4		1					32	40	10				87
赤村		7				1		12	9	5	4				38
近田町		33		1		19		1	300	291	27				672
屋川町		32							46	14	8				100
勝山町		4				2			58	26	6				96
豊後町		4				3		2	48	42	17				116
椎田町		12							74	42	8				136
吉島町		8				1			48	25	4				86
築城町		7		1				1	44	35	21				109
新吉村		3						26	11	6					46
大平村		2						11	21	21	4				59
第11区合計	0	489	0	15	0	224	0	113	2,208	1,242	352	0	0	0	4,643
福岡県合計	3	4,848	0	148	0	1,677	80	1,161	50,474	20,947	7,564	0	0	2	86,904

9 選挙運動の法定費用額及び収支報告書の要旨に関する調

- 1 選挙の種類 平成12年6月25日執行 衆議院小選挙区選出議員選挙（福岡県第1区）
- 2 公職選挙法の規定による選挙運動に関する支出の金額の制限額（法定選挙運動費用額）24,162,100 円
- 3 報告書の要旨

No.1

候補者氏名	石田 美香	候補者届出政党	政党自由連合	出納責任者氏名	森 法男
第1回報告分	期間	平成12年5月22日から平成12年7月5日まで		報告書受理年月日	平成12年7月6日

収入			支出		
主たる寄附			人件費		900,000 円
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)	屋敷費		289,880 円
政党自由連合		4,100,000 円	(選挙事務所費)		289,880 円)
			(集会会場費)		0 円)
			通信費		0 円
			交通費		48,720 円
			印刷費		2,115,750 円
			広告費		0 円
			文具費		30,027 円
			食糧費		185,288 円
その他の寄附			泊費		0 円
その他の収入			雑費		4,150 円
今回計		4,100,000 円	今回計		3,573,815 円
前回計		0 円	前回計		0 円
総計		4,100,000 円	総計		3,573,815 円

No.2

候補者氏名	大賀 サワ子	候補者届出政党	日本共産党	出納責任者氏名	曾我部 さち
第1回報告分	期間	平成12年5月28日から平成12年7月10日まで		報告書受理年月日	平成12年7月10日

収入			支出		
主たる寄附			人件費		960,000 円
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)	屋敷費		50,000 円
日本共産党福岡東博多地区委員会		1,427,612 円	(選挙事務所費)		50,000 円)
松尾 由美子	無職	180,000 円	(集会会場費)		0 円)
岸原 泰子	"	120,000 円	通信費		235,522 円
塚原 学	"	120,000 円	交通費		88,953 円
			印刷費		1,383,270 円
			広告費		339,708 円
			文具費		395,628 円
			食糧費		73,082 円
その他の寄附			泊費		61,425 円
その他の収入			雑費		14,302 円
今回計		1,847,612 円	今回計		3,601,890 円
前回計		0 円	前回計		0 円
総計		1,847,612 円	総計		3,601,890 円

No.3

候補者氏名	西田 藤二	候補者届出政党	自由民主党	出納責任者氏名	濱崎 嘉秀
第1回報告分	期間	平成12年6月2日から平成12年7月10日まで		報告書受理年月日	平成12年7月10日

収入			支出		
主たる寄附			人件費		4,380,000 円
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)	屋敷費		263,750 円
自由民主党		5,000,000 円	(選挙事務所費)		247,750 円)
			(集会会場費)		16,000 円)
			通信費		618,985 円
			交通費		0 円
			印刷費		1,823,310 円
			広告費		931,295 円
			文具費		98,981 円
			食糧費		164,960 円
その他の寄附			泊費		0 円
その他の収入		3,000,000 円	雑費		248,192 円
今回計		8,000,000 円	今回計		8,529,473 円
前回計		0 円	前回計		0 円
総計		8,000,000 円	総計		8,529,473 円

No. 4

候補者氏名	松 本 龍	候補者届出政党	民 主 党	出納責任者氏名	松 藤 浩 一
第 1 回報告分	期間	平成12年 5 月13日から平成12年 6 月24日まで		報告書受理年月日	平成12年 7 月10日

収 入			支 出		
主たる寄附			人 家		
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)	出 件 費		3,881,000 円
民主党		10,000,000 円	屋 費		219,600 円
松本龍後援会		14,000,000 円	(選挙事務所費		152,500 円)
			(集会会場費		67,100 円)
			通 信 費		59,240 円
			交 通 費		17,165 円
			印 刷 費		1,823,310 円
			広 告 費		493,734 円
			文 具 費		30,423 円
			食 糧 費		241,175 円
			休 泊 費		0 円
			雑 費		26,441 円
その他の寄附					
その他の収入					
今 回 計		24,000,000 円	今 回 計		6,792,088 円
前 回 計		0 円	前 回 計		0 円
総 計		24,000,000 円	総 計		6,792,088 円

No. 5

候補者氏名	松 本 龍	候補者届出政党	民 主 党	出納責任者氏名	松 藤 浩 一
第 2 回報告分	期間	平成12年 7 月11日から平成12年11月 8 日まで		報告書受理年月日	平成12年11月 8 日

収 入			支 出		
主たる寄附			人 家		
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)	出 件 費		0 円
			屋 費		3,657,550 円
			(選挙事務所費		3,657,550 円)
			(集会会場費		0 円)
			通 信 費		2,504,725 円
			交 通 費		162,679 円
			印 刷 費		1,327,997 円
			広 告 費		5,053,930 円
			文 具 費		1,486,096 円
			食 糧 費		0 円
			休 泊 費		0 円
			雑 費		2,953,018 円
その他の寄附					
その他の収入					
今 回 計		0 円	今 回 計		17,145,995 円
前 回 計		24,000,000 円	前 回 計		6,792,088 円
総 計		24,000,000 円	総 計		23,938,083 円

- 1 選挙の種類 平成12年6月25日執行 衆議院小選挙区選出議員選挙（福岡県第2区）
- 2 公職選挙法の規定による選挙運動に関する支出の金額の制限額（法定選挙運動費用額）25,076,300 円
- 3 報告書の要旨

No. 1

候補者氏名	岩 本 司	候補者届出政党	民 主 党	出納責任者氏名	荻 原 康 之
第 1 回報告分	期間	平成12年 6 月2日から平成12年 7 月9日まで		報告書受理年月日	平成12年 7 月10日

収 入			支 出		
主たる寄附			人 家		
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)	出 件 費		1,468,377 円
民主党本部		7,000,000 円	屋 費		1,321,405 円
三浦 郁夫	会社役員	300,000 円	(選挙事務所費		1,250,005 円)
民主党福岡県支部連合会		100,000 円	(集会会場費		71,400 円)
			通 信 費		34,080 円
			交 通 費		171,590 円
			印 刷 費		0 円
			広 告 費		3,774,151 円
			文 具 費		6,147 円
			食 糧 費		244,599 円
			休 泊 費		0 円
			雑 費		275,603 円
その他の寄附					
その他の収入					
今 回 計		7,400,000 円	今 回 計		7,295,952 円
前 回 計		0 円	前 回 計		0 円
総 計		7,400,000 円	総 計		7,295,952 円

No. 2

候補者氏名	清水 とし子	候補者届出政党	日本共産党	出納責任者氏名	樋口 孝子
第1回報告分	期間	平成12年6月1日から平成12年6月28日まで		報告書受理年月日	平成12年7月7日

収入			支出		
主たる寄附			人 家	出 件	費
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)		屋 費	840,000 円
日本共産党福岡中央南地区委員会		820,000 円		(選挙事務所費	356,700 円)
細見 健司	政党勤務員	120,000 円		(集会会場費	340,000 円)
堀内 徹夫	政党役員	180,000 円	通 信	費	16,700 円)
岩本 義孝	〃	180,000 円	交 通	費	180,000 円
原口 加津美	無 職	180,000 円	印 刷	費	9,746 円
神志那 織絵	政党勤務員	180,000 円	広 告	費	1,443,030 円
			文 具	費	590,275 円
その他の寄附			食 糧	費	16,128 円
その他の収入			休 泊	費	8,410 円
			雑 費	費	0 円
					8,543 円
今 回 計		1,660,000 円	今 回 計		3,452,832 円
前 回 計		0 円	前 回 計		0 円
総 計		1,660,000 円	総 計		3,452,832 円

No. 3

候補者氏名	城野 美代子	候補者届出政党	政党自由連合	出納責任者氏名	木村 寛也
第1回報告分	期間	平成12年6月7日から平成12年7月10日まで		報告書受理年月日	平成12年7月10日

収入			支出		
主たる寄附			人 家	出 件	費
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)		屋 費	1,260,000 円
				(選挙事務所費	1,661,846 円)
				(集会会場費	1,661,846 円)
			通 信	費	0 円)
その他の寄附			交 通	費	0 円
その他の収入		7,000,000 円	印 刷	費	147,089 円
			広 告	費	1,967,752 円
			文 具	費	1,134,923 円
			食 糧	費	15,458 円
			休 泊	費	55,240 円
			雑 費	費	25,200 円
					526,830 円
今 回 計		7,000,000 円	今 回 計		6,794,338 円
前 回 計		0 円	前 回 計		0 円
総 計		7,000,000 円	総 計		6,794,338 円

No. 4

候補者氏名	山崎 拓	候補者届出政党	自由民主党	出納責任者氏名	柴田 徹
第1回報告分	期間	平成12年5月25日から平成12年7月3日まで		報告書受理年月日	平成12年7月6日

収入			支出		
主たる寄附			人 家	出 件	費
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)		屋 費	2,880,000 円
自由民主党		5,000,000 円		(選挙事務所費	4,652,320 円)
				(集会会場費	4,187,720 円)
			通 信	費	464,600 円)
その他の寄附			交 通	費	1,000,000 円
その他の収入		20,000,000 円	印 刷	費	0 円
			広 告	費	1,826,166 円
			文 具	費	2,538,765 円
			食 糧	費	220,525 円
			休 泊	費	0 円
			雑 費	費	0 円
					299,347 円
今 回 計		25,000,000 円	今 回 計		13,417,123 円
前 回 計		0 円	前 回 計		0 円
総 計		25,000,000 円	総 計		13,417,123 円

No.5

候補者氏名	山 崎 拓	候補者届出政党	自 由 民 主 党	出納責任者氏名	柴 田 徹
第2回報告分	期間	平成12年7月4日から平成12年7月24日まで		報告書受理年月日	平成12年7月25日

収 入			支 出		
主たる寄附			人 家		
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)	出 件 費		0 円
			(選挙事務所費		696,814 円
			(集会会場費		696,814 円)
			通 信 費		0 円
			交 通 費		1,500,300 円
			印 刷 費		0 円
			広 告 費		0 円
			文 具 費		0 円
			食 糧 費		122,199 円
			休 泊 費		0 円
その他の寄附			雑 費		0 円
その他の収入					1,201,139 円
今 回 計		0 円	今 回 計		3,520,452 円
前 回 計		25,000,000 円	前 回 計		13,417,123 円
総 計		25,000,000 円	総 計		16,937,575 円

- 1 選挙の種類 平成12年6月25日執行 衆議院小選挙区選出議員選挙(福岡県第3区)
 2 公職選挙法の規定による選挙運動に関する支出の金額の制限額(法定選挙運動費用額) 24,472,300 円
 3 報告書の要旨

No.1

候補者氏名	太 田 誠 一	候補者届出政党	自 由 民 主 党	出納責任者氏名	沖 本 成 包
第1回報告分	期間	平成12年6月2日から平成12年6月30日まで		報告書受理年月日	平成12年7月10日

収 入			支 出		
主たる寄附			人 家		
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)	出 件 費		5,226,225 円
自由民主党		5,000,000 円	(選挙事務所費		2,975,240 円
誠山会		6,295,200 円	(集会会場費		1,119,200 円)
太田誠一後援会		824,000 円	通 信 費		1,856,040 円)
			交 通 費		273,540 円
			印 刷 費		311,679 円
			広 告 費		1,833,494 円
			文 具 費		1,759,897 円
			食 糧 費		64,782 円
			休 泊 費		5,945 円
その他の寄附			雑 費		0 円
その他の収入		5,000,000 円			63,983 円
今 回 計		17,119,200 円	今 回 計		12,514,785 円
前 回 計		0 円	前 回 計		0 円
総 計		17,119,200 円	総 計		12,514,785 円

No.2

候補者氏名	太 田 誠 一	候補者届出政党	自 由 民 主 党	出納責任者氏名	沖 本 成 包
第2回報告分	期間	平成12年7月1日から平成12年7月26日まで		報告書受理年月日	平成12年8月2日

収 入			支 出		
主たる寄附			人 家		
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)	出 件 費		0 円
			(選挙事務所費		0 円
			(集会会場費		0 円)
			通 信 費		0 円
			交 通 費		971,812 円
			印 刷 費		0 円
			広 告 費		0 円
			文 具 費		0 円
			食 糧 費		0 円
			休 泊 費		0 円
その他の寄附			雑 費		0 円
その他の収入					0 円
今 回 計		0 円	今 回 計		971,812 円
前 回 計		17,119,200 円	前 回 計		12,514,785 円
総 計		17,119,200 円	総 計		13,486,597 円

No. 3

候補者氏名	窪 川 数 枝	候補者届出政党	政党自由連合	出納責任者氏名	吉 岡 勇
第1回報告分	期間	平成12年6月9日から平成12年6月26日まで		報告書受理年月日	平成12年7月5日

収 入		支 出	
主たる寄附		人 家	
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)	
小池 信夫	会社員	60,000 円	1,394,840 円
郡山 昌明	"	60,000 円	238,453 円
高橋 肇	"	120,000 円	238,453 円)
渋谷 謙治	"	120,000 円	(選挙事務所費
小栗 好子	"	120,000 円	(集合会場費
佐藤 亮子	"	180,000 円	0 円)
佐藤 宗男	"	60,000 円	通 信 費
政党自由連合		1,000,000 円	交 通 費
			印 刷 費
			広 告 費
			文 具 費
			食 糧 費
			休 泊 費
			雑 費
その他の寄附			
その他の収入	3,300,000 円		
今 回 計	5,020,000 円	今 回 計	5,652,628 円
前 回 計	0 円	前 回 計	0 円
総 計	5,020,000 円	総 計	5,652,628 円

No. 4

候補者氏名	熊 谷 敦 子	候補者届出政党	日 本 共 産 党	出納責任者氏名	相 場 純 子
第1回報告分	期間	平成12年6月1日から平成12年7月5日まで		報告書受理年月日	平成12年7月10日

収 入		支 出	
主たる寄附		人 家	
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)	
日本共産党福岡西部地区委員会		3,462,000 円	750,000 円
松本 隆	団体職員	120,000 円	295,000 円
藤川 芳郎	"	120,000 円	(選挙事務所費
河野 恒寛	無 職	120,000 円	(集合会場費
溝上 道子	"	120,000 円	0 円)
			通 信 費
			交 通 費
			印 刷 費
			広 告 費
			文 具 費
			食 糧 費
			休 泊 費
			雑 費
その他の寄附			
その他の収入			
今 回 計	3,942,000 円	今 回 計	3,181,505 円
前 回 計	0 円	前 回 計	0 円
総 計	3,942,000 円	総 計	3,181,505 円

No. 5

候補者氏名	藤 田 一 枝	候補者届出政党	民 主 党	出納責任者氏名	川 崎 俊 丸
第1回報告分	期間	平成12年4月19日から平成12年6月29日まで		報告書受理年月日	平成12年7月10日

収 入		支 出	
主たる寄附		人 家	
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)	
民主党本部		10,000,000 円	5,340,000 円
藤田一枝後援会		294,600 円	508,206 円
			(選挙事務所費
			(集合会場費
			21,110 円)
			通 信 費
			交 通 費
			印 刷 費
			広 告 費
			文 具 費
			食 糧 費
			休 泊 費
			雑 費
その他の寄附			
その他の収入	5,000,000 円		
今 回 計	15,294,600 円	今 回 計	12,062,183 円
前 回 計	0 円	前 回 計	0 円
総 計	15,294,600 円	総 計	12,062,183 円

No. 6

候補者氏名	藤 田 一 枝	候補者届出政党	民 主 党	出納責任者氏名	川 崎 俊 丸
第 2 回 報告分	期 間	平成12年 6 月30日から平成12年 7 月27日まで		報告書受理年月日	平成12年 9 月 4 日

収 入			支 出		
主たる寄附			人 家		
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)	出 件 費		0 円
			屋 費		0 円
			(選挙事務所費		0 円)
			(集会会場費		0 円)
			通 信 費		376,486 円
			交 通 費		0 円
			印 刷 費		0 円
			広 告 費		0 円
			文 具 費		0 円
			食 糧 費		0 円
			休 泊 費		0 円
			雑 費		0 円
その他の寄附					
その他の収入					
今 回 計		0 円	今 回 計		376,486 円
前 回 計		15,294,600 円	前 回 計		12,062,183 円
総 計		15,294,600 円	総 計		12,438,669 円

- 1 選挙の種類 平成12年6月25日執行 衆議院小選挙区選出議員選挙(福岡県第4区)
- 2 公職選挙法の規定による選挙運動に関する支出の金額の制限額(法定選挙運動費用額) 23,687,300 円
- 3 報告書の要旨

No. 1

候補者氏名	植 崎 欣 弥	候補者届出政党	民 主 党	出納責任者氏名	中 村 孝 三
第 1 回 報告分	期 間	平成12年 1 月11日から平成12年 6 月28日まで		報告書受理年月日	平成12年 7 月10日

収 入			支 出		
主たる寄附			人 家		
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)	出 件 費		3,020,400 円
民主党		13,300,000 円	屋 費		714,600 円
			(選挙事務所費		714,600 円)
			(集会会場費		0 円)
			通 信 費		115,890 円
			交 通 費		490,732 円
			印 刷 費		1,824,870 円
			広 告 費		564,085 円
			文 具 費		103,183 円
			食 糧 費		0 円
			休 泊 費		0 円
			雑 費		35,703 円
その他の寄附					
その他の収入					
今 回 計		13,300,000 円	今 回 計		6,869,463 円
前 回 計		0 円	前 回 計		0 円
総 計		13,300,000 円	総 計		6,869,463 円

No. 2

候補者氏名	松 尾 寅 彦	候補者届出政党	日 本 共 産 党	出納責任者氏名	山 下 章
第 1 回 報告分	期 間	平成12年 5 月15日から平成12年 6 月25日まで		報告書受理年月日	平成12年 7 月 9 日

収 入			支 出		
主たる寄附			人 家		
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)	出 件 費		600,000 円
日本共産党宗像・粕屋地区委員会		444,102 円	屋 費		180,000 円
高松 利行 無 職		120,000 円	(選挙事務所費		180,000 円)
川原 一三 //		120,000 円	(集会会場費		0 円)
山下 勝己 //		120,000 円	通 信 費		20,000 円
古賀 まゆみ //		120,000 円	交 通 費		21,117 円
			印 刷 費		1,393,140 円
			広 告 費		425,115 円
			文 具 費		21,500 円
			食 糧 費		8,780 円
			休 泊 費		0 円
			雑 費		3,925 円
その他の寄附					
その他の収入					
今 回 計		924,102 円	今 回 計		2,673,577 円
前 回 計		0 円	前 回 計		0 円
総 計		924,102 円	総 計		2,673,577 円

No. 3

候補者氏名	渡 邊 具 能	候補者届出政党	自 由 民 主 党	出納責任者氏名	廣 渡 常 信
第 1 回報告分	期間	平成12年 5 月31日から平成12年 7 月10日まで		報告書受理年月日	平成12年 7 月10日

収 入			支 人 家	出 件 屋 費	3,528,000 円
主たる寄附				(選挙事務所費	3,823,770 円)
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)		(集合会場費	1,589,375 円)
自由民主党		10,000,000 円		通信費	2,234,395 円)
			通交	印刷費	105,930 円
			印広	文食休	1,259,231 円
その他の寄附				泊 費	2,211,970 円
その他の収入		10,000,000 円		雑 費	2,434,735 円
					223,285 円
					392,633 円
					571,020 円
					1,358,946 円
今 回 計		20,000,000 円	今 回 計		15,909,520 円
前 回 計		0 円	前 回 計		0 円
総 計		20,000,000 円	総 計		15,909,520 円

No. 4

候補者氏名	渡 邊 具 能	候補者届出政党	自 由 民 主 党	出納責任者氏名	廣 渡 常 信
第 2 回報告分	期間	平成12年 5 月31日から平成12年 7 月10日まで		報告書受理年月日	平成12年 8 月28日

収 入			支 人 家	出 件 屋 費	0 円
主たる寄附				(選挙事務所費	0 円)
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)		(集合会場費	0 円)
			通交	通信費	515,673 円
			印広	印刷費	0 円
			文食休	泊 費	0 円
その他の寄附				雑 費	0 円
その他の収入					95,475 円
今 回 計		0 円	今 回 計		611,148 円
前 回 計		20,000,000 円	前 回 計		15,909,520 円
総 計		20,000,000 円	総 計		16,520,668 円

- 1 選挙の種類 平成12年6月25日執行 衆議院小選挙区選出議員選挙（福岡県第5区）
- 2 公職選挙法の規定による選挙運動に関する支出の金額の制限額（法定選挙運動費用額）24,742,700 円
- 3 報告書の要旨

No. 1

候補者氏名	佐 藤 耕 造	候補者届出政党	政 党 自 由 連 合	出納責任者氏名	永 富 徳 浩
第 1 回報告分	期間	平成12年 6 月1日から平成12年 7 月10日まで		報告書受理年月日	平成12年 7 月10日

収 入			支 人 家	出 件 屋 費	9,684,935 円
主たる寄附				(選挙事務所費	1,453,760 円)
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)		(集合会場費	1,410,000 円)
政党自由連合福岡県本部		6,594,935 円		通信費	43,760 円)
			通交	印刷費	140,259 円
			印広	文食休	294,150 円
その他の寄附				泊 費	1,765,950 円
その他の収入		8,700,000 円		雑 費	922,509 円
					27,801 円
					10,185 円
					0 円
					108,750 円
今 回 計		15,294,935 円	今 回 計		14,408,299 円
前 回 計		0 円	前 回 計		0 円
総 計		15,294,935 円	総 計		14,408,299 円

No. 2

候補者氏名	原 田 義 昭	候補者届出政党	自 由 民 主 党	出納責任者氏名	倉 島 守
第1回報告分	期間	平成12年4月25日から平成12年7月7日まで		報告書受理年月日	平成12年7月10日

収入			支出		
主たる寄附			件屋費		1,654,800 円
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)	(選挙事務所費)		1,083,565 円
自由民主党		5,000,000 円	(集会会場費)		964,205 円)
21世紀政経会		15,000,000 円	通交印広文食休雑		119,360 円)
			信通刷告具糧泊		20,580 円
その他の寄附					192,229 円
その他の収入					3,232,746 円
					546,235 円
					142,535 円
					13,856 円
					277,635 円
					11,329 円
今回計		20,000,000 円	今回計		7,175,510 円
前回計		0 円	前回計		0 円
総計		20,000,000 円	総計		7,175,510 円

No. 3

候補者氏名	原 田 義 昭	候補者届出政党	自 由 民 主 党	出納責任者氏名	倉 島 守
第2回報告分	期間	平成12年7月8日から平成12年8月30日まで		報告書受理年月日	平成12年9月27日

収入			支出		
主たる寄附			件屋費		1,376,000 円
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)	(選挙事務所費)		1,820,427 円
			(集会会場費)		1,820,427 円)
			通交印広文食休雑		0 円)
			信通刷告具糧泊		1,692,974 円
その他の寄附					750,152 円
その他の収入					3,542,600 円
					861,000 円
					515,595 円
					233,719 円
					0 円
					211,508 円
今回計		0 円	今回計		11,003,975 円
前回計		20,000,000 円	前回計		7,175,510 円
総計		20,000,000 円	総計		18,179,485 円

No. 4

候補者氏名	村 上 惟 子	候補者届出政党	民 主 党	出納責任者氏名	神 朗 博
第1回報告分	期間	平成12年2月1日から平成12年7月6日まで		報告書受理年月日	平成12年7月10日

収入			支出		
主たる寄附			件屋費		1,309,400 円
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)	(選挙事務所費)		3,396,120 円
民主党		13,400,000 円	(集会会場費)		3,396,120 円)
民主党福岡県総支部連合会		100,000 円	通交印広文食休雑		0 円)
			信通刷告具糧泊		283,385 円
その他の寄附					47,168 円
その他の収入					2,331,046 円
					1,074,625 円
					19,405 円
					90,883 円
					0 円
					0 円
今回計		14,500,000 円	今回計		8,552,032 円
前回計		0 円	前回計		0 円
総計		14,500,000 円	総計		8,552,032 円

No. 5

候補者氏名	森 山 皓 子	候補者届出政党	日 本 共 産 党	出納責任者氏名	土 橋 禮 子
第1回報告分	期間	平成12年5月25日から平成12年6月24日まで		報告書受理年月日	平成12年7月10日

収 入		支 人 家	出 件 屋 費	237,000 円
主たる寄附				106,000 円
(氏名・団体名)	(職業)		(選挙事務所費	106,000 円)
日本共産党筑紫朝倉地区委員会			(集合会場費	0 円)
安永 スミ子				
	(寄附額)	通 交	信 通	54,000 円
	2,020,000 円	印 刷	費 費	33,515 円
	120,000 円	広 告	費 費	1,458,050 円
		文 具	費 費	201,000 円
		食 糧	費 費	50,000 円
		休 泊	費 費	0 円
		雑 費	費 費	0 円
その他の寄附				0 円
その他の収入				0 円
今 回 計	2,140,000 円	今 回 計		2,139,565 円
前 回 計	0 円	前 回 計		0 円
総 計	2,140,000 円	総 計		2,139,565 円

- 1 選挙の種類 平成12年6月25日執行 衆議院小選挙区選出議員選挙(福岡県第6区)
- 2 公職選挙法の規定による選挙運動に関する支出の金額の制限額(法定選挙運動費用額) 24,528,100 円
- 3 報告書の要旨

No. 1

候補者氏名	古 賀 一 成	候補者届出政党	民 主 党	出納責任者氏名	廣 松 敏 克
第1回報告分	期間	平成12年5月1日から平成12年7月3日まで		報告書受理年月日	平成12年7月10日

収 入		支 人 家	出 件 屋 費	2,015,650 円
主たる寄附				1,525,221 円
(氏名・団体名)	(職業)		(選挙事務所費	1,490,351 円)
緑都創造研究会			(集合会場費	34,870 円)
民主党				
	(寄附額)	通 交	信 通	2,077,800 円
	10,000,000 円	印 刷	費 費	41,218 円
	10,000,000 円	広 告	費 費	456,750 円
		文 具	費 費	4,837,507 円
		食 糧	費 費	37,391 円
		休 泊	費 費	0 円
		雑 費	費 費	194,450 円
その他の寄附				50,000 円
その他の収入				
今 回 計	20,000,000 円	今 回 計		11,235,987 円
前 回 計	0 円	前 回 計		0 円
総 計	20,000,000 円	総 計		11,235,987 円

No. 2

候補者氏名	古 賀 一 成	候補者届出政党	民 主 党	出納責任者氏名	廣 松 敏 克
第2回報告分	期間	平成12年7月4日から平成12年7月21日まで		報告書受理年月日	平成12年7月25日

収 入		支 人 家	出 件 屋 費	1,002,600 円
主たる寄附				345,840 円
(氏名・団体名)	(職業)		(選挙事務所費	254,100 円)
	(寄附額)		(集合会場費	91,740 円)
		通 交	信 通	1,545,820 円
		印 刷	費 費	157,000 円
		広 告	費 費	0 円
		文 具	費 費	515,250 円
		食 糧	費 費	490,515 円
		休 泊	費 費	112,921 円
		雑 費	費 費	0 円
その他の寄附				0 円
その他の収入				0 円
今 回 計	0 円	今 回 計		4,169,946 円
前 回 計	20,000,000 円	前 回 計		11,235,987 円
総 計	20,000,000 円	総 計		15,405,933 円

No. 3

候補者氏名	古賀一成	候補者届出政党	民主党	出納責任者氏名	廣松敏克
第3回報告分	期間	平成12年7月22日から平成12年8月9日まで		報告書受理年月日	平成12年8月9日

収入 主たる寄附 (氏名・団体名) (職業)	(寄附額)	支出 人 家 出 件 屋 費 (選挙事務所費 (集会会場費	0 円 2,379,000 円 2,379,000 円) 0 円)
民主党福岡県第6区総支部	1,823,145 円	通 交 信 費 通 刷 費 広 告 費 文 具 費 食 糧 費 休 泊 費 雑 費	662,073 円 0 円 5,197,532 円 441,233 円 11,881 円 0 円 0 円 0 円
その他の寄附 その他の収入			
今 回 計	1,823,145 円	今 回 計	8,691,719 円
前 回 計	20,000,000 円	前 回 計	15,405,933 円
総 計	21,823,145 円	総 計	24,097,652 円

No. 4

候補者氏名	古賀正浩	候補者届出政党	自由民主党	出納責任者氏名	森光渉
第1回報告分	期間	平成12年5月17日から平成12年6月30日まで		報告書受理年月日	平成12年7月7日

収入 主たる寄附 (氏名・団体名) (職業)	(寄附額)	支出 人 家 出 件 屋 費 (選挙事務所費 (集会会場費	3,540,000 円 7,560,149 円 6,552,394 円) 1,007,755 円)
古賀まさひろを育てる会	1,000,000 円	通 交 信 費 通 刷 費 広 告 費 文 具 費 食 糧 費 休 泊 費 雑 費	465,698 円 0 円 3,172,024 円 3,782,373 円 193,917 円 179,016 円 0 円 116,709 円
自由民主党	5,000,000 円		
自由民主党福岡県第六選挙区支部	9,300,000 円		
その他の寄附 その他の収入	2,000,000 円		
今 回 計	17,300,000 円	今 回 計	19,009,886 円
前 回 計	0 円	前 回 計	0 円
総 計	17,300,000 円	総 計	19,009,886 円

No. 5

候補者氏名	古賀正浩	候補者届出政党	自由民主党	出納責任者氏名	森光渉
第2回報告分	期間	平成12年7月1日から平成12年8月7日まで		報告書受理年月日	平成12年8月7日

収入 主たる寄附 (氏名・団体名) (職業)	(寄附額)	支出 人 家 出 件 屋 費 (選挙事務所費 (集会会場費	0 円 286,492 円 286,492 円) 0 円)
		通 交 信 費 通 刷 費 広 告 費 文 具 費 食 糧 費 休 泊 費 雑 費	1,644,732 円 326,789 円 0 円 0 円 17,377 円 0 円 0 円 310,098 円
その他の寄附 その他の収入	2,000,000 円		
今 回 計	2,000,000 円	今 回 計	2,585,488 円
前 回 計	17,300,000 円	前 回 計	19,009,886 円
総 計	19,300,000 円	総 計	21,595,374 円

No. 6

候補者氏名	原 武 夫	候補者届出政党	政党自由連合	出納責任者氏名	原 口 幸 一
第1回報告分	期間	平成12年6月12日から平成12年6月26日まで		報告書受理年月日	平成12年7月7日

収入			支出		
主たる寄附			人 家	出 件	費
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)		屋 費	
政党自由連合		6,210,000 円		(選挙事務所費)	1,700,749 円
				(集会会場費)	280,000 円
					280,000 円)
			通 信	費	0 円)
			交 通	費	1,640 円
			印 刷	費	128,489 円
			広 告	費	1,710,000 円
			文 具	費	321,195 円
			食 糧	費	25,160 円
			休 泊	費	100,611 円
			雑 費	費	319,115 円
					11,238 円
その他の寄附					
その他の収入					
今 回 計		6,210,000 円	今 回 計		4,598,197 円
前 回 計		0 円	前 回 計		0 円
総 計		6,210,000 円	総 計		4,598,197 円

No. 7

候補者氏名	丸 林 秀 彦	候補者届出政党	日 本 共 産 党	出納責任者氏名	下 川 賢 一
第1回報告分	期間	平成12年6月6日から平成12年6月27日まで		報告書受理年月日	平成12年7月8日

収入			支出		
主たる寄附			人 家	出 件	費
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)		屋 費	
日本共産党筑後地区委員会		1,393,420 円		(選挙事務所費)	96,000 円
				(集会会場費)	267,420 円
					267,420 円)
			通 信	費	0 円)
			交 通	費	18,526 円
			印 刷	費	40,845 円
			広 告	費	1,201,376 円
			文 具	費	392,832 円
			食 糧	費	90,000 円
			休 泊	費	0 円
			雑 費	費	0 円
					0 円
その他の寄附					
その他の収入					
今 回 計		1,393,420 円	今 回 計		2,106,999 円
前 回 計		0 円	前 回 計		0 円
総 計		1,393,420 円	総 計		2,106,999 円

- 1 選挙の種類 平成12年6月25日執行 衆議院小選挙区選出議員選挙（福岡県第7区）
- 2 公職選挙法の規定による選挙運動に関する支出の金額の制限額（法定選挙運動費用額）24,002,100 円
- 3 報告書の要旨

No. 1 .

候補者氏名	古 賀 誠	候補者届出政党	自 由 民 主 党	出納責任者氏名	浜 武 和 子
第1回報告分	期間	平成12年5月12日から平成12年7月9日まで		報告書受理年月日	平成12年7月10日

収入			支出		
主たる寄附			人 家	出 件	費
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)		屋 費	
森下 義男	商 業	100,000 円		(選挙事務所費)	2,880,000 円
高松 清治	無 職	200,000 円		(集会会場費)	1,042,870 円
武田 孝	商 業	100,000 円			871,500 円)
木下 良一	"	100,000 円	通 信	費	171,370 円)
木原 弘毅	"	300,000 円	交 通	費	0 円
麻生 真	無 職	50,000 円	印 刷	費	134,760 円
原田 安樹	商 業	200,000 円	広 告	費	2,305,525 円
蛭田 信	"	100,000 円	文 具	費	922,916 円
筑後誠山会		10,000,000 円	食 糧	費	203,111 円
自由民主党		5,000,000 円	休 泊	費	41,765 円
阿久根 光	商 業	1,500,000 円	雑 費	費	0 円
					630 円
その他の寄附		4,800,000 円			
その他の収入					
今 回 計		22,450,000 円	今 回 計		7,531,577 円
前 回 計		0 円	前 回 計		0 円
総 計		22,450,000 円	総 計		7,531,577 円

No. 2

候補者氏名	古 賀 誠	候補者届出政党	自由民主党	出納責任者氏名	浜 武 和 子
第 2 回報告分	期間	平成12年 7 月10日から平成12年 8 月 4 日まで		報告書受理年月日	平成12年 8 月10日

収入 主たる寄附 (氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)	支 出 人 家 出 件 費 屋 費 (選挙事務所費 (集会会場費 通 信 費 交 通 費 印 刷 費 広 告 費 文 具 費 食 糧 費 休 泊 費 雑 費	2,700,000 円 1,737,465 円 1,737,465 円) 0 円) 0 円 344,408 円 2,219,625 円 0 円 1,472,257 円 929,362 円 509,839 円 0 円
その他の寄附				
その他の収入				
今 回 計		0 円	今 回 計	9,912,956 円
前 回 計		22,450,000 円	前 回 計	7,531,577 円
総 計		22,450,000 円	総 計	17,444,533 円

No. 3

候補者氏名	細 谷 治 通	候補者届出政党	民 主 党	出納責任者氏名	高 田 義 広
第 1 回報告分	期間	平成12年 5 月25日から平成12年 6 月30日まで		報告書受理年月日	平成12年 7 月10日

収入 主たる寄附 (氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)	支 出 人 家 出 件 費 屋 費 (選挙事務所費 (集会会場費 通 信 費 交 通 費 印 刷 費 広 告 費 文 具 費 食 糧 費 休 泊 費 雑 費	5,375,000 円 236,730 円 228,000 円) 8,730 円) 202,914 円 294,290 円 1,860,850 円 1,318,945 円 61,567 円 189,436 円 0 円 202,435 円
民主党		7,000,000 円		
その他の寄附				
その他の収入		8,000,000 円		
今 回 計		15,000,000 円	今 回 計	9,742,167 円
前 回 計		0 円	前 回 計	0 円
総 計		15,000,000 円	総 計	9,742,167 円

No. 4

候補者氏名	山 田 眞 一 郎	候補者届出政党	日 本 共 産 党	出納責任者氏名	大 森 秀 久
第 1 回報告分	期間	平成12年 1 月17日から平成12年 7 月 5 日まで		報告書受理年月日	平成12年 7 月10日

収入 主たる寄附 (氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)	支 出 人 家 出 件 費 屋 費 (選挙事務所費 (集会会場費 通 信 費 交 通 費 印 刷 費 広 告 費 文 具 費 食 糧 費 休 泊 費 雑 費	480,000 円 124,780 円 110,000 円) 14,780 円) 40,306 円 46,137 円 1,871,350 円 249,000 円 184,437 円 66,150 円 0 円 37,343 円
日本共産党大牟田地区委員会		2,740,000 円		
矢田 正剛	団体役員	120,000 円		
平島 史朗	"	120,000 円		
井口 浩喜	"	120,000 円		
その他の寄附				
その他の収入				
今 回 計		3,100,000 円	今 回 計	3,099,503 円
前 回 計		0 円	前 回 計	0 円
総 計		3,100,000 円	総 計	3,099,503 円

No. 5

候補者氏名	山 元 良 夫	候補者届出政党	政 党 自 由 連 合	出納責任者氏名	山 元 硅 子
第 1 回報告分	期 間	平成12年 6 月12日から平成12年 6 月28日まで		報告書受理年月日	平成12年 7 月10日

収 入			支 出		
主たる寄附			人 家		
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)	出 件 費		445,000 円
政党自由連合		5,054,000 円	(選挙事務所費		119,970 円)
			(集会会場費		119,970 円)
			通 信 費		0 円)
			交 通 費		5,630 円
			印 刷 費		127,520 円
			広 告 費		2,054,000 円
			文 具 費		165,826 円
			食 糧 費		20,718 円
			休 泊 費		131,138 円
その他の寄附			雑 費		36,000 円
その他の収入					15,010 円
今 回 計		5,054,000 円	今 回 計		3,120,812 円
前 回 計		0 円	前 回 計		0 円
総 計		5,054,000 円	総 計		3,120,812 円

- 1 選挙の種類 平成12年6月25日執行 衆議院小選挙区選出議員選挙(福岡県第8区)
- 2 公職選挙法の規定による選挙運動に関する支出の金額の制限額(法定選挙運動費用額) 24,769,700 円
- 3 報告書の要旨

No. 1

候補者氏名	麻 生 太 郎	候補者届出政党	自 由 民 主 党	出納責任者氏名	深 町 純 亮
第 1 回報告分	期 間	平成12年 5 月2日から平成12年 6 月30日まで		報告書受理年月日	平成12年 7 月 5 日

収 入			支 出		
主たる寄附			人 家		
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)	出 件 費		0 円
自由民主党		5,000,000 円	(選挙事務所費		4,376,883 円)
			(集会会場費		4,376,883 円)
			通 信 費		0 円)
			交 通 費		0 円
			印 刷 費		1,855,844 円
			広 告 費		1,356,226 円
			文 具 費		233,013 円
			食 糧 費		0 円
			休 泊 費		0 円
その他の寄附			雑 費		3,360 円
その他の収入		423,247 円			
今 回 計		5,423,247 円	今 回 計		7,825,326 円
前 回 計		0 円	前 回 計		0 円
総 計		5,423,247 円	総 計		7,825,326 円

No. 2

候補者氏名	岩 田 順 介	候補者届出政党	民 主 党	出納責任者氏名	定 宗 義 孝
第 1 回報告分	期 間	平成12年 6 月1日から平成12年 6 月29日まで		報告書受理年月日	平成12年 7 月 6 日

収 入			支 出		
主たる寄附			人 家		
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)	出 件 費		3,105,000 円
民主党		15,100,000 円	(選挙事務所費		1,338,223 円)
いわた順介後援会		266,400 円	(集会会場費		1,207,910 円)
福澤 志津代	事務員	120,000 円	通 信 費		130,313 円)
佐々木 文夫	農 業	100,000 円	交 通 費		50,530 円
安元 公正	医 師	500,000 円	印 刷 費		14,235 円
中山 秀徳	会社役員	50,000 円	広 告 費		4,078,455 円
山根 正行	農 業	200,000 円	文 具 費		711,235 円
森 弘徳	団体職員	60,000 円	食 糧 費		145,830 円
西中 満	〃	60,000 円	休 泊 費		0 円
横路 孝弘	衆議院議員	100,000 円	雑 費		0 円
奥石 東	参議院議員	100,000 円			510,029 円
芳中 正治	農 業	30,000 円			
堀 利和	参議院議員	30,000 円			
千住 普昭	会社員	30,000 円			
柴田 昭徳	行政書士	30,000 円			
その他の寄附	14件	180,000 円			
その他の収入					
今 回 計		16,956,400 円	今 回 計		9,953,537 円
前 回 計		0 円	前 回 計		0 円
総 計		16,956,400 円	総 計		9,953,537 円

No. 3

候補者氏名	大塚和弘	候補者届出政党	社会民主党	出納責任者氏名	村瀬俊朗
第1回報告分	期間	平成12年6月5日から平成12年6月28日まで		報告書受理年月日	平成12年7月6日

収入			支出		
主たる寄附			人件費		4,160,000 円
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)	家屋費		825,488 円
大塚和弘政経会		8,366,082 円	(選挙事務所費)		825,488 円)
古賀要	無職	120,000 円	(集会会場費)		0 円)
三原保子	無職	120,000 円	通信費		116,050 円
中垣満里子	無職	120,000 円	交通費		84,919 円
			印刷費		1,852,970 円
			広告費		942,964 円
			文具費		28,350 円
			食糧費		735,341 円
			宿泊費		0 円
			雑費		0 円
その他の寄附	2件	20,000 円			
その他の収入					
今回計		8,746,082 円	今回計		8,746,082 円
前回計		0 円	前回計		0 円
総計		8,746,082 円	総計		8,746,082 円

No. 4

候補者氏名	坂元雅子	候補者届出政党	日本共産党	出納責任者氏名	渡辺和幸
第1回報告分	期間	平成12年3月5日から平成12年7月1日まで		報告書受理年月日	平成12年7月7日

収入			支出		
主たる寄附			人件費		0 円
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)	家屋費		1,006,425 円
日本共産党直轄地区委員会		450,000 円	(選挙事務所費)		1,006,425 円)
日本共産党嘉飯地区委員会		450,000 円	(集会会場費)		0 円)
日本共産党八戸遠地区委員会		450,000 円	通信費		15,373 円
			交通費		0 円
			印刷費		1,544,802 円
			広告費		56,200 円
			文具費		116,081 円
			食糧費		25,952 円
			宿泊費		20,010 円
			雑費		14,984 円
その他の寄附					
その他の収入					
今回計		1,350,000 円	今回計		2,799,827 円
前回計		0 円	前回計		0 円
総計		1,350,000 円	総計		2,799,827 円

No. 5

候補者氏名	山元美恵子	候補者届出政党	政党自由連合	出納責任者氏名	吉田和夫
第1回報告分	期間	平成12年6月9日から平成12年6月28日まで		報告書受理年月日	平成12年7月7日

収入			支出		
主たる寄附			人件費		1,023,000 円
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)	家屋費		277,117 円
政党自由連合		2,360,000 円	(選挙事務所費)		277,117 円)
本村晴美	会社員	120,000 円	(集会会場費)		0 円)
高橋豊子	"	120,000 円	通信費		20,870 円
佐々木和美	"	120,000 円	交通費		897,449 円
大内真紀	"	120,000 円	印刷費		2,110,000 円
小山内康晴	"	120,000 円	広告費		579,239 円
渡場美幸	"	120,000 円	文具費		49,581 円
山内秀則	"	120,000 円	食糧費		180,697 円
佐藤伸一	"	120,000 円	宿泊費		689,936 円
			雑費		398,890 円
その他の寄附	3件	63,000 円			
その他の収入		3,000,000 円			
今回計		6,383,000 円	今回計		6,226,779 円
前回計		0 円	前回計		0 円
総計		6,383,000 円	総計		6,226,779 円

- 1 選挙の種類 平成12年6月25日執行 衆議院小選挙区選出議員選挙（福岡県第9区）
- 2 公職選挙法の規定による選挙運動に関する支出の金額の制限額（法定選挙運動費用額）25,055,200 円
- 3 報告書の要旨

No.1

候補者氏名	小 沢 和 秋	候補者届出政党	日 本 共 産 党	出納責任者氏名	山 内 健 史
第1回報告分	期間 平成12年6月1日から平成12年6月30日まで			報告書受理年月日	平成12年7月6日

収 入		支 出	
主たる寄附		人 家	
(氏名・団体名) (職業) (寄附額)		出 件 費	332,000 円
日本共産党八幡戸畑遠賀地区委員会 552,695 円		屋 費	50,000 円
日本共産党若松地区委員会 100,000 円		(選挙事務所費	50,000 円)
吉田 勝男 団体役員 60,000 円		(集会会場費	0 円)
		通 信 費	90,000 円
		交 通 費	113,483 円
		印 刷 費	1,493,398 円
		広 告 費	721,150 円
		文 具 費	5,209 円
		食 糧 費	17,952 円
その他の寄附		休 泊 費	0 円
その他の収入		雑 費	35,506 円
今 回 計	712,695 円	今 回 計	2,858,698 円
前 回 計	0 円	前 回 計	0 円
総 計	712,695 円	総 計	2,858,698 円

No.2

候補者氏名	北 橋 健 治	候補者届出政党	民 主 党	出納責任者氏名	松 尾 繁 司
第1回報告分	期間 平成12年5月2日から平成12年7月3日まで			報告書受理年月日	平成12年7月4日

収 入		支 出	
主たる寄附		人 家	
(氏名・団体名) (職業) (寄附額)		出 件 費	2,127,500 円
北橋健治を育てる会 10,000,000 円		屋 費	781,100 円
民主党福岡県第9区総支部 2,365,725 円		(選挙事務所費	653,100 円)
		(集会会場費	128,000 円)
		通 信 費	329,125 円
		交 通 費	5,500 円
		印 刷 費	3,981,258 円
		広 告 費	873,603 円
		文 具 費	122,360 円
		食 糧 費	189,522 円
その他の寄附		休 泊 費	0 円
その他の収入		雑 費	554,379 円
今 回 計	12,365,725 円	今 回 計	8,964,347 円
前 回 計	0 円	前 回 計	0 円
総 計	12,365,725 円	総 計	8,964,347 円

No.3

候補者氏名	三 原 朝 彦	候補者届出政党	自 由 民 主 党	出納責任者氏名	鶴 藤 志 美
第1回報告分	期間 平成12年6月2日から平成12年7月3日まで			報告書受理年月日	平成12年7月10日

収 入		支 出	
主たる寄附		人 家	
(氏名・団体名) (職業) (寄附額)		出 件 費	4,824,000 円
自由民主党 5,000,000 円		屋 費	4,911,559 円
国際政経研究会 9,000,000 円		(選挙事務所費	2,890,125 円)
三原朝彦社会科学研究会 7,000,000 円		(集会会場費	2,021,434 円)
		通 信 費	191,910 円
		交 通 費	230,959 円
		印 刷 費	2,485,822 円
		広 告 費	729,835 円
		文 具 費	553,232 円
		食 糧 費	0 円
その他の寄附		休 泊 費	0 円
その他の収入		雑 費	103,323 円
今 回 計	21,000,000 円	今 回 計	14,030,640 円
前 回 計	0 円	前 回 計	0 円
総 計	21,000,000 円	総 計	14,030,640 円

No. 4

候補者氏名	三原朝彦	候補者届出政党	自由民主党	出納責任者氏名	鶴藤志美
第2回報告分	期間	平成12年7月4日から平成12年8月4日まで		報告書受理年月日	平成12年8月8日

収入 主たる寄附 (氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)	支人 家	出件 屋	費 費	0 円
				(選挙事務所費)		465,990 円
				(集会会場費)		465,990 円
						0 円
			通交	信通	費	1,966,270 円
			印	刷	費	0 円
			広	告	費	0 円
			文	具	費	0 円
			食	糧	費	248,698 円
			休	泊	費	0 円
その他の寄附			雑		費	0 円
その他の収入						0 円
今回計		0 円	今回計			2,680,958 円
前回計		21,000,000 円	前回計			14,030,640 円
前総計		21,000,000 円	前総計			16,711,598 円

No. 5

候補者氏名	渡辺信幸	候補者届出政党	政党自由連合	出納責任者氏名	平仲敦
第1回報告分	期間	平成12年6月11日から平成12年6月24日まで		報告書受理年月日	平成12年7月5日

収入 主たる寄附 (氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)	支人 家	出件 屋	費 費	943,600 円
政党自由連合		4,110,000 円		(選挙事務所費)		444,297 円
				(集会会場費)		444,297 円
						0 円
			通交	信通	費	6,870 円
			印	刷	費	48,467 円
			広	告	費	2,347,300 円
			文	具	費	0 円
			食	糧	費	40,194 円
			休	泊	費	135,335 円
その他の寄附			雑		費	6,300 円
その他の収入		500,000 円				79,872 円
今回計		4,610,000 円	今回計			4,052,235 円
前回計		0 円	前回計			0 円
前総計		4,610,000 円	前総計			4,052,235 円

- 1 選挙の種類 平成12年6月25日執行 衆議院小選挙区選出議員選挙（福岡県第10区）
- 2 公職選挙法の規定による選挙運動に関する支出の金額の制限額（法定選挙運動費用額）25,301,700 円
- 3 報告書の要旨

No. 1

候補者氏名	落合恵子	候補者届出政党	政党自由連合	出納責任者氏名	重松英樹
第1回報告分	期間	平成12年6月12日から平成12年6月27日まで		報告書受理年月日	平成12年7月10日

収入 主たる寄附 (氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)	支人 家	出件 屋	費 費	1,245,200 円
政党自由連合		5,410,000 円		(選挙事務所費)		189,185 円
				(集会会場費)		189,185 円
						0 円
			通交	信通	費	365,092 円
			印	刷	費	178,446 円
			広	告	費	1,877,325 円
			文	具	費	202,026 円
			食	糧	費	820 円
			休	泊	費	96,001 円
その他の寄附			雑		費	0 円
その他の収入						110,747 円
今回計		5,410,000 円	今回計			4,264,842 円
前回計		0 円	前回計			0 円
前総計		5,410,000 円	前総計			4,264,842 円

No. 2

候補者氏名	島 津 尚 純	候補者届出政党	民 主 党	出納責任者氏名	荻 原 隆 宏
第1回報告分	期間	平成12年5月8日から平成12年6月29日まで		報告書受理年月日	平成12年7月6日

収入		支出		
主たる寄附		人 家	出 件	費
(氏名・団体名)	(職業)		屋 費	1,920,000 円
民主党			(選挙事務所費	1,859,850 円)
	(寄附額)		(集合会場費	1,859,850 円)
	5,000,000 円			0 円)
		通 交	信 費	571,053 円
		印 通	刷 費	80,143 円
		広 刷	告 費	1,839,180 円
		文 告	具 費	1,305,785 円
		食 具	糧 費	267,366 円
		休 糧	泊 費	239,560 円
		雑 泊		0 円
その他の寄附				671,484 円
その他の収入	4,085,641 円			
今 回 計	9,085,641 円	今 回 計		8,754,421 円
前 回 計	0 円	前 回 計		0 円
総 計	9,085,641 円	総 計		8,754,421 円

No. 3

候補者氏名	自 見 庄三郎	候補者届出政党	自 由 民 主 党	出納責任者氏名	安 藤 信 義
第1回報告分	期間	平成12年5月9日から平成12年7月7日まで		報告書受理年月日	平成12年7月10日

収入		支出		
主たる寄附		人 家	出 件	費
(氏名・団体名)	(職業)		屋 費	4,812,000 円
自由民主党			(選挙事務所費	6,798,730 円)
庄政会	(寄附額)		(集合会場費	3,082,780 円)
	5,000,000 円			3,715,950 円)
	15,000,000 円	通 交	信 費	902,985 円
		印 通	刷 費	114,671 円
		広 刷	告 費	2,101,680 円
		文 告	具 費	786,565 円
		食 具	糧 費	99,649 円
		休 糧	泊 費	12,182 円
		雑 泊		0 円
その他の寄附				358,241 円
その他の収入				
今 回 計	20,000,000 円	今 回 計		15,986,703 円
前 回 計	0 円	前 回 計		0 円
総 計	20,000,000 円	総 計		15,986,703 円

No. 4

候補者氏名	仁 比 聡 平	候補者届出政党	日 本 共 産 党	出納責任者氏名	十 時 英 機
第1回報告分	期間	平成12年6月2日から平成12年6月25日まで		報告書受理年月日	平成12年7月10日

収入		支出		
主たる寄附		人 家	出 件	費
(氏名・団体名)	(職業)		屋 費	0 円
日本共産党小倉地区委員会	(寄附額)		(選挙事務所費	228,895 円)
日本共産党門司地区委員会	300,000 円		(集合会場費	166,000 円)
北九州市民運動交流センター	105,000 円			62,895 円)
	50,000 円	通 交	信 費	30,000 円
		印 通	刷 費	20,166 円
		広 刷	告 費	1,484,890 円
		文 告	具 費	416,335 円
		食 具	糧 費	15,960 円
		休 糧	泊 費	20,138 円
		雑 泊		0 円
その他の寄附				22,780 円
その他の収入				
今 回 計	455,000 円	今 回 計		2,239,164 円
前 回 計	0 円	前 回 計		0 円
総 計	455,000 円	総 計		2,239,164 円

No.5

候補者氏名	森 本 由 美	候補者届出政党	社 会 民 主 党	出納責任者氏名	野 上 隆 三
第1回報告分	期間	平成12年5月15日から平成12年6月30日まで		報告書受理年月日	平成12年7月10日

収 入			支 出		
主たる寄附			人 家	出 件 費	60,000 円
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)		屋 費	201,850 円
田原 栄一	商 業	50,000 円		(選挙事務所費	100,000 円)
社会民主党九州ブロック協議会		500,000 円		(集会会場費	101,850 円)
			通 交	信 費	72,837 円
			印 通	通 費	43,369 円
			広 刷	告 費	1,839,180 円
			文 具	費 費	903,885 円
			食 糧	費 費	88,410 円
			休 泊	費 費	0 円
その他の寄附	54件	410,000 円	雑	費 費	0 円
その他の収入		5,000,000 円			379,403 円
今 回 計		5,960,000 円	今 回 計		3,588,934 円
前 回 計		0 円	前 回 計		0 円
総 計		5,960,000 円	総 計		3,588,934 円

- 1 選挙の種類 平成12年6月25日執行 衆議院小選挙区選出議員選挙(福岡県第11区)
- 2 公職選挙法の規定による選挙運動に関する支出の金額の制限額(法定選挙運動費用額) 23,267,100 円
- 3 報告書の要旨

No.1

候補者氏名	伊 藤 弘 毅	候補者届出政党	政 党 自 由 連 合	出納責任者氏名	小 山 敦 史
第1回報告分	期間	平成12年6月9日から平成12年7月5日まで		報告書受理年月日	平成12年7月7日

収 入			支 出		
主たる寄附			人 家	出 件 費	720,000 円
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)		屋 費	253,363 円
政党自由連合		2,360,000 円		(選挙事務所費	253,363 円)
本田 静治	会社員	120,000 円		(集会会場費	0 円)
浦濱 稚郷	"	120,000 円	通 交	信 費	31,410 円
田中 智	"	120,000 円	印 通	通 費	706,883 円
平野 泰則	"	120,000 円	広 刷	告 費	2,110,000 円
澤田 桂	"	120,000 円	文 具	費 費	613,225 円
安富 聖子	"	120,000 円	食 糧	費 費	20,806 円
			休 泊	費 費	102,693 円
その他の寄附			雑	費 費	572,861 円
その他の収入		2,500,000 円			204,056 円
今 回 計		5,580,000 円	今 回 計		5,335,297 円
前 回 計		0 円	前 回 計		0 円
総 計		5,580,000 円	総 計		5,335,297 円

No.2

候補者氏名	武 田 良 太	候補者届出政党	自 由 民 主 党	出納責任者氏名	大 塚 伸 一
第1回報告分	期間	平成12年5月18日から平成12年6月29日まで		報告書受理年月日	平成12年7月10日

収 入			支 出		
主たる寄附			人 家	出 件 費	2,976,000 円
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)		屋 費	0 円
自由民主党		5,000,000 円		(選挙事務所費	0 円)
自由民主党福岡県支部連合会		1,000,000 円		(集会会場費	0 円)
自由民主党田川市支部		4,000,000 円	通 交	信 費	294,845 円
安全保障・危機管理政策研究会		50,000 円	印 通	通 費	2,000 円
			広 刷	告 費	0 円
			文 具	費 費	0 円
			食 糧	費 費	23,730 円
その他の寄附			休 泊	費 費	228,970 円
その他の収入		4,000,000 円	雑	費 費	0 円
					95,277 円
今 回 計		14,050,000 円	今 回 計		3,620,822 円
前 回 計		0 円	前 回 計		0 円
総 計		14,050,000 円	総 計		3,620,822 円

No. 3

候補者氏名	中西 績 介	候補者届出政党	社会民主党	出納責任者氏名	西 村 宣 敏
第1回報告分	期間	平成12年5月10日から平成12年7月10日まで		報告書受理年月日	平成12年7月10日
収入			支出		
主たる寄附			人件費		
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)	家屋費		
中西績介政治経済研究所		5,500,000 円	(選挙事務所費)		4,800,000 円
社会民主党九州ブロック協議会		500,000 円	(集会会場費)		3,029,613 円
社会民主党田川総支部		3,750,000 円	交通費		3,029,613 円
有永 豊	無 職	600,000 円	印通費		0 円
			広刷費		632,420 円
			文告費		68,320 円
その他の寄附			食具費		1,849,242 円
その他の収入		5,000,000 円	休糧費		679,039 円
			雑泊費		188,191 円
					180,000 円
					561,306 円
					118,678 円
今回計		15,350,000 円	今回計		12,106,809 円
前回計		0 円	前回計		0 円
総計		15,350,000 円	総計		12,106,809 円

No. 4

候補者氏名	柳 武 フク代	候補者届出政党	日本共産党	出納責任者氏名	岡 田 啓 助
第1回報告分	期間	平成12年5月30日から平成12年7月10日まで		報告書受理年月日	平成12年7月10日
収入			支出		
主たる寄附			人件費		
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)	家屋費		
日本共産党田川地区委員会		1,280,000 円	(選挙事務所費)		240,000 円
日本共産党京築地区委員会		1,200,000 円	(集会会場費)		98,310 円
			交通費		98,310 円
			印通費		0 円
			広刷費		81,807 円
			文告費		42,039 円
その他の寄附			食具費		1,524,174 円
その他の収入			休糧費		405,000 円
			雑泊費		0 円
					0 円
					0 円
					0 円
今回計		2,480,000 円	今回計		2,391,330 円
前回計		0 円	前回計		0 円
総計		2,480,000 円	総計		2,391,330 円

No. 5

候補者氏名	山 本 幸 三	候補者届出政党	無 所 属	出納責任者氏名	田 口 久 幸
第1回報告分	期間	平成12年6月2日から平成12年7月7日まで		報告書受理年月日	平成12年7月10日
収入			支出		
主たる寄附			人件費		
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)	家屋費		
山本幸三後援会		17,000,000 円	(選挙事務所費)		6,167,500 円
			(集会会場費)		5,608,050 円
			交通費		5,608,050 円
			印通費		0 円
			広刷費		573,650 円
			文告費		1,090,737 円
その他の寄附			食具費		2,129,242 円
その他の収入			休糧費		730,235 円
			雑泊費		840,952 円
					249,358 円
					27,720 円
					327,994 円
今回計		20,000,000 円	今回計		17,745,438 円
前回計		0 円	前回計		0 円
総計		20,000,000 円	総計		17,745,438 円

No. 6

候補者氏名	山 本 幸 三	候補者届出政党	無 所 属	出納責任者氏名	田 口 久 幸
第2回報告分	期間	平成12年7月8日から平成12年8月4日まで		報告書受理年月日	平成12年8月7日
収入			支出		
主たる寄附			人件費		
(氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)	家屋費		
			(選挙事務所費)		0 円
			(集会会場費)		0 円
			交通費		0 円
			印通費		721,823 円
			広刷費		0 円
			文告費		0 円
その他の寄附			食具費		0 円
その他の収入			休糧費		0 円
			雑泊費		0 円
					0 円
今回計		0 円	今回計		721,823 円
前回計		20,000,000 円	前回計		17,745,438 円
総計		20,000,000 円	総計		18,467,261 円